

34

50

司法省藏版

國
法
汎
論

自第四卷ノ下
至第五卷

明治廿一年八月印

No 11625



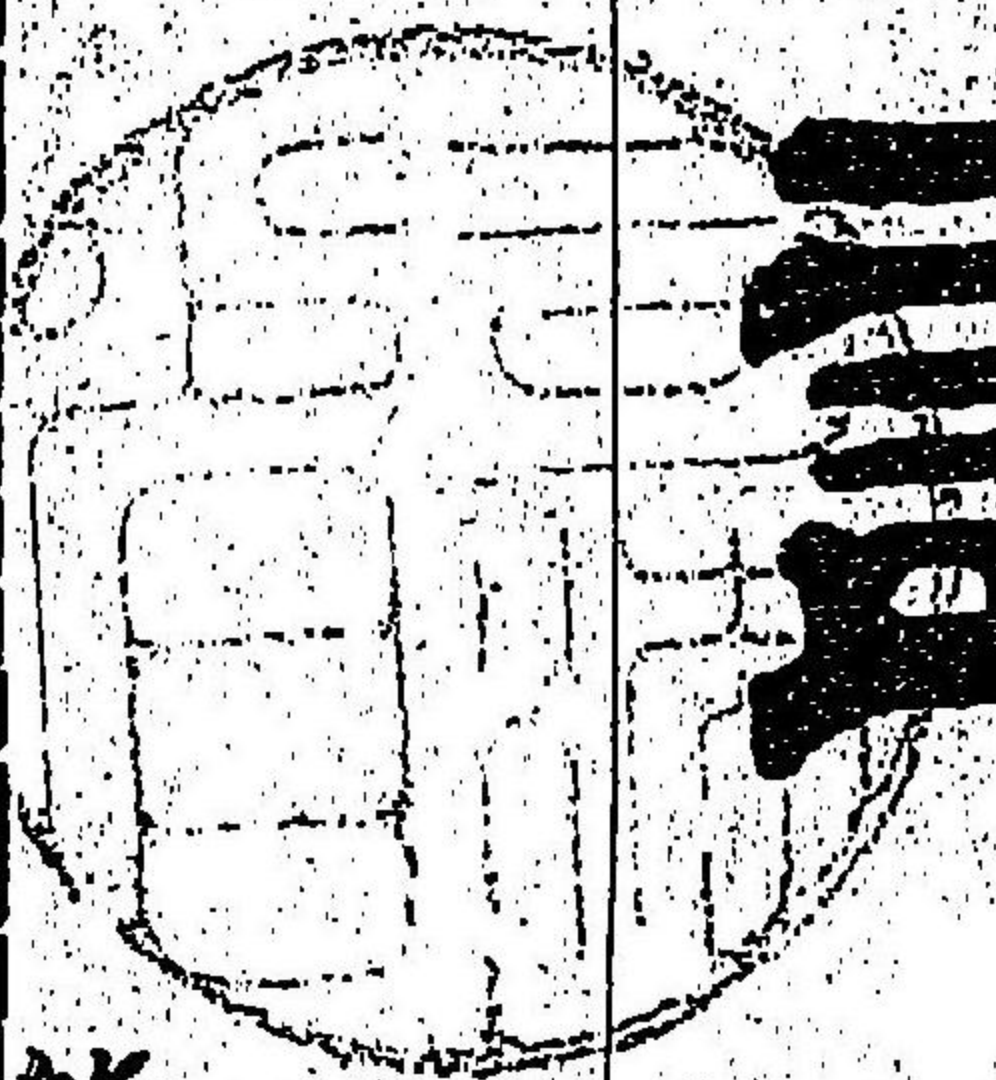
司法省藏版

國
法
汎
論

版權所有



明治廿一年八月印行



國法汎論續譯

凡例

- 一此ノ書ハ原名「アルゲマイ子ス、スターツレヒト」ト稱シ吾カ師故ノ獨逸國海徳堡府大學大博士「ブルンチユリ」先生ノ著ス所ナリ其ノ第一編總論ヨリ第四卷第十三款ニ至リ第二編第六卷ヨリ第九卷ニ至ルマテハ前ニ加藤弘之君ノ譯アリテ已ニ世ニ行ハル今其ノ餘ヲ續譯シテ以テ完書トス亦加藤君ノ志ヲ成シテ而シテ先師ノ學ヲ弘ムル所以ナリ
- 一此ノ書原本前後數版アリ加藤君ノ譯スル所ハ其ノ第四版ニシテ千八百六十八年ノ印行ニ係レリ而シテ其ノ最後ノ版本ハ千八百七十五年及ヒ六年ノ印行ニ係リ之ヲ前版ニ比スレハ稍増損ナキニ非スト雖其ノ論旨ニ異ナル所ナキノミナラス款章語句ニ至リテモ大抵相同シ但タ第一編ヲ分チテ國家論トシ之ヲ別書ト爲シタルノミ今全書完成ノ速ナルヲ欲スルニ由リ仍^ル第四版ニ就キテ之ヲ譯セリ
- 一此ノ書續譯ニ係ルト雖體裁及譯語ハ必スシモ前例ニ依ラス

一國名地名人名等漢譯ノ本邦ニ通行スル者ハ之ヲ用ヒ其ノ他ハ國字ヲ以テ之ヲ書シ上下施スニ「」ノ折畫ヲ以テス

明治二十年五月

平田東助識

國法汎論

目錄

第四卷	第十四款第四君主政治ノ重要ナル種類	一	丁數
	第十五款(甲)希臘及古日耳曼ノ氏族王治	六	
	第十六款(乙)古羅馬ノ民立王治	十一	
	第十七款(丙)羅馬帝政	十六	
	第十八款(丁)佛郎哥王國	二十二	
	第十九款(戊)封建制王國	二十八	
	第二十款(己)近世ノ專制君主政治	三十六	
	第二十一款(庚)立憲君主政治第一立憲君主政治ノ創起及擴張	四十三	
	第二十二款第二立憲君主政治ノ誤解	八十三	
	第二十三款第三君主政治ノ原則及ヒ立憲君主政治ノ意義	八十九	

第二十四款合併政體

第五卷 立法官及法律

丁數
九十九

百五

第一款國權ノ區分第一往古ノ狀態

同

第二款第二今世國權區分ノ主義

百八

第三款代議憲法ノ沿革第一佛郎哥ノ國會第二

英國議院

百十八

第四款第三自餘各國等族ノ沿革

百三十九

第五款等族憲法ノ代議院憲法ノ區別

百三十八

第六款立法官ノ組織

百四十五

第七款民選議院ノ組織

百五十五

第八款元老院又ハ上院ノ組織

百六十九

第九款甲)立法官全體ノ職權

百七十八

第十款乙)立法官各部ノ職權

百八十五

第十一款丙)特有職權第一君主

百九十

第十二款第二上下議院

百九十二

第十三款法律第一法律ノ種類

二百三

第十四款第二法律ノ制定式

二百七

第十五款法律効力ノ限界

二百十五

國法汎論 自第四卷ノ下 至第五卷

獨逸 ブルンチユリー著
日本 平田東助譯



第四 君主政治(モナルヒーセ、スターツホルム)君主政治ノ重要ナル種類(ヂー、ハウプ
トアルテ、モナルヒー)

(一) 神道政治ヨリ人道政治ニ進ムニ當リテヤ必ス先ツ無限擅恣君主政ヲ行フテ常トス此ノ
政治ハ專ラ亞細亞ニ行ハル、モノニシテ其ノ性質ノ他ノ政治ニ異ナル所ハ一切ノ權利ヲ舉
ゲテ特ニ君主ノ一身ニ歸着シ君主ニ對シテハ何人ト雖更ニ確然タル權利ヲ有セス即チ國民
中ノ權利者ハ獨リ一ノ君主ニシテ其ノ他ハ盡ク無權利ノ奴隸タルニ在リ蓋シ此ノ君主ハ宗

教又ハ道徳上ノ良心ニ因テ自ラ其ノ權利ヲ制限シ且其ノ無上ノ權威ヲ行フニ當リ神明ニ對シテ責任ヲ負フカ如キノ思想アリト雖其ノ臣民ノ權利ノ爲ニ一モ制限ヲ受クル等ノ事アラズ故ニ君主ノ意向ニ隨ヒ又ハ恩惠ニ因テ許容シ賜與シタルモノ、外ハ臣民中ニ復タ一ノ權利アルコトナシ

抑、無限擅恣君主政ノ性質ヲ畧ホ解セント欲セハ天神ノ無上威力ヲ藉リテ以テ之ヲ説明スルヲ得ヘシ即チ此ノ政體ノ主トスル所ハ君主ヲ以テ天神ノ代理者トナシ限極スヘカヲサル神力ヲ有セシムルニ在リ故ニ其君主ヲ視テ一個肉體ノ人トナシ復タ神道政治ノ之ヲ以テ直チニ神明ト看做スカ如キニ非スト雖自ラ神道政治ト密接ノ關係ヲ有シ且ツ未タ其ノ固有ノ舊弊ヲ襲フヲ免レス夫ノ中古ノ回々宗諸國ハ常ニ此ノ政治ニ傾キシカ近世ニ及ンテ漸ク歐洲ニ行ハル、人道政治ノ體裁ニ移レリ

(二) 蓋シ無限擅恣君主政ハ君主政治中ノ最モ暴惡ナル政治ト謂フ可シ高尚ナル「アーリシユ」種族ノ國民等歐洲諸國ノ民ハ上古ニ於テ已ニ之ヲ斥ケ以テ陋野ノ惡政トセリ此ノ國民等ハ君主其ノ權利ヲ有スルノ外等族及一個人ニ於テ各、其ノ權利ヲ確有シ常ニ自ラ自由ノ民タルコトヲ信シ更ニ君主ノ奴隸タランコトヲ甘ンセス或ハ時アリテ君主ノ威權強ニ過キ擅恣政治ニ類スルカ如キニ至レハ輒チ之ヲ以テ非理トナシ機ニ乘シテ之ニ抗抵シ君主ニ逼リテ人民

ノ權利ヲ崇存セシメタリ夫レ開明ノ君主政治ハ必ス常ニ一般法律ノ爲ニ檢制ヲ受クヘキモノニシテ敢テ君主ノ擅恣ニ任スヘキモノニ非ス而シテ君主ノ地位ハ曾テ此ノ檢制ノ爲ニ卑損ヲ致サスシテ却テ其ノ尊ヲ加ヘ其ノ權威ハ爲ニ衰弱ヲ致サスシテ却テ其ノ強ヲ增セリ何トナレハ自由ノ人民ニ君臨スルハ奴隸ノ群衆ニ主帥タルヨリ尊ク自由ノ人民ノ政治思想ヲ集合スルハ愚蒙ナル奴隸ノ服從ヲ圖ルヨリモ貴ケレハナリ蓋シ人民能ク和同シテ強毅ノ心力ニ富ミ百般ノ事業盛ニ興ルトキハ其ノ國益々開明ニ進ムヘシ而シテ是レ等ノ進歩ハ惟タ開明ノ君主政治ニ在テ之ヲ期スルヲ得ヘクシテ無限擅恣ノ君主政治ニ在テハ敢テ望ムヘカラサル所ナリ

君主ノ權ヲ一定シ及之ヲ檢制センカ爲メ古來各國ノ人民ニ於テ種々ニ適當ナル方法ヲ求メテ數々之ヲ試ミタリ

君主政治中其ノ體裁ノ最モ古キモノハ氏族王治即チ「パトリアルヒー」ト爲ス此ノ政體ニ在テ國王ハ猶ホ最貴ノ氏族ヨリ出ル酋長ノコトク其ノ民族ノ長老及大父トシテ尊崇セラル、ヲ常トス故ニ此ノ政體ハ猶ホ未タ家族ノ關係ヲ脱セス且家族思想ノ爲ニ制限ヲ受クルモノニシテ邦國タル公體ノ性質ヲ有スルモノニ非ス印度諸族ノ「ウキッパーチ」國獨逸諸邦ノ「ク「君」長」君ノ如キ皆此ノ幼稚ナル政治思想ヲ見ルニ足ルヘシ

又彼ノ專ラ中古ニ於テ行ハレタル封建又ハ領地主義ノ氏族侯伯政治モ亦私法上ノ規模及組織ニ成リタルモノナリ此ノ政體ハ通常私法上ノ權利ト世襲政權トノ思想ヨリ成立セルモノニシテ邦國ノ政權ヲ誤認シテ尋常所有權上ノ土地管理權トナシタルニ出ツ故ニ其ノ官職ヲ視ルコト宛モ財產權ニ異ナラス

此ノ二政治ハ邦國思想ノ猶ホ未タ開進セサル國ニ在テ行ハル、モノニシテ此ヲ以テ未熟ナル進化ノ徵候ト爲サ、ルヲ得ス

(三) 政治ノ思想稍ニシテ興ルト雖其ノ思想專ラ一部ノ事務ニ限局シ而シテ國王獨リ其ノ事務ヲ管理スルトキハ或ハ軍事ニ於テ或ハ裁判事務ニ於テ其ノ執レカ最モ勢力ヲ有スル所ニ從テ軍務政治(ヘルツォーグドーム又ハエンペラトールレンスタート將軍政治)ト爲リ裁判政治ト爲ル軍務政治ハ強武剛毅ノ氣象ニ富ミ裁判政治ハ溫柔寛和ノ徳ヲ有セリ

(四) 政治思想ノ盛ニ君主ノ心志ヲ挑發シ君主ヲシテ自ラ其ノ無上獨尊ニシテ且ツ一切公權ノ所有者タルコトヲ信セシムルニ至ルトキハ其ノ中央至極ノ權利者タル君主ノ地位ハ益々鞏固ナルヲ得ルト雖人民ハ之カ爲ニ政治上ノ自由ヲ失フニ至ル是ヲ專制君主政ノ組織始メテ成レルモノトナス此ノ政體ハ無限擅恣君主政ノ一變シタルモノニ屬スト雖其ノ君主ハ必ス法律ヲ守リ通常之ニ由リテ政ヲ行フコトヲ以テ自ラ其ノ義務トナシ無限擅恣君主政ノ如

ク專ラ己ノ意思ニ任シテ法律ヲ蔑棄スルコトアラス又此ノ君主權ハ古羅馬ノ時ニ在テ甚ク強大ナリシモ近代ニ至テハ基督教ノ隆興ト及中古以來自由ノ發達トニ由テ頗ル爲ニ檢制セラレタリ

(五) 前ノ專制君主政ニ比スレハ其ノ進化ノ度較、高ク且持重ヲ務メテ濫リニ勢威ヲ張ラサルモノヲ檢制君主制ノ體裁トス此ノ政體ハ一面ハ中央ノ政權ヲ君主ノ身ニ統合シ一面ハ全國民并ニ一個人ヲシテ各、其ノ自由ヲ得セシムルコトヲ目的トシテ組織シタルモノナリ

夫ノ中古ノ貴族及等族ノ爲ニ檢制セラレタル君主政治并ニ今時ノ代議制及立憲制ノ君主政治ノ如キ皆此ノ類ニ屬セリ

以上各種ノ君主政治ニ係ル緊要ノ體裁ハ次ノ數款ニ於ルカ如ク特ニ之ヲ論究センコトヲ要ス

(六) 今又開明君主政無限擅恣君主政ノ如キ陋野ノ政體ニ對シテ言フ中ニ就テ更ニ一ノ區別ヲ爲スヲ要スルモノアリ王位ト帝位トノ區別是ナリ此ノ區別タル君主政治ニ在テハ何レノ時代ト雖常ニ有ラサルコトナシ但古昔ノ亞細亞諸國ニ在テハ無限擅恣政治ノ如キ陋野ナル體裁ヲ以テ起リ現今ノ歐洲諸國ニ在テハ高明ナル組織ニ依テ定マルノ別アルノミ

蓋シ王位ノ義ハ一國ノ民ニ限リテ之ヲ言ヒ帝位ノ義ハ四海ノ民ヲ總ヘテ之ヲ言フ即チ王位

ハ一邦國ノ政治組織ニ在リテ最高位ニ居ルモノヲ稱シ帝位ハ四海一統ノ君位ヲ稱ス故ニ帝位ハ王位ノ上ニ在ルコト猶ホ全世界人民ノ威力ハ各國人民ノ威力ノ上ニ居ルカ如シ東洋諸國ニ於テ往々廣大ナル邦國ノ興起スルニ方リテ衆國王ノ上ニ位スル一國王ヲ出スヲ見ル昔羅馬ノ英雄該撒チエーザル四海ヲ統一センコトヲ圖リタル以來是ノ如キ統一ノ君位ニ名クルニ此ノ帝位ノ名ヲ以テセリ然リ而シテ此ノ帝位ヲシテ名實相副ハシムルニ至ルハ全世界ヲ擧ケテ一統合同ノ組織ヲ爲スヲ得ヘキ開明ノ極度ニ達スル時ヲ待テ方ニ始メテ之ヲ能スルヲ得ヘシ故ニ是ノ時ニ至ルマテハ猶ホ古來ノ歴史ニ於テ見ルカ如キ不完全ナル體裁ヲ以テ之ヲ組織スルニ過キサルヘキヲ知ルナリ

第十五款

(甲) 希臘及古日耳曼ノ氏族王治(ヘレーニセス、ウント、ゲルマーニセス、ゲシユレヒツキ ユーニヒツーム)

希臘及古日耳曼ノ史ヲ觀ルニ其ノ初メ興ルヤ必ス國王ヲ其ノ上ニ置ク其ノ國體ノ組織、政事ノ施行等ヲ按スルニ兩民族皆其ノ制ヲ同クシテ宛モ符節ヲ合スルカ如シ而シテ此ノ間ニ

起リタル古羅馬ノ王政ハ其ノ主タル性質ニ於テ全ク兩民族ト相異ナルヲ見ルナリ
蓋シ希臘及古日耳曼ノ王政ハ獨裁智術政治ノ主義ヲ脱シテ法律政治ノ組織ニ移ルノ境界ニ位スルモノニシテ一方ニ在テ之ヲ觀レハ其ノ國王ヲ神胤ニ出ルモノトナシ(希臘人民ハ概子其國王ヲ「ツォイス」神ノ名ノ苗裔トナス國王ノ民ニ君臨スルハ猶ホ神ノ人世ニ於ケルカコトシト信シ未タ陋野ノ迷夢ヲ脱セサルニ似タリト雖又一方ニ在テ之ヲ觀レハ已ニ其ノ國王ヲ以テ尋常ノ人ト認メ尋常法律上ノ檢制ヲ以テ之ニ加ヘシモノ尠カラス故ニ其ノ國民ハ國王ノ武功顯著ナル者ヲ敬シテ神ノ子孫又ハ親戚等ト稱スト雖又國王ヲ視ルニ尋常一般ノ人ヲ以テシ其ノ國王ノ自ラ視ルモ亦然リ

是ノ故ニ國王ノ榮譽權ハ其ノ勢威ニ比スレハ遙ニ尊クシテ且ツ大ナリシナリ國王ハ神ニ對シテ其ノ國民ノ代理者タル職ヲ司リ別ニ之カ爲ニ僧官ヲ置カス親ヲ饌ヲ供シ祝詞ヲ讀ミ神ト民トノ中間ニ在テ之カ紹介者タリ後來雅典ニ於テ既ニ王位ヲ廢シタル後ト雖神祭ヲ司ル元老官アルシオンハ猶ホ國王ノ名義ヲ兼稱シタルモ亦此ニ因由セリ

國王ノ身體ハ他ノ人民ニ比スレハ遙ニ貴重ナルモノトセリ例ハ古日耳曼國王ノ歳入ノ如キハ通常他ノ貴族ノ數倍ヲ收メタリシヲ以テ其財産上ニ於テモ遙ニ他ノ人民ノ上ニ在レリ國王ハ其ノ所領地トシテ廣大ナル土地ヲ有シ且ツ他國ヲ制服スルコトアレハ先ツ其ノ中廣

大ノ地ヲ取リテ己ノ所有ト爲スヲ常トセリ畫棟彩椽ヲ以テ結構シタル高堂大廈ニ居住シ其ノ倉庫ハ金銀珠玉ヲ以テ之ニ充物セリ

又國王ハ特別ノ徽章ヲ以テ其ノ位ヲ表セリ即チ希臘國王ハ裁判及ヒ行政ノ主權ヲ表スルカ爲メ笏ヲ持シ獨逸國王ハ杖ヲ携ヘ且ツ高キ王床ノ上ニ座セリ又獨逸國王ハ其ノ出行スルニ方リテ列前ニ大旗ヲ執ラシメ以テ軍事ノ主權ヲ表セリ希臘ニテハ國王行クトキハ前驅呼報シテ傍人ノ語言ヲ禁シ獨逸ニテハ國王ノ裁判所ニ臨ムトキモ亦是ノ如キ儀制ヲ行ヒタリ古佛朗哥ノ國王ハ波紋襟ノ長髮ヲ被フリ華美ノ衣装ヲ着ケ以テ常人ト區別シ又古印度及支那ノ君主ハ身黃袍ヲ穿チ黃羅ノ繖蓋ヲ張レリ

王位ヲ以テ一定ノ氏族ニ歸シタルト又此ノ氏族ハ神胤ニ出テタルト想像シタル事ハ以テ王位ノ古來世襲ニ成レルコトヲ觀ルニ足ルヘシ而シテ王位ノ繼襲ハ必シモ常ニ相續法ニ依ルニ非ス希臘ニ於テハ又其人ノ智勇如何ヲ以テ之ヲ定メ即チ婦女及幼稚者ハ概シテ王位ニ昇ルコトヲ許サス此ノ如キ制限ヲ置クノ外且ツ王位ニ昇ルニハ先ツ貴族及庶民ノ承諾ヲ得サルヘカラスト爲シタルヲ以テ往々相續法ニ依ラサルコトアリ獨逸ニ於テモ相續法ニ依ルノ外選舉ト人民ノ承諾トヲ以テ繼襲ヲ定メタリト雖尙ホ相續法ニ依ルヲ常トシ且ツ希臘ニ比スレハ數幼稚者ヲ立タルコトアリ然レトモ先王ノ親族中才能卓出スル者アレハ其ノ血屬親

近ナルモノヲ舍テ、而シテ之ヲ選舉スル等ノ事ハ亦人民ノ自由ニ任セタリ

此等ノ國王ノ政權ハ強大ナラサルニ非スト雖亦常ニ檢制ヲ受ケタリ而シテ其ノ政權ノ重要ナルモノヲ舉グレハ左ノ如シ

(一) 國王ハ諸侯及人民ノ會議ニ於テ其ノ議長トナリ且之ヲ統率セリ會議ニ於テ國王ノ權ハ甚タ盛ナリシト雖彼ノ羅馬ノ著述家タチツースカ其ノ實況ヲ寫シタル如ク之ヲ法律ニ成レル命令ノ權ト謂ハンヨリハ寧ロ德義ニ出ル勸諭ノ權ニ屬シタルモノトス

(二) 國王ハ最上裁判官タルノ權ヲ有セリ但法律ヲ保護シ主持スルノ權ニシテ罪犯ヲ裁決スルノ權ニ非ス故ニ司法ノ體裁又ハ事項ニ就テ自由ニ之ヲ按定スルノ權ヲ有セス却テ常ニ裁判官ノ判決ニ因テ檢制セラレ且ツ其ノ判定ニ委子タリ

(三) 國王ハ軍事上ノ統領ニシテ且ツ軍隊ノ將軍タルコトヲ常トシ而シテ軍時ニ在テハ其ノ權力平時ニ比スレハ更ニ大ナリ又獨逸諸國ハ王位ノ世襲タルヘキ事ヲ信重スルコト希臘人ニ過キタルカ爲メ若シ其ノ國王幼稚ナルトキハ別ニ將軍ヲ置キ軍隊ノ統率ヲ委任セサル能ハサルコトアリキ但シ此ノ場合ニ於テモ必ス國王ヲ以テ眞ノ元帥ト認ムルコトヲ常トセリ

國王ノ政權ハ右ノ諸項ニ掲グルカ如シト雖行政ノ權力ニ至リテハ希臘及古日耳曼ニ於テモ

其ノ初ハ未ダ甚タ發達セス蓋シ其ノ萌芽ハ此ノ諸權力ノ中ニ隱伏シテ未ダ現出スルニ及ハサリシナリ

國王ハ神律ト人律トノ範圍内ニ於テ其ノ地位及權力ヲ有シ殊ニ希臘國王ノ神律ヲ奉シ其ノ國ノ法律及慣習ニ遵ヒシカ如キハ東洋諸國ノ無限擅恣君主政ニ比スレハ實ニ霄壤ノ差アリトス故ニ國王ハ法律ノ外ニ在ラスシテ國民ト俱ニ其ノ中ニ在リ又國民ノ外ニ在ラスシテ其ノ首席ニ在リ而シテ獨逸國王カ其ノ國民及各社會ノ權理ノ爲ニ檢制ヲ受ケタルハ又希臘人ヨリ一層ノ上ニ在リ

獨逸國王ノ權力ハ通常甚タ小ナリシト雖一ノ場合ニ於テハ又頗ル大ナルモノアリ即チ國王ノ選拔シテ己ノ旗下ニ隸屬セシムル從臣ニ對スル關係是ナリ軍事ニ論ナク凡ソ何等ノ事ト雖必ス忠誠ヲ盡シテ一ニ王命ヲ奉センコトヲ誓ハシメ以テ其ノ從臣ト爲スニ因リテ國王ハ自ラ強大ナル兵力ヲ有セリ此ノ從臣ハ國王直隸ノ騎士ト稱シ寇敵ニ對シテ國王ノ榮譽ト權カトチ保護スルヲ以テ其ノ任トセリ蓋シ此ノ獨逸固有ノ慣習ハ將來中古ノ世ニ至リテ封建ノ大勢ヲ創成シタル原因ニシテ竟ニ大ニ國體ヲ破壊シ變更シタルモノハ此ニ由レリ

第十六款

(乙) 古羅馬ノ民立王治(アルトルーミセス、ホルクスキューニヒツーム)

羅馬古昔ノ王政ハ其ノ體裁タル或ハ希臘及古日耳曼ノ王政ニ類似スル所アリト雖又或ハ全ク異ナル所アリテ要スルニ一種固有ノ體裁ヲ爲シ而シテ其ノ進歩ノ度ハ彼ヨリ高キコトヲ見ル即チ羅馬王ノ即位ニ就テモ希臘及日耳曼ニ比スレハ既ニ二個ノ重要ナル區別アリ蓋シ羅馬王位ノ繼承ハ希臘及日耳曼ノ如ク相續權ニ依ルニ非スシテ而シテ任命及選舉ニ依ル一ナリ人民ノ信用ニ於テモ古日耳曼又ハ希臘ノ如ク其ノ國王ヲ神胤ト爲ス等ノ如キコトアラスニナリ

羅馬ニ於テモ亦其ノ國家ノ創立者タル英主等ノ神胤ニ出テタルコトヲ信シ即チロムールス羅馬國ノ創造者ノ如キハ其ノ死後尊テ之ヲ神ト爲セリ又其ノ重要ナル國政ノ事ニ關シテハ或ハ飛鳥ノ影ニ依リ或ハ腦裏ニ動ク所ノ冥想ニ從ヒ或ハ逃避スヘカラサル命運ノ威力ニ委子以テ其ノ吉凶ヲトスル等ノ如キ神託ヲ承請シテ之ヲ施行シタルコトアリ然レトモ常ニ必ス間接ノ神道主義ニ止レリ故ニ羅馬王政ノ性質ハ未ダ神道主義ト相連絡スルコトヲ免カレスト雖要スルニ之ヲ人道主義ト謂ハサル可カラス且ツ專ラ人民各個ノ意思ニ由リテ其ノ組織ヲナシ君主ノ氏族屬等ハ其ノ主要トスル所ニ非ス

國王ハ其ノ前代ノ王又ハ攝政ヨリ任命セラレ先ツ元老議員ノ參與ヲ得國神ノ認可ヲ經ルモノトス其ノ在位ハ終身間ヲ常トシ其ノ子孫ニ相傳スルヲ許サス故ニ王位ノ繼承ハ其ノ血統ヲ以テセスシテ其ノ人ヲ以テスルヲ主義トセリ而シテ此ノ主義ヲ以テ撰擧セラレタル國王ハ其ノ自ラ案定スル所ノ法案ニ基キ議院ニ於テ之カ法律ヲ制定シ其ノ吉凶ヲトシ然ル後攝政官ヨリ一國統制ノ主權ヲ授ク其ノ制規タル猶ホ後來共和政治ヲ行ヒシ際其ノ執政官ニ主權ヲ與フル時ノコトシ是ニ由リテ之ヲ觀ルトキハ羅馬ノ王政ハ己ニ初ヨリ一個ノ執政者ヲ置テ之ニ國政ヲ委任シタルニ過キサルノミ

是ノ故ニ羅馬ノ王政ハ尋常ノ君主政治ニ比スレハ一種特殊ノモノタルヲ知ルヘシ且其ノ異ナル所ハ獨リ此ノミナラスシテ其ノ國王ノ有スル政權ノ種類及性質ニ於テモ亦甚明瞭ナリ但其ノ國民中最高等ノ僧官タル事元老議員又ハ人民ノ各社會ヲ徵集シテ會議セシムル事裁判事件ニ於テ最高等ノ法官タル事時トシテハ被告者其ノ處刑ノ宣告ヲ受タル後猶ホ國民ニ控訴シ得ルコトアリ)法律上軍事ノ總裁タルヘキ權ヲ有シ純然タル將軍タル事富優ノ土地及歲入ヲ有スル事等ハ古來諸國君主ノ有スル權利ト殆ト相等シトス

羅馬王ハ神胤ニ非スシテ只タ終身間ノ撰擧ニ由リ其ノ位ヲ得タルモノナリト雖其ノ權力ノ強大ナルハ遠ク古時ノ希臘國王ニ過キタリ是レ羅馬人ノ政治思想ハ其ノ立國ノ初ヨリ最上執政官ニ付與スルニ十分ノ威權ヲ以テシ其ノ公共ノ安寧ヲ防護スルニ於テ權力ニ不足ナルノ患ナカラシメント欲シタルニ由レリ此ノ制タル實ニ羅馬主宰官制ノ長所ニシテ又後來施設セラレシ他ノ制度ニ卓絶スル所以ナリ

國王ノ服飾及其ノ儀仗ハ特ニ華美ニシテ日ツ尊嚴ナルニ非スト雖其ノ式ハ己ニ強大ノ威力ヲ表示セリ國王出行スル時ハ十二人ノ獄司手ニ斧ト索トヲ執リ以テ其ノ前ニ立テリ是レ獨リ王位ノ標式タルノミニ非ス其ノ己ノ命ニ從ハサル者アレハ之ヲ戮殺シテ貸スコト無キヲ示シタルモノトス故ニ羅馬ノ主宰官ト獄司ノ斧トハ羅馬人民ノ生活ト思想トニ聯絡密着シテ常ニ相離レサルモノナリ

憲法上ニ於テ國王ハ天機ヲト占シテ政事ヲ施爲スヘキ大權ヲ有スルカ故ニ其ノ必要ト思考スル制度法令ハ總テ之ヲ制定スルコトヲ得タリ元來羅馬ノ邦國ハ國王ノ創始スル所ニ係ルヲ以テ創始者ノ權威ハ繼續者之ヲ承襲スルコトヲ例トセリ是ヲ以テ法律ヲ制定スルニハ先ツ元老院ノ協議ヲ要シ(セルウァウス、ツルリウス)王以後ハ更ニ民撰代議院ノ意見ヲモ問フコトハナレリ)タリト雖畢竟何等ノ場合ニ於テモ國王ノ意見ニ反シテ之ヲ定ムルコトヲ得ス唯ニ之ヲ得サルノミナラス必其ノ意ニ從テ之ヲ定ムルヲ常トセリ何トナレハ法案提出ノ權ハ國王獨リ之ヲ有シ其ノ意ニ不可トスル法案ハ之ヲ提出シ及議決スルヲ許サレハナリ

又國王ハ法律ヲ制定スルノ外特ニ勅令ヲ發シ其ノ保護シ維持セント欲スル法律ニ就キテ之カ細目ヲ定ムルコトヲ得タリ而シテ此ノ發令權ヲ施行スルニハ更ニ議院等ノ認可ヲ要スルコトナシ蓋シ此ノ權ハ明文ヲ以テ舊來ノ慣習法ヲ確定シ又ハ新定ノ法義ヲ表示スルニ當リ方ニ之ヲ行フモノニシテ其ノ實行シタルハ甚タ希ナリト雖昔日ヨリ之ヲ認メテ羅馬主宰官ノ特權トセル所ナリ故ニ後來共和政治ノ時ニ至リ其ノ主宰官ノ有シタル發令權ハ其ノ時新ニ之ヲ得タルニ非スシテ昔時ノ國王ヨリ繼承シタル遺物ナリトス

羅馬王ノ司法上ニ有スル權力ハ日耳曼諸邦君主ノ司法權ニ比スレハ頗ル強大ナリトス羅馬王モ亦日耳曼君主ノ如ク其ノ初ハ親ラ訟庭ニ臨ミシカ彼ノ日耳曼君主カ陪審官ノ判決ニ由テ制限ヲ受ケシノ比ニ非ス其ノ訴訟ヲ聽キ適用スヘキ法章ヲ定ムルモ皆自ラ之ヲ行ヒ且ツ初ハ理否ノ判決モ亦自ラ之ヲ爲セシコト少カラス凡ソ民事刑事ヲ問ハス一切司法ノ事ハ概子國王ノ掌裡ニ在テ存シタリ

羅馬王ノ兵權モ亦甚タ強大ニシテ凡ソ戰場ニ在テ上ハ將軍ヨリ下士卒ニ至ルマテ其ノ死生與奪ノ全權ハ國王獨リ之ヲ有シ更ニ他ノ制限ヲ受ケサリシナリ此ノ大權ハ傳ヘテ共和政治ノ時ニ至リテハ大ニ制限セラレシト雖其ノ國王ニ同シキ大權ヲ有セル大總督ハ勿論執政ト雖猶ホ能ク全軍隊ノ請ヲ容レスシテ將軍ヲ戮殺シ又ハ各軍隊毎ニ第十位ニ列スル者ヲ取テ

盡ク斬ニ處シタルノ例少カラス

政府ノ官吏ハ勿論僧侶ト雖其ノ官位及職權ハ皆國王ノ手ヨリ之ヲ受ケタリ即チ騎士ノ將校及國王ノ代理者タル都府ノ知事ハ國王親ラ之ヲ任シ高位ノ僧官等ハ其ノ占筮及神律ノ學ヲ國王ヨリ受ケシカ如シ

政府ハ百司ノ中央トシテ強大ナル行政權ヲ有シ公共ノ利益ニ關シテ政治上必要ナリト認ルトキハ其ノ事ト時トニ論ナク常ニ之ニ干渉シテ命令ヲ下セリ此ノ行政權ハ希臘ニ在テハ猶ホ甚タ微弱ニシテ日耳曼ニ在テハ竟ニ全ク行ハレス獨リ羅馬ニ在テハ立國ノ始ヨリ要重ノ權力ヲ占メタリ蓋シ羅馬人ハ家長權又ハ財產所有權ニ於テモ皆專制權ヲ有スルヲ好ミ制限ヲ受ルヲ喜ハサリシカ如ク政府ノ權力モ亦更ニ制限ヲ爲スヲ好マサリシナリ故ニ其ノ國王ハ唯タ治平ヲ謀ル裁判官タルノミナラス其ノ職トスル所ハ本ト政治ヲ行フニ在リ是レ羅馬ニ於テ「レゲント」君主ノ義ノ名稱アル所以ナリ

是ヲ以テ羅馬王政ノ時ニ在リテ其ノ政治ノ得失ハ總テ常ニ國王ノ意思ト其ノ賢愚トニ由リ百般ノ組織ハ盡ク其ノ命ニ繫リタル所以ヲ知ルヘシ又此ノ時ニ在テ已ニ國王ノ命ニ因リ壯大ナル公共ノ建築ヲ經營シ之ヲ落成シタル所以ヲ知ルヘシ且ツ國王ハ意テ人民ノ衣食ニ用ヒ農耕ヲ勸メ風俗ヲ監シ凡百ノ警察權ヲ行フカ如キ後來共和政治ノ時ニ至テ執政、官長府

知事ゾルエーチレン區長等ノ間ニ分掌セル政權ヲ以テ全ク一個ノ手裏ニ集合シタリシナリ
 之ヲ要スルニ羅馬王國ハ古今ノ歴史上ニ於テ一切ノ政權ヲ中央ニ集合シ完全ナル專制權ヲ
 以テ組織シタル人道神道主義ニ對シテ言フ獨裁政治ノ始祖ナリトス

第十七款

(丙) 羅馬帝政(ダス、ルーミセス、カイゼルツーム)

羅馬帝政ハ「ユーリウス、チェーザル」之カ基礎ヲ創メ「アウグスツス」「チェーザル」之カ構造ヲ
 成シタルモノニシテ中古及近世ニ於ケル國法ノ一大淵源タリ此ノ帝政ハ近世諸人ノ説クカ
 コトク前代共和政治ノ官司ヲ集合シ以テ之ヲ組織シタルニ非スシテ實ハ昔日羅馬創始ノ際
 ニ行ハレタル君主政治ノ主權ヲ再興シタルモノナリ即チ廣大ナル規模ニ據リ時勢ニ適應ス
 ル改良ヲ加ヘ以テ君主政治ヲ回復シタルモノナリ
 而シテ皇帝ノ掌握スル所ノ政權ハ共和政府ノ各主宰官中ニ分屬シタルモノヲ繼承シテ之ヲ
 一手ニ集合シタルニ外ナラス即チ皇帝ハ裁判權ヲ有スルニ因リ其ノ身體ハ犯スヘカラサル
 モノトナシ民事刑事上ニ於テ廣大ノ權ヲ握リ人民ノ身體ト權利トヲ保護スルノ任ヲ掌リ又

警察權ヲ有スルニ因リ風俗ヲ監視シ及其ノ意見ニ隨テ年々登録スル元老議員ト武士トノ補
 任名簿ヲ加除シ又大僧官ノ位ヲ兼ルニ因リ要重ナル教權上ノ事件ハ親ヲ之ヲ裁制シ又世々
 ノ皇帝ハ必ス共和政府ノ總宰官タリシ「コンソル」ノ位號ヲ帶フルヲ常トセル是ナリ然レ
 トモ今若シ此ノ政體變革ノ要件タル國體組織ノ精神ト其ノ實權トニ就キテ之ヲ察スレハ唯
 ニ共和政府ノ各主宰官中ニ分屬シタル政權ヲ集合シタルノミニ非スシテ新ニ統一ノ主權ヲ
 定メ一大君主政治ヲ創立シタルモノト謂ハサルヘカラス初其ノ基礎ヲ立ルニ當リテヤ陽ニ
 ハ猶ホ共和ノ制度ヲ裝ヒ巧ニ國民ヲ瞞着シタレトモ識者ノ眼中ニハ「アウグスツス」ノ時ニ
 於テ己ニ君主政治ノ行ハル、ヲ認メタリ而シテ「チベリウス」帝ノ位ニ即クヤ元老院ニ於テ
 顯然君主政治ノ主義ヲ颺言スルニ至テ愈々帝政ヲ確實ニセリ其ノ言ニ曰ク抑國ハ一ノ巨
 大ナル身體ナルヲ以テ之ヲ運用スルハ必ス一個ノ精神ニ依ラサルヘカラス今此ノ語ヲ以テ
 治國ノ原則ヲ確定スヘシ素ト相結合シテ相分離スヘカラサルモノヲ將テ強テ之ヲ分離セン
 トスルカ如キハ決シテ復タ行フヘカラサルナリ云々

嚮ニ共和政府ノ時ニ方リテ所謂官長ナルモノハ元老議員ノ官稱ニシテ其ノ名位甚々尊大ナ
 ルモノニ非サリシモ今ヤ之ニ代ハル所ノ皇帝ノ權威ハ殆ト其ノ際涯ヲ見ス是ヲ以テ皇帝ハ
 自ラ驕慢ノ心ヲ生シ其ノ智徳ヲ失ヒ淫邪ニ陥リ歷世中能ク此ノ大權ニ任シ其ノ重位ニ勝ユ

ル者甚少キヲ致セリ而シテ皇帝ノ位爵及權威ハ固ヨリ其ノ血統ニ由テ之ヲ相續シタルニ非ス其ノ初十年ノ期限ヲ以テ選舉セシハ徒ニ虛文タルニ止リ其ノ實ハ終身改選ヲ行フコトナク位權自ラ皇帝ノ一身ニ固着シタルカ如シト雖元ト是レ國法ニ由テ其ノ人民ヨリ付與セラレタル權威ニシテ他ノ帝國ニ於テ往々之アルカ如キ天神ヨリ付與セラレタルモノニ非ス是ノ故ニ其ノ主權ハ尙ホ常ニ人民ニ在リ然レトモ皇帝ノ氏系ト族屬トハ其ノ撰擧ニ當リテ實際ニ關係ヲ有シタルコトモ亦甚タ少カラス且ツ其ノ選ニ當リタル皇帝ハ共和政治ノ時羅馬全國人民ノ有シタル所ト同一ナル權力ヲ其ノ一身ニ專有シタリ而シテ此ノ權力ハ世々ノ慣例ニ因リテ確然堅定シ後來復之ヲ制限シ若クハ奪取スル能ハサルニ至レリ

皇帝ノ掌有シタル權力ハ之ヲ詳記スレハ左ノ如シ(但帝位ニ昇レハ必ス行政長官ノ職ヲ兼ヌルヲ常トシ此ニ因テ其ノ權力ニ幾分ノ重キヲ増加スレトモ今單ニ帝位ニ屬スルモノ、ミナ掲ク

(第一) 全國ノ軍兵及羅馬府ノ守衛兵ガルデ、デル、プレヲ使用シ及指揮スルノ權アリ蓋シ疆土ヲ拓キ國威ヲ張ルニハ必ス兵力ヲ要スルヲ以テ爲ニ常備兵ヲ設置シタリシカ此ノ事タル適マ帝威ヲ堅固ニシ全國ヲシテ盡ク其ノ命ニ屈從セサルヲ得サラシムルノ結果ヲ致セリ此ノ如ク帝專ラ兵權ヲ掌握セルヲ以テ世始メテ帝ヲ稱シテ「インペラトール」ト曰ヘリ「インペ

ラトール」ハ原來將軍ト謂フ意義ナレトモ今ハ直ニ用ヒテ皇帝ノ義トナスニ至レリ

(第二) 國內最モ重要ニシテ殷富ナル州土ヲ擇ヒテ多ク之ヲ占領シ此ニ因テ不貨ノ貨財ヲ積ミ隨テ又勢力ヲ加ヘタリ而シテ帝政ニ改メタル以來州郡ノ貴豪等ヲ元老議員其ノ他官吏ニ登用シタルヲ以テ人民ノ賦稅ハ曩ニ共和政府ノ時ニ於テ其ノ州長及州太守等ヨリ課賦セラレタル所ニ比スレハ較々寬輕ヲ得ルニ至レリ是レ州長及太守ノ職ヲ奉スル者ハ常ニ苛重ノ聚斂ヲ事トシ私ニ其ノ家産ヲ富マサンコトヲ謀リタレトモ皇帝ハ永ク位ニ在リテ政ヲ執ルカ故ニ彼ノ短期ノ選任期限ニ於テ一時其ノ職ヲ奉スル官吏トハ利害ノ關スル所自ラ殊ナルヲ以テ大ニ人民ヲ愛養スルノ心アルト且ツ漸次州政ヲ改良シタルノ結果トニ出ルモノナリ

(第三) 宣講和及諸國合從ノ外交政略ヲ裁理スル事

(第四) 元老議員ヲ召集シ之ニ議案ヲ下付シテ審議セシメ其ノ議決ニ由テ法律ヲ發スル事但議員ノ皇帝ニ對シテ常ニ屈從シタル事及其ノ帝位ニ對シテ大ニ檢制ヲ受ケタル事ハ世人ノ徧ク知ル所ナリ

(第五) 行政官其ノ他重要ノ官吏ノ選任ヲ裁決スル事是等ノ選任ハ元老議院及國民議院(當時其ノ形ヲ存スルノミニシテ全ク勢力ナカリシナリ)ニ於テスル規則ナレトモ豫メ皇帝ヨリ推擧セラレタル候補者ニ限リ其ノ選ニ充ツヘキコトヲ以テ法律上ノ義務トナシタリシカ

故ニ其ノ實權專ラ皇帝ニ移レリ

(第六) 國家ノ幸福ト榮譽トヲ保護シ増進スルニ於テ緊要ナリト認ムル所ノ者ハ總テ之ヲ爲シ得ヘキ無限ノ政權ヲ有スル事蓋シ帝ヲシテ其ノ國家ノ安寧福祉ヲ護持スルニ緊要ト認ムルモノハ容易ニ之カ施設ヲナスヲ得セシメ以テ公共ノ便ヲ謀ラント欲シタルハ元ト此ノ制度ヲ立ルノ本意ナリシカ此ノ如キ無限ノ權力ヲ付與シタルノ弊ハ後來皇帝ノ出セル詔令ヨリ以テ訓令指令ノ類ニ至ルマテ皆完全ナル法律ノ力ヲ有シ隨テ立法權ノ全部ヲ舉ケテ獨リ皇帝ノ掌裡ニ歸セシメタリ此ノ無限ノ權力ヲ施行スルニ於テ或ハ其ノ官吏ノ躊躇スルコトナカラシメンカ爲メ且ツ被治者ヲシテ或ハ之ニ抵抗スルコトナカラシメンカ爲メ詔ヲ下シテ明ニ之ヲ令シテ曰ク若シ此等ノ法令ヲ行フカ爲メ國法慣習法又ハ元老議院ヨリ令スル法規ニ背反シ或ハ其ノ規則ヲ遵守セサルコトアリトモ其ノ罰ヲ受ルコトナク且ツ之ヲ法廷ニ訴フルコトヲ許サスト故ニ皇帝自ラ無答責ノ權ヲ有スルコトハ勿論苟モ其ノ命ニ由リテ事ヲ行フ者ハ皆無答責ニシテ正ニ今日ノ責任大臣ノ制ニ反對セリ

是ノ故ニ皇帝ノ公法上ニ於ケル權力ハ全ク當時羅馬ニ行ハレタル私法上ノ所有權及家長權ニ異ナラス此ノ無限政權ニ對シテハ何人何者ト雖盡ク之ニ服從セサルヲ得ス羅馬ノ全世界ヲ舉ケテ全ク一人ノ手裡ニ聚合シタリ而シテ此ノ政治ノ元則トシテ羅馬人ノ常ニ誇稱シタル所謂國家ノ福利ナルモノハ之ヲ實際ニ徵スレハ往々其ノ思想スル所ト相背馳セリ又此ノ原則ハ後年ニ至ルニ及ンテハ政治上ニ在テ勢力ヲ占ムルコト法律ニ過キ終ニ之ヲ私法上ニ推及シ由テ以テ法理ヲ定ムルニ至レリ

羅馬帝國ハ後世專制君主政治ノ一大模範ヲナシタルモノニシテ而シテ又此ノ如キ無限政權ハ獨リ之ヲ掌握スル君主ヲ害スルノミナラス又之ニ屈從スル臣民ヲ禍スルニ足ルヘキ一大鑑戒ヲ遺セルモノト謂フヘシ

一大帝國ノ方ニ衰運ニ傾キ其ノ綱維漸ク腐朽シタルノ時ニ方リテ恰モ此ノ專制政治ヲ現出シタルハ蓋シ免レサルノ勢ニシテ抑亦覆滅ヲ促スノ理數ナルノミ當時ノ貴族タルモノ或ハ淫樂ニ荒ミ或ハ柔弱ニ流レ海ノ東西ニ亘リタル大國ノ政ヲ秉ルニ堪ヘス其ノ間或ハ奮起シテ昔日ノ政權ヲ回復セント謀リシモノアルモ毎ニ帝權ニ勝ツコト能ハス而シテ一般ノ人民ハ全ク政權ヲ有セス又久ク太平ノ佚遊ニ慣レテ昔時兵刃ヲ手ニシタルノ勞ヲ忌レ且ツ其ノ政治ニ參與スルノ權ナキヲ悲マスシテ却テ貴族ノ衰替ヲ喜ヒ多數ノ元老議員ニ制セラルヽヨリモ寧ロ一人ノ皇帝ニ服スルヲ以テ愈レリトスルニ及ヘリ夫ノ所謂羅馬ノ氣象ハ漸クニシテ困憊衰耗シ前ニ其ノ國人ヲ驅テ侵奪攻畧ヲ事トセシメタル貪婪無厭ノ征服心ハ一轉シテ之ニ代フルニ卑屈無恥ノ奴隸心ヲ以テスルニ至レリ

第十八款

(丁) 佛郎哥王國(フレンキーセス、キユーニヒツーム)

佛郎哥王國ノ羅馬帝國ノ廢趾ニ起立シ羅馬ノ元素トテ化合シテ成レル所ニシテ上古制度ノ中古ニ變移スルノ一大分界ナリ此ノ國王ハ其ノ勢力較古日耳曼ノ國王ニ踰ユルト雖又羅馬帝ノ如キ擅制ノ威力ヲ有セス日耳曼ノ權利及自由ノ思想ニ混和スルニ羅馬ノ政權及國威ノ精神ヲ以テシ此ノ混和ニ基キテ以テ王國ノ規模ヲ組織セリ而シテ其ノ制度ノ最モ灼然煥發シタルモノハ實ニ加耳大王ノ時ニ在リ

佛郎哥ノ「カロリッゲル」朝ヲシテ其ノ統一ノ勢力ヲ鞏固ナラシメタル者ハ其ノ原因一ナラス即チ英明ニシテ厚福ナル君主ノ數世相踵キタル事國ノ疆域漸ク廣大ニ趨キ爲ニ合一鞏固ナル政府ヲ設ルヲ以テ必要トナシタル事何ノ時ヲ問ハス一令ノ下ニ徵聚スヘキ大兵ノ設置ヲ要シタル事毎戰敵ニ勝チシ事數百年來羅馬開明ノ中ニ生長シ政治思想ニ富ミ其ノ制度ニ慣レタル臣民ヲ併合シタル事此等ノ諸因相合シテ竟ニ鞏固ナル勢力ヲ成シタルモノトス然レトモ更ニ此ノ王國ノ制度ヲ察スレハ其ノ中却テ前羅馬ニ若カサル所アリ何ソヤ王位繼承

ノ事即チ是ナリ此ノ國王位選定ノ古制ハ後來漸ク其ノ實ヲ失ヒ徒ニ虛文ニ屬スルニ至リ國王ノ子孫其ノ私法上ノ相續權ニ依リ以テ王位ヲ世襲シ國ノ利害ヲ問ハス民ノ安危ヲ顧ミス前王ノ死後ハ其ノ國土ヲ數子ニ分配スルコト猶ホ亡父ノ遺地ヲ其ノ子ニ分ツカ如シ是ノ故ニ國ノ合一ヲ維持スルニ必要ナル王位繼承ノ事ハ其ノ國法上ノ制度タルコトヲ省ミス更ニ民法上ニ屬スル家屬權ノ原則ニ從ヒ國ノ政令ヲ以テ全ク一家ノ財產ト看做シタリ此ノ王國政權ノ關係ニ於テ古制ヲ變更セルモノ、中其ノ最モ重要ナルモノヲ舉レハ左ノ如シ

(一) 立法 立法ノ事ハ古日耳曼諸邦ノ狹小ナル版圖内ニ行ヒタル時ニ比スレハ遙ニ重大ノ地位ヲ占メ而シテ國王ノ此ニ對スル勢力モ前日ニ比スレハ亦其ノ幾分ヲ増シタリ夫ノ羅馬ニ於テ苟モ法律上ノ事ニ關シ皇帝ノ口ヨリ出ル所ハ何事ヲ問ハス皆必ス成法タルノ効力ヲ有スルノ原則ハ此ノ佛郎哥王國ニ於テハ固ヨリ人心ニ適セサルカ故ニ未ダ嘗テ行ハレタルコトアラス但會議前ニ於テ豫メ法案ヲ草定スルノ事ハ國王其ノ參議官ノ贊助ヲ以テ親ラ之ヲ定ムルヲ常トシ而シテ其ノ法案ハ國王ノ制可ヲ得テ始メテ法律タルノ力ヲ有シ國王ノ名ヲ以テ布告セラル、コト、ナレリ

立法ニ關シテ其ノ最モ重要ナル件ハ高貴ノ僧族及其ノ他ノ貴族ノ國會ニ會スル者ハ皆法案

ヲ議定スヘキ慣習及權利ヲ有シ苟モ法律ヲ制定スルニハ必ス其ノ決議ヲ要シタル是ナリ然シテ一般人民ノ議權ハ猶未タ發達セス凡ソ其ノ政府又ハ寺院ニ係ル事件ノ如キハ概子之ヲ議セシメス唯人民ノ直接ノ權利ニ屬スル事ヲ諮議シタルノミ

抑此ノ貴族ノ立法ニ參與シタルハ將來等族代議制ノ權輿ニシテ後終ニ盛大ナル發達ヲ得以テ現時ノ民撰代議制トナリタル根柢ナリ

(二)行政 政令施行ノタメ政府ニ大權ヲ有セシムルハ古日耳曼人ノ慣習ニ於テ曾テ無キ所ナレトモ今ヤ國土ノ廣大ナル百事改良ヲ要スルニ際シテハ國家ノ爲ニ其ノ必要缺クヘカササルヲ見ルニ至レリ即チ古來政府ノ職掌ヲ以テ平安ヲ維持シ權利ヲ保護スルニ止メタルモ今又之ニ加フルニ公共ノ富榮ヲ謀ルヘキ一職ヲ以テセリ但政府ヲ建設スルノ必要ヲ感シタルハ元ト之ヲ羅馬人ニ取リタルナルヘシト雖羅馬ノ如キ命令主義政府(インペーリウム)ヲ立テンコトハ日耳曼人ノ曾テ思想セサル所ニシテ且ツ到底堪ユル能ハサル所ナリ是ヲ以テ今其ノ新設シタル政府ノ體裁ハ全ク其ノ固有ノ保護主義(ムンドシヤフト)又ハムンドブルヂウム)ニ成リタルモノナリ故ニ公法上ニ於ケル日耳曼帝佛郎哥ノ保護權ト羅馬政府ノ命令權トノ差異ハ私法ヲ以テ之ヲ譬ヘハ猶ホ獨逸ノ父又ハ夫ノ其ノ子又ハ妻ニ對スル後見權ト羅馬ノ家長ノ統治權トノ別アルカコトシ是ヲ以テ日耳曼帝ノ政權ハ敢テ專擅ノ命令ヲ行フ

ニ在ラスシテ臣民ノ權利ヲ保護シ其ノ富榮ヲ圖謀スルニ在リ而シテ其ノ權利ト共ニ自ラ義務ノ思想ヲ發達シ君權ヲシテ專恣ニ至ラサラシム此ノ如ク新ニ發達シタル思想ハ猶ホ未タ全備ニ至ラサリシモ其ノ精神ハ元ト甚タ健全ナリシヲ以テ將來大ニ長育スルヲ期スヘキ性質ヲ有シタリ

右ノ主義ニ據ルト雖國王ハ固ヨリ命令ヲ下スノ權ナキヲ得ス此ノ命令權ヲ稱シテ「バーン」ト曰フ軍事ノ「バーン」アリ裁判ノ「バーン」アリ軍事ノ「バーン」ニ於テハ全國ノ兵ニ命令シ之ヲ使用スルノ權ヲ有スト雖亦舊來ノ慣例ト從軍義務ノ定規トニ依ラサルヘカラス然レトモ往々豪邁ノ國王出ルニ會スレハ或ハ之ニ依ラサルコトアリ夫ノ加耳大王ノ如キハ唯ニ其ノ俸祿ヲ給スル士卒ニ限ラス凡テ全國ノ丁男ヲ課シテ攻戰ニ從ハシメ之ニ背ク者ハ六十「シルリング」ノ重罰ヲ加ヘタリ

當時裁判所ハ特リ裁判事務ノミナラス地方行政ノ事ヲモ兼行ヘリ而シテ所謂ル裁判ノ「バーン」ハ國王親ラ之ヲ行フコト甚タ稀ニシテ概子地方ノ大守(ガウグラーフ)國王ノ名ヲ以テ之ヲ攝行セリ此ヨリ前キ民事及刑事ニ於テ私ニ決斷ヲナシ又ハ復讐ヲナスハ以テ常事トシテ問ハサリシカ此ニ至リテ殿廂ノ法制ヲ設ケ漸ク之ヲ制止シタル彼ノ「バーン」ノ保護ノ至ル所全國自ラ靜平ヲ致シ復タ私闘ノ爲ニ輒ク紛擾ヲ來スコトナシ

國庫ノ歳入及國王私有ノ財産ハ專ラ國王一箇ノ意見ヲ以テ之ヲ利用セリ此等ノ收入漸ク其ノ額ヲ増殖シ且ツ曾テ羅馬ニ屬セシ州郡ヲ攻畧シ古來ノ王侯國ヲ亡滅シ以テ益々國王ノ領地ヲ擴メ且ツ全國處々ニ建設セル別殿離宮ニハ各々其ノ屬地ヲ置キ此ヨリ年コトニ少カラサル收入ヲ得タリ又昔時ヨリ行ハレタル州郡ノ地稅及人類稅ハ尙ホ之ヲ嗣行シ羅馬ノ遺制ニ係ル關稅ハ往々更ニ之ヲ張大ニシ畧有地ノ人民ニハ貢金ヲ課シ且ツ更ニ多額ノ和平金和請ヲ爲ニ獻納スル金ナリ及ヒ償金ヲ課シタリ

(三) 政府ニ奉仕スル官吏ハ總テ國王ノ命ニ服シ國土人民ニ關スル萬般ノ事物ニ就テ國王ノ權ヲ行フニ在リ而シテ官吏中顯要ノ地ニ居ル者ハ前ノ東羅馬帝政ノ制度ニ倣ヒ盡ク之ヲ朝廷ノ下ニ集合セシメリ其ノ官吏ヲ擧グレハ王ニ代リテ裁判事務ヲ主宰スル「フォルツグラーフ」廷中僧官ノ座主トシテ教務ヲ主宰スル「カプラン」文書長官トシテ總テ交際ニ關スル秘密文書ノ往復ヲ主宰スル「カンツレル」等はナリ此ノ他又特ニ宮廷ニ屬スル顯官アリ即チ侍從官ハ王ノ衣冠其ノ他ノ裝飾ヲ整ヘ王后ノ侍女及ヒ儀仗ヲ備ヘ褒賞及ヒ賜與ニ係ル物品ヲ供シ監理官ハ一切官司ノ僚屬僕隸ト宮廷ノ經濟トヲ監督シ主膳官ハ貢納ノ物品ヲ收メ及ヒ供御ノ酒ヲ調シ主馬官ハ馬寮ヲ監シ内廷官ハ國王行幸ノ準備ヲナシ行在所ヲ設ケ其ノ他主獵官四人鷹手一人トス

國王ハ年々特ニ巡察使ヲ撰任シ國王ニ代リテ全國ノ各州郡ヲ巡察セシム國王ハ此ノ眼ニ倚リテ政教上ノ狀況ヲ視以テ其ノ得失ヲ察シ此ノ耳ニ賴リテ人民ノ利病トスル所ヲ聽キ又或ハ此ノ手ニ資リテ法律ニ服從セシメ公共ノ秩序ヲ保スルコトヲ得

裁判事務ハ州ニ「ガウグラーフ」ヲ置キテ上等裁判所トシ郡ニ「セントグラーフ」ヲ置キテ中等裁判所トス凡ソ裁判權ハ無上ノ大法官タル國王ヨリ出ル所ニシテ「ガウグラーフ」ハ直接ニ其ノ分與ヲ受ケ「セントグラーフ」ハ間接ニ之ヲ受ケ而シテ此ノ「兩グラーフ」ノ掌トル所ノ兵權モ亦同ク是ノ制ニ依レリ元來「グラーフ」職ハ純粹ナル官職ニシテ佛郎哥王國ノ猶ホ未タ建國ノ時ノ精神ヲ失ハサルニ方リテハ未タ確然タル世襲官タルニ至ラス其ノ任命ニ就テハ王猶ホ大ナル勢力ヲ有シタリシモ後世ニ至ルニ迨ヒテ其ノ制漸ク廢シ終ニ私法上ノ相續ニ依リテ其ノ後任ヲ定ムルニ至レリ

巡察使ノ制廢シテ復タ行ハレス公侯ノ領地漸ク多ク官吏ノ職盡ク私法上ノ相續權ニ屬スルニ至テ堂々タル羅馬日耳曼合立ノ大國ハ漸ク其ノ勢威ヲ失ヒ多數ノ侯伯之ニ代テ而シテ起レリ

(四) 加耳大王ノ世ニ於テ西羅馬帝國ヲ合併シタルコトハ基督宗ノ弘通ト教會ノ振興トノ爲ニハ適ニ無上ノ好機ヲ與ヘタリ

國王即位ノ式ニ於テ僧手ニ依リ神ノ冥認ヲ承クルニ至テ國ノ性質全ク基督宗ニ化シ大ニ神道ノ氣風ヲ帶ヒタリ且ツ國王ハ其ノ國內ニ基督宗ヲ弘通シ臣民ヲシテ之ヲ崇信セシムルヲ以テ己ノ責任トナシ其ノ政權ノ達スルヲ得ル所ハ古教(偶像教)ヲ滅絶シ改宗セサル者ヲ放逐スルコトヲ力メ就中加耳大王ハ其ノ全力ヲ擧ケテ之ヲ實行シタリ而テ又基督宗ヲ以テ僧俗ヲ兼テ教政ヲ合セタル共合體ナリト認メタルカ故ニ法律上ニ於テ國王ハ唯世俗ノ君主タリトスルニ關セス僧侶ニ對シテ又其ノ宗制ヲ管理シ僧侶議會ヲ召集シ僧官及寺院ヲ監督シ宗教上ノ法律命令ヲ發セリ而シテ政治ノ組織ニ關シテモ亦猶ホ之ニ同ク單純ナル世俗上ノ法規ニ宗教上ノ精神ヲ混入シタルモノ少カラス

第十九款

(戊) 封建制王國(デー、レーンズモナルヒー)

佛郎哥王國ハ其ノ組織自ラ眞ノ王國タルニ足ルヘキ性質ヲ有シ之ヲ今時ノ立憲王政ニ進化スル基礎ナリト曰フモ亦未タ其ノ不可ヲ見サルナリ然レトモ當時全國人民ノ氣風ハ動モスレハ王權ニ抗シ其ノ勢力甚タ強ク加フルニ貴族及日耳曼種族ノ士民ハ古來ヨリ強大ナル政

權ノ下ニ檢束セラル、コトヲ厭忌スル慣習ヲ有スルヲ以テ豪勇智畧ノ英主ニ非ルヨリハ此ノ廣大ナル新王國ノ規模ヲ張リ國威ヲ揚グルコト能ハス如シ幼弱ノ庸主位ニ即クアレハ輒チ其ノ無力ヲ窺知シ中央政府ノ權力ヲ制限シ蔑棄シ各其ノ州郡内ニ獨立センコトヲ謀リ專ラ國ノ合一ヲ離解センコトヲ力メタリ

「カロリンドル」朝ノ政令漸ク微ニシテ終ニ亡滅スルニ至リテヤ國王ノ權威ハ愈益衰替シ各酋族及州郡ニ割據セル侯伯并豪族ノ勢力日ニ益増長シ竟ニ羅馬日耳曼一統ノ王國ニ代テ新ニ封建制ノ王國ヲ現出シタリ其ノ制度ハ利害相半シ自ラ中古ノ時勢ニ適應セル規模ヲ造出セルモノトス

封建制ノ重要ナル性質ヲ掲グレハ左ノ如シ

(一) 前款ニ掲論セル王國ハ其ノ基礎トスル所全國民即チ衆民ヲ統合シタル全體ノ國民ニ在リ故ニ之ヲ國民統一ノ組織ト謂フヘシ封建制ノ王國ハ則チ然ラズ一定ノ人民ヲ統ヘ王國其ノ上ニ位スト曰フト雖其ノ基礎トスル所ノ性質ヲ細察スルトキハ專ラ國王ト其ノ封土並ニ權力財産ヲ受領スル侯伯及侯伯ノ臣屬トノ間ニ於テスル親密ノ誓約ヨリ成レルモノト謂フヘシ故ニ人民中封土所有ノ權ナキ衆庶ハ國ノ制度ニ就テ更ニ直接ノ關係ヲ有セサルナリ之ヲ撮言スレハ此ノ王國ハ國民ヲ合シテ成レル組織ニ非スシテ一種ノ等族制度ナリ其ノ國

ノ基本ハ國民ニ非スシテ臣屬ニ在リ

(二) 君臣ノ義ハ榮譽ノ華光ニ照サレ其ノ勢力ニ輔ケラレ竟ニ此ノ國組織ノ精神トナレリ蓋シ臣士タル者ハ其ノ君ヨリ封土ヲ受ルヲ以テ(封土ヲ受ルトキハ必ス跪テ之ヲ受ルヲ禮トス)必ス忠誠ヲ盡シ其ノ命ニ服從スヘキコトヲ誓約セサルヘカラス當時歐洲諸國中ニ在リテ詳ニ封建ノ制並ニ君臣ノ義ヲ規定セルモノハ英國ノ撒遜諾曼法ニ如クハナシ臣士ハ國王又ハ其ノ君主ニ對シ跪テ軍陣ニ從事スヘキコトヲ誓ヒ又起テ聖書ニ對シテ其ノ忠誠ヲ盡サンコトヲ盟フ又「ビシヨーフ」「アプト」ハ共ニ唯タ聖書ニ盟フノミ蓋シ僧官モ亦國王ヨリ封土ヲ受ルト雖他ノ臣士ノ如キ密切ノ關係ヲ有セサルナリ君主ニ對シテ忠誠ヲ盡スコトハ敢テ封土ヲ有スル臣士ニ限ルヘカラスナルヲ以テ一般ノ人民ニモ亦此ノ誓約ヲ要求シ已ニ「カロリンドル」朝ノ時ニ於テモ(一般ノ人民モ亦國土ヲ借ルヲ以テ誓約ヲ要スルモノトナシ封建主義ノ束縛ヲ免レサリシナリ)之ヲ實行セシコトアリ

此ノ忠誠ノ義務ハ臣士獨リ之アルニ非ス君主モ亦臣士ニ對シテ其ノ誠信ヲ盡スヘキノ義務アリ但敬禮ヲ盡スヘキ義務ニ至テハ特ニ臣士ニ屬シ君主之ニ答フルノ責ナシ

(三) 封建王國ノ主トシテ欲スル所ノ者ハ其ノ人民ヲ擧ケテ之ヲ臣屬トシ其ノ國土ニ於テ已ノ所有權ヲ確定セントスルニ在リ即チ諾曼朝ノ英國王ハ其ノ位ニ即クノ初ニ於テ全國土ヲ擧ケテ王ノ所有ニ屬セシメントト謀リタルヲ以テ舊來ヨリ所有シ又ハ新ニ授與セラレタル封土ノミナラス全ク王權ニ關係ナキ自由ノ所有地ト雖法律上ニ於テハ皆盡ク國王ヨリ受領シタル名義トナレリ故ニ自由所有地ノ民權ハ一朝ニシテ羈束所有地ノ封建權ニ變シタリ抑、此ノ如キ主義ハ封建制一般ノ性質ニシテ而シテ英國ハ其ノ最モ史上ニ明確ナルモノナリ

(四) 此ノ如ク全國土ヲ擧ケテ國王ノ所有トシ國王之ヲ侯伯ニ分與シ侯伯之ヲ其ノ武士ニ分與シ遞次ニ其ノ臣屬ニ分與スルノ制ハ政治上ノ權ニ於テモ之ニ同ク臣屬ハ遞次ニ之ヲ國王ニ受ケ國王ハ其ノ全部ノ權力ヲ天神ニ受クルモノトス譬ヘハ猶ホ感星ノ其ノ光ヲ太陽ニ受クルカコトク侯伯以下ノ臣屬ハ其ノ大封君ナル國王ヨリ各、其ノ封内ノ治權ヲ受領ス然レトモ此ノ治權ハ公共ノ吏司又ハ國王政府ノ監理員トシテ之ヲ有スルニ非スシテ全ク其ノ封内ニ於テ隨意ニ使用スルヲ得ヘキ私權ナリ亦猶ホ其ノ土地ヲ隨意ニ處理シ利用シ得ヘキ私產權ニ異ナラス夫レ私法上ノ獨立權ト公法上ノ監理權トヲ混合シ一定ノ氏族及土地ニ附着スルニ大小ノ政權ヲ以テスルハ是レ封建制ノ本質ナリ故ニ國王モ亦其ノ世襲權アル臣屬ノ政權ヲ奪フコト能ハス且ツ其ノ既ニ與ヘタル權力ノ範圍内ニ侵入シテ之ニ命令シ又ハ制限スル等ノ權アル能ハス各臣屬ハ各、其ノ封内ニ於テ一個ノ獨立權ヲ有セリ

是ノ故ニ主權ノ統一ハ其ノ名アリテ其ノ實ナシ若シ一旦事アリテ國王其ノ主權ヲ全般ニ布行セントスルモ毎ニ制スヘカササル妨礙ニ逢フテ止ムノミ夫ノ侯伯及武士等ハ國王ノ主權ヲ補助セサルノミナラス却テ之ニ抗抵シテ其ノ施行ヲ妨ケ社會ノ生活ハ個々各種ノ形狀ナシ所謂統一ノ主權ハ全ク分裂シテ許多ノ檢束セラレタル管理權トナレリ而シテ侯伯ノ如キ高等ノ貴族ハ其ノ政權ヲ有スル較大ナルヲ以テ自ラ其ノ範圍内ニ在テ隨意ノ施政ヲ爲スヲ得是ニ於テ百般ノ制度總テ皆異種異樣ニシテ更ニ畫一ナラス統一ノ機關盡ク破壊シ政府ハ常ニ束縛セラレテ自由ノ活動ヲ失ヘリ貴族獨リ威權ト自由トヲ占メ國王ハ位尊クシテ實ハ弱ク人民ハ壓抑ヲ被ルカ爲ニ其ノ自然ノ進歩ヲ妨ケラレ且ツ人民ノ各社會中ニ在リテ其ノ位地中央政府ヲ距ルコト愈遠ク其ノ大封君タル國王ト相隔タルコト愈遙ナルモノハ其ノ頭上ニ被ル政權ノ層愈加ルニ隨テ受クル所ノ壓力モ亦益甚シ

日耳曼國王即チ佛郎哥國王ナリ政府ノ最モ重要ナル主權タリシ軍事ノ「バーン」ト裁判ノ「バーン」トハ既ニ許多ノ貴族ト其ノ臣屬トニ分取セラレ又行政權ハ之ヲ佛郎哥國政府ノ時ニ比スレハ一般ニ減殺ヲ受ケ且ツ制限セラレタリ其ノ國體ヲ問ヘハ則チ君主制ナリト曰フト雖王位ハ唯々虛飾ニ止マリ其ノ實貴族制ニ異ナラス「カヘチンゲル」朝ノ佛郎哥國王ノ如キハ其ノ威望僅ニ「セーニユール」貴族ヲニ超ユルニ過キス獨逸國王ノ如キハ其ノ内部ヲ省ミレハ侯伯ノ

爲ニ檢束セラル、コト甚タ多シ當時諸國王權ノ衰微スルコト概子皆此ノ如シト雖又或ハ特異ノ好機アリ又ハ急切ノ關係アリテ自然ニ之ヲ誘作スルニ由リ國王爲ニ其ノ政權ヲ擴張シ得タルコトアリ即チ諾曼王ノルマンノ英國ヲ奪取セル初ニ方リテ諾曼貴族ハ其ノ身ノ安全ヲ有タンカ爲ニ常ニ國王ニ密附シテ敢テ離畔セス且ツ王朝創立ノ時ニ際シ其ノ基礎ヲ固クスルニハ專ラ主權ノ擴張ヲ要シタルヲ以テ英國王ハ此ノ機ニ乘シテ遂ニ主權ヲ確定シタルヲ得タル是ナリ

(五)「ギーゾー」佛國ノ學士嘗テ疑問ヲ起シテ曰ク封建制ノ起ルハ何故ニ其ノ國垂滅ノ際ニ於テセスシテ却テ其ノ最モ盛ナル時ニ於テシ民ノ之ヲ嫌惡スルモ尙ホ能ク竟ニ興立スルヲ得ルカ詳ニ其ノ理ヲ察スルニ概子左ノ如シ曰ク封建ノ制ハ之ヲ要スルニ多數ノ小貴族即チ暴君ノ集合ニシテ各其ノ地位ヲ異ニシ許多ノ權利ト義務トニ據テ互ニ相連結シ又各一定ノ所有地ト臣民トヲ有シ之ニ對シテ己ノ意向ニ隨ヒ命令シ得ヘキ專制權ヲ有スルモノナリ蓋シ封建制ノ暴君虐主中其ノ最モ甚キ者ハ輒ク其ノ臣民ノ數ヲモ算シ得ヘク其ノ居室ニ坐シテ其ノ封境ヲ望ムヲ得ヘキ小貴族ニ如クハナシ專恣私欲ハ發シテ奇異ノ法規トナリ以テ斯ノ民ヲ壓服シテ其レヲシテ堪ヘサラシメ各等族間尊卑ノ別ハ最モ甚ク懸隔シテ富貴、威力、自由等一切ノ特權ハ之ヲ貴族ノ間ニ占有シ庶民ハ相率キテ貧賤、虛弱、屈辱ノ中ニ沈淪

セリ此ノ如キ組織ナルヲ以テ貴族ノ暴逆ハ更ニ專制君治ニ讓ラス其ノ特權ヲ占有スルコト甚シキハ又彼ノ最小數ノ門族ヲ以テ組織シタル貴族政治ニ下ラス要スルニ封建政治ハ此ノ二政體ノ最モ專横ニシテ且ツ陋野ナルモノニ屬スヘキノミ夫レ貴族ノ專横ハ國ノ尊嚴ニ壓セラレテ稍寛和ナルヘキノ望ナク其ノ特權ハ復タ至尊ノ位權ニ檢制セラル、ノ便アラス常ニ此ノ二毒ヲ并有シテ以テ庶民ニ臨ミ民竟ニ其ノ羈絆ヲ脱スル能ハス云々

右ノ記述ハ能ク其ノ實ヲ寫シタリト雖要スルニ只タ佛國當時ノ狀況ヲ陳スルニ止マリ未タ以テ中古ノ封建制ヲ論スルニ足ラス中古封建ノ制ハ其ノ當時ニ在リテ必シモ「ギーゾー」カ論セル如ク一概ニ之ヲ嫌惡シタルニ非ス臣民ノ能ク其ノ君主ヲ親愛シタルノ例亦實ニ少カラス且ツ君主ノ其ノ臣民ニ對シテ擅制無限ノ權ヲ有シタリト曰フカ如キハ其ノ實正ニ封建制ノ性質ト相反セリ若シ君主或ハ之ヲ試ムルコトアレハ(佛國及其ノ他諸國ニ於テ屢之アリシカ如ク)則チ不羈ノ權利ヲ以テ其ノ全體ヲ組織シタル制度ノ爲ニ防止セラル、ヲ常トセリ且ツ賚賤ノ庶民ト雖亦各自ニ世襲ノ權利ヲ有シ君主隨意ニ其ノ負課ノ租額ヲ増加スルヲ得ス又慣習ト民地權トノ之ヲ許スヘキ範圍内ニ非サレハ濫ニ之ヲ使役スルヲ得ス蓋シ庶民ノ民地權モ亦猶ホ貴族ノ封地權ニ等ク詳ニ其制限ヲ立テ且ツ之ヲ保護セリ

貴族等ガ往々其ノ則チ超ヘテ妄ニ威力ヲ逞クスルノ外封建制ノ最モ嫌惡スヘキ性質ハ貴族ノ領地常ニ小ナルヲ以テ概シ民ト相接近シ民ノ一舉一動コトニ(其ノ慣習ニ因テ確定セラレタルモノヲ除キ)其ノ自由ノ運動ヲ束縛セラレテ竟ニ之ヲ脫離スルコト能ハサリシコト是ナリ

(六) 封建國ハ其ノ本質ニ就テ之ヲ言フトキハ亦是レ一ノ法律政治ト稱スルヲ得ヘキナリ民ノ富安ヲ保進スル政治ノ主義ハ之ヲ缺クト雖法律ニ屬スル政權ノ範圍ハ精密ニ之ヲ限定セリ然レトモ此ノ政權ヲ行フト行ハサルトハ全ク一般ノ私法ニ於ケルカ如ク其ノ權利者ノ意趣ニ一任シ加之ナラス賣買讓與拋棄等ノ如キ通常ノ手續ヲ以テ政權ノ得喪ヲ定メシムルノ類ハ全ク之ヲ私有物ト看做シタルモノナリ而シテ此等權利ノ保護ハ多クハ裁判ノ手續ヲ以テ之ヲ爲シタリト雖亦往々双方ノ決闘ニ由テ其ノ理非ヲ定メシメタルコトアリ夫レ一方ニ於テハ頑然移ラサルノ法規ヲ設ケ一箇人及ヒ各個ノ社會又ハ組合ニ與フルニ十分ノ自由ヲ以テシテ一般ノ人民及ヒ國家ヲ鉗束シ一方ニ於テハ國內ノ爭鬪常ニ絶ユルコト無ク主權振ハスシテ統御ノ實ヲ失フ此ハ是レ彼ノ「ヤーヌス」希臘ノ妖怪ノ兩面ノ如ク專ラ中古ノ封建諸國ニ行ハレタル一雙ノ反對性質ナリ

(己) 近世ノ專制君主政治(チー、ノエレ、アブソル―テ、モナルヒー)

當今ノ代議君主政治ナル者ハ中古ノ封建政治ニ繼キテ直ニ其ノ地歩ヲ占メタルモノニ非ス
日耳曼羅馬混同ノ國民ニ於テモ單純ナル日耳曼國民ニ於テモ其ノ今日ノ政体ヲ創造スルノ
前必ス先ツ專制君主政治ナルモノアリテ彼ノ封建政治ヲ攻滅シテ一タヒ威力ヲ逞グスルノ
時期ヲ經サル能ハサリシナリ

封建政治ノ衰ヘテ專制政治ノ興ルヤ其ノ進化ノ勢ハ早ク已ニ之有リシト雖其ノ最モ急遽ニ
起リタルモノハ佛國及ヒ西班牙國トス蓋シ專制政治ノ主義ハ全ク日耳曼人民ノ思想ニ適合
セサルヲ以テ其ノ國民中日耳曼種屬多キ邦國ハ其ノ君主ノ專制ヲナスコト頗ル難シト雖羅
馬種屬ノ國民ヲ有スル邦國ニ在テハ恰モ其ノ慣習ニ適スルカ故ニ學問上並ニ實際上ニ於テ
忽チ古代ノ專制主義ヲ復興セシメタリ

第十二世紀ノ時佛國ニ於テ貴族ノ勢威猶ホ灼赫タリシ際ニ當リ「レヂスト」(當時羅馬法律學
者ヲ稱シタル名ナリ)ノ徒ハ佛郎王國ヲシテ古ノ羅馬帝國ノ跡ヲ繼カシメント欲シ勇往敢
爲力ヲ合セテ之ニ從事シ終ニ理論上ノミナラス實際上ニ於テ一ノ政治主義ヲ創始スルニ至
レリ即チ國民ヲ統一スル事國民ノ分割スヘカラサル事主權ハ專制ヲ要スル事等ニシテ之ヲ

總稱シテ君主權ト爲セリ是ノ故ニ侯伯及ヒ其ノ臣屬ノ政權及ヒ裁判權ハ之ヲ以テ僭越及ヒ
犯法トナシ之ヲ奪テ國王及ヒ人民ノ利益ニ歸セシメ或ハ全ク之ヲ奪ハサルモ專ラ之ヲ制限
センコトヲ務メ又佛國王ヲ以テ羅馬皇帝ノ相續者ト見做シ且ツ凡テ羅馬法ハ眞理ニ合スル
モノトシテ之ヲ尊崇シ封建制ニ屬スル權利慣習ハ一切ニ之ヲ賤蔑セリ然レトモ此ノ主義ノ
十分ニ實行シ貴族ノ政權盡ク破壊スルニ至ルマテハ猶ホ數百年ヲ費セリ且ツ久ク一般ノ制
度トナリ其ノ根據ヲ堅クシタル封建制度ノ全ク殲滅スルニ至ルマテハ爭亂常ニ絶ユルコト
ナク又此ノ際新ニ興起セル專制政治モ彼ノ爭亂ノ餘波ヲ承ケテ爲ニ紛擾ヲ蒙リシコト少カ
ラサリシ

國王ノ欲スル所ノモノハ總テ法律ノ効力ヲ有ストハ古時羅馬國ニ於テ其ノ帝王ノ權トシテ
常ニ行レタル原則ナリ今ヤ專制君主政治ノ興ルニ及ヒ再ヒ此ノ原則ヲ取用シテ以テ政府ノ
主義トセリ而シテ此ノ原則ニ基ツキ又當時佛國ノ法律語ヲ以テ總テ國王ノ欲スル所ノモノ
ハ亦法ノ欲スル所ナリト云ヘル原則ヲ設ケテ之ヲ用フルニ至リ立法ノ權一タヒ國王ノ手ニ
集合スルヤ百事其ノ全權ニ委ネテ復タ之ヲ制限ヲ置カス其ノ故ニ中古ノ封建制度ニ於テ國
權愛國心、及公共ノ幸福ニ反對シ障礙セル事物ハ悉ク皆排斥セラレタリ而シテ當時學術ノ
發達ニ因リテ進歩セシ裁判事務及國會ハ此ノ方向ヲ助ケテ爲ニ勝利ヲ制セシメタルノ力實

ニ多ク又古來羅馬ノ開化ヲ輸入シテ幸ニ封建制度ノ制馭ヲ免カレタル都府モ亦此ノ改正ノ爲ニ力ヲ致スコト甚タ大ナリシ凡テ當時ノ都府等ハ其ノ國王ヲ畏ルハヨリモ寧ロ其ノ貴族ヲ恐レタリシカ故ニ都府ニ行ハル、營業即チ工商ハ封建君主ノ威權ト勢力トヲ失ヒタルニ因テ却テ其ノ業ヲ進メ又農夫ハ國王ノ貴族ニ對スルノ權愈々增加スルニ隨ヒテ愈々其ノ利益ヲ得ルニ至レリ

佛國ニ於テハ路易第十一世(千四百六十一年ヨリ千四百八十三年ニ至ル)即位ノ後、西班牙ニ於テハ非立第二世(千五百五十六年ヨリ千五百九十八年ニ至ル)即位ノ後、國王ノ權愈々強盛ニシテ大ニ封建ノ制ヲ壓抑セシカ其ノ後佛國ニ於テハ王權ニ抵抗スル者頻ニ起リシモ西班牙ニ於テハ專制ノ權益々堅牢ニシテ動ス可ラス反テ更ニ晦冥慘憺タル性質ヲ帶フルニ至レリ彼ノ非立第二世ハ其ノ和蘭ニ對シテ有セル管理權ノ制限アリシニモ關セス其ノ全國民ヲ舉テ盡ク罪人ナリト判決シタルカ如キハ今ニ至ルマテ之ヲ思フ毎ニ人ヲシテ憤怨セシムルニ足レリ又佛國ニ於テ專制ノ極盛ニ達セシハ路易第十四世ノ代ニ在リ其ノ後久シカラスシテ即チ革命ノ滯壑ニ陥ルノ衰運ヲ致セリ而シテ獨逸大小ノ諸國モ亦皆悉ク此ノ專制ノ例ヲ襲ケリ彼ノ墺國王約瑟第一世(ヨゼフ)ノ如キハ身基督教ヲ奉スル歐羅巴洲中ノ君主ニシテ專横以テ大權ヲ掌握シ法律上未タ其ノ君主タルノ權ヲ有セサルニ已ニ巴華里全國ノ民ヲ舉テ盡ク死

罪ト宣告シ且ツ自ラ其ノ威權ヲ天神ノ制馭權ニ比スルニ至レリ

路易第十四世ハ此ノ新ニ興起セシ專制政治ノ精神ヲ説クニ國ハ即チ朕ナリト曰ヘル原則ヲ以テセリ王ノ此ノ原則ヲ自信シテ疑ハサリシハ實ニ驚異スヘキ所ナリ是ニ由テ之ヲ觀レハ王ハ其ノ己ヲ視ルコト復々國家ノ君主ニ非スシテ己ト國トヲ以テ全ク同一體ノモノト爲シ己ノ外ニハ復タ一ノ政權ヲ有ス可キ者無シト爲セリ而シテ彼ノ國王ハ國家ノ最モ尊貴ニシテ最モ威權アル人タルモ亦全國體中ノ一機關タルニ過キサルトヲ除却セルモノナリ是ヲ以テ國王一身ノ富安ヲ除キテハ更ニ國家ノ富安無ク國王一身ノ權利ヲ除キテハ更ニ一ノ國法無シ之ヲ要スルニ國家ノ萬事萬物ハ獨リ彼ノ一身ニ存在シテ國王ノ外復タ一物アルコト無シト謂フニ在リ

此ノ如ク邦國ト君主トノ區別ヲ誤リシコトハ(但シ邦國ノ尊位ヲ代表スルニ君主ノ稱ヲ以テスルハ此ノ例ニ非ス)十七世紀及十八世紀ノ間此ノ世態ニ隨ヒ邦國無限權ノ説出ルニ及ンテ益々其ノ甚シキヲ加ヘタリ曩ニ中古ノ世ニ當テ政府ハ個々無數ノ獨立權ノ爲ニ統一ノ機ヲ奪ハレ全部ヲ總理スルノ權ヲ有セサリシカ此ノ説ノ一タヒ世ニ起ルヤ全ク反對ノ方向ニ轉シ一事一物モ政府ノ威權ニ對スル獨立權有ルコトヲ許サス故ニ縱ヒ單純ナル私法タリトモ亦之ヲ政府ノ創設ニ出タルモノト爲シ其ノ隨意ノ威權ニ任セテ更ニ之ヲ顧ミサルニ至

レリ

此ノ時代ノ國家學及法律學ハ此ノ論理ヲ助ケテ大ニ弊害ヲ長シタリ或ハ無根ノ原由ヲ舉テ
 專制君主ノ不理不道ナル所爲ヲ贊助シ或ハ其ノ不理不道ナルヲ知ルモ政府ニ對スルノ義務
 トシテ黙シテ之ニ抗スル者無シ且ツ彼ノ宗教家(エズウキイト)宗、加特力宗、ルーテル宗、國
 教者流等ノ與ツテ此ノ弊害ヲ長セシメタルノ罪過ハ蓋シ亦鮮少ナラス即チ彼ノ宗教上ニ
 稱スル天神ノ創造ヲ以テ直チニ君主ノ威權ニ移シ來リ以爲ヘラク神ハ自ラ此ノ地球ヲ創造
 シ其ノ靈魂ヲ以テ之ニ充滿シ之ヲ保有スル全世界ノ專制君主ナリ國君モ亦縱ヒ自ラ其ノ國
 ヲ創造シ其ノ精神ヲ以テ之ニ充滿シ之ヲ保有スル能ハサルモ直ニ天神ノ命ヲ受ケテ此ノ人
 民ヲ制馭スル全國ノ專制君主ナリ故ニ國君ハ其ノ實地球上ノ天神ニ異ナラスト是ニ於テカ
 古時羅馬ノ時ニ於ケルカ如ク君主ハ其ノ身ヲ以テ神ト同一體ト爲スヲ喜フニ至リ彼ノ路易
 第十四世ノ自ラ好テ其ノ身ヲジユビテル神ニ比シタル如キハ衆人ノ知レル所ナリ然レトモ
 君主ノ其ノ身ヲ神ニ比スルカ如キハ偶像教ノ國體ニ適スルモ基督教ノ國體ニハ適セサルモ
 ノナリ

君主ハ獨リ理論上ニ於テ此ノ專制權ヲ有セシノミナラス實際上ニ於テモ亦之ヲ施行セシト
 雖漸々ニシテ孱弱ノ勢ヲ成シ或ハ全ク君主ノ權力ヲ失フニ至ル者アリ或ハ其ノ下ニ佞辨利口
 ノ徒アリテ其ノ無限ノ政權ヲ稱揚スルモ實ハ名利ヲ欲望スル寵臣嬖妾ノ爲ニ使役セラレテ
 其ノ奴隸タルニ過キス彼ノ路易第十四世ノ如キ聰明剛毅ノ天性ヲ以テ血氣方ニ壯ナルノ日
 ニ當テ其ノ王位ヲ有シタルモ僅ニ虛器ヲ擁スルノミ亦竟ニ衰微ヲ免カレス况ンヤ英國ノ查
 理^{イレス}二世、西班牙ノ非爾難多^{フェルナナド}第七世、佛國ノ路易第十五世ノ如キ庸弱ノ君主ニ於テヤ徒
 ニ其ノ擅恣無限ノ權威ニ沈醉シテ遂ニ亦他人ノ爲ニ之ニ奪ハルコトアルヲ知ラス蓋シ君主
 獨リ其ノ權ヲ擅ニシテ人民ハ皆名狀ス可ラサル貧困ノ苦境ニ陷リシハ當時一般ノ世態ナリ
 人若シ歐洲ニ於ケル專制政治ノ結果ヲ知ラント欲セハ千五百四十年ヨリ千七百四十年代ニ
 於ケル西班牙、伊太利、及埃地利ノ民心如何ヲ探求スルニ如カサルナリ

然リト雖此ノ如キ專制ハ歐洲諸國ニ於テハ古來ノ習慣法ト鞏固ナル諸般ノ制度トノ爲ニ抗
 抵セラレ孰レノ地方ニ在リテモ未タ嘗テ完全ナル永久ノ國權トナリタル者アラス又歐洲ノ
 人民ハ其ノ古來曾テ知ラサル所ノ亞細亞風ノ暴政ヲ被ルニ至リシコトハ未タ之有ラサリシ
 ナリ英國ニ於テスツアルト家ノ再ヒ王統ヲ繼續セシ後嘗テ此ノ專制ニ陥リヤ^{コッブ}第二
 世ニ至テ路易第十四世ノ所爲ニ倣ヒ古來ノ明文ニ據テ保有セシ國會ノ權力ヲ奪ヒ新ニ興起
 セル宗教上ノ制度ヲ破ラントシ王黨等ノ諫言ニ從ハス且ツ憲法ヲ蔑視シテ用ヒス竟ニ王位
 ヲ失ヒシカオラーニ^{ーン}家ノ維廉其ノ門族ト英明ノ質トニ據リ繼テ其ノ位ニ昇リ英國人民

ト誓ヲ結フニ及ンテ現今代議政治ノ基礎始テ建テリ

英國ニ於テ起リシ所ノ專制政治ニ反對セル兩度ノ劇變ハ直ニ歐洲大陸ヲシテ此ノ政治主義ヲ破壞セシムルノ勢ニ至ラサリシト雖此ノ政治主義ハ之カ爲ニ大ニ信用ヲ失ヒ漸ク將ニ亡滅ニ歸セントスルノ兆ヲ現セリ特ニ第十八世紀ニ於テ哲學ノ興隆スルニ會シ此ノ主義ヲ攻撃スル者益々多ク且ツ學國ノ英主弗的利第二世ノ如キ身現ニ王位ニ在ル者ニシテ自ラ此ノ反對ノ原則ヲ公言スルニ及ヒ反對主義ハ愈々其ノ勢力ヲ得ルニ至レリ其ノ言ニ曰ク國君ハ國家ノ所有主ニ非ス又人民ノ主長ニ非ス又政府自個ニ非ス乃チ國家第一ノ臣僕ナリト而シテ專制ノ主義ハ終ニ佛國革命ノ爲ニ制セラレテ再ヒ之ニ抵抗スルノ力無ク爾後或ハ興リ或ハ替レ其ノ間多少ノ變動アリシト雖凡テ歐洲文明諸國ニ在テハ竟ニ人民ノ自由思想ノ爲ニ制伏セララル、ニ至リタリ

然レトモ歐洲ノ東方ナル魯國ニ於テハ此ノ專制ナル君主政治ハ尙ホ存立シテ以テ現今ニ至レリ蓋シ該國人民ノ宗教上ヨリ成立セル思想ハ歐洲西方ノ諸國ニ適セスシテ却テ專制政治ノ國ニ適セリ何トナレハ文化未タ開ケスシテ廣大測ラレサル邦國ニ有テ猶ホ下級ノ開化ニ屬スル人民ヲ率ルニハ必ス強大ナル中央集權ヲ要スレハナリ故ニ此ノ國ニ於テノ一大新政即チ今日既ニ實行シタル彼ノ農民ヲ以テ奴隸ノ階級ヨリ解放スルカ如キコトハ其ノ帝王獨

斷ノ處置ニ出テスハ又他ニ行ハル可キノ策アラサルナリ然リ而シテ此ノ如キ新政ハ貴族又ハ開明ニシテ自由思想ヲ有スル都府人ノ社會及政治上ノ權力ヲ有スル人民ニ在テハ必ス之ヲ贊成スル者無ルヘシ夫レ下等ノ庶民ハ町村又ハ同業組合等ニ由リテ自治ヲ爲スノ性質ニ於テハ敢テ缺クル所無シト雖若シ政治上ノ規程及法律上ノ條規ヲ定ムル等ノ事ヲ經畫スルノ性質ニ於テハ則チ之ヲ缺クニ似タリ是レ猶ホ物體ノ自個ノ重力ニ由リテ常ニ住止シテ動カサルカコトシ

第二十一款

(庚) 立憲君主政治(ヂー、コンスチテューチヨ子ルレ、モナルヒー)

第一 立憲君主政治ノ創起及ヒ擴張(ヂー、エントステーフング、デルコンスチテューチヨ子ルレ、モナルヒー)

立憲君主政治ナルモノハ實ニ近世ノ產物ニ係レリ然レモ其ノ萌芽ハ彼ノ孟的斯鳩ノ稱道スルカ如ク既ニ日耳曼上古ノ森林中ニ存在シ而シテ漸次成長シ遂ニ其ノ事實成熟ノ期ニ達セルモノナリ然リ而シテ其ノ最初ニ創立シタリシ立憲政體トモ稱スヘキ國ハ或ル一ノ日耳曼

種族ノ君主ニ依テ古羅馬ノ版圖内ニ創始セラレタリ蓋シ是レ羅馬ノ立國心ト日耳曼ノ法律ト相混和シテ成立セシ者ニシテ其ノ規模ハ甚タ廣大ナリシモ而カモ猶ホ且ツ成熟ノ體裁ヲ備具スルニハ至ラザリキ

然リ而シテ此ノ政體ニテ封建君主政治ノ體裁興隆シ之ト共ニ又日耳曼貴族ノ威勢日ニ強盛ニ赴キ國家統一ノ機ヲ失ヒ人民ノ富安大ニ地ニ墜チ國王ハ獨リ榮耀ノ地位ヲ保有スルモ其ノ勢力ハ却テ之ヲ失ヒタリ然レトモ爾後國民ノ氣勢漸ク國家ノ統一ヲ欲シ日耳曼風ノ封建政體ハ更ニ羅馬風ノ立國主義ヲ加ヘテ其ノ完備ヲ成サンコトヲ求メ是ニ於テ國民ノ氣力再ヒ振興シタリシモ君主ハ特ニ專制無限ノ國權ヲ己ノ手ニ占有センコトヲ欲シ人民各等族ノ間ト其等族ト君主トノ間ニ於テ爭權ノ事大ニ起レリ而シテ中古ノ時代既ニ去リ當今ノ時代起ルニ及ヒテ現今ノ立憲政體ナルモノ亦始テ世上ニ現出セリ蓋シ上古千百世以來ノ目的ニシテ羅馬及ヒ日耳曼立國ノ精神茲ニ至リテ完備セシモノナリ乃チ之レヲ詳言スレハ歐洲文明ノ完備ヲ成セル結果ナリ

(第一) 英國

此ノ政體ハ最初英國ニ於テ成立シ此ノ島國歷史上ノ大沿革ヲ經テ漸ク成熟シ時ヲ經ルニ從テ着々其ノ歩ヲ進メ遂ニ今日ノ體裁ヲ備フルニ至レリ大凡ソ歐洲大陸諸國ニ於テ中古ノ間其ノ中央權ヲ確有スル未タ英國ノ如キモノ之レアラサルナリ且ツ貴族并庶民ノ權利自由ヲ勇敢ニ防護シ鞏固ニ保有スルヤ亦英國ノ如キ人民之レ無キナリ

然リト雖英國モ亦他ノ諸國ノ如ク革命ノ危險ニ遭遇スルコトヲ免レス殊ニ兩度ノ大革命ニ由リテ英國ノ國體殆ト將ニ亡滅ニ歸セントスルノ勢アリ其ノ一ハ十三世紀ノ半途ニ方リ貴族兼國王ノ政權ヲ奪ヒ己之ニ代ラント欲シタル企謀ニシテ即チ千二百五十八年ライセストル伯カ其ノ王顯理第十三世ヲ脅迫シテ爲サシメタルオキスフォルドノ條約是レナリ又其ノ二ハ十七世紀ノ半ニ於テ查斯第一世ト其ノ所謂長期ノ國會トノ間ニ起リシ爭鬪ニシテ一時國王並貴族ハ民主々義ノブリター子ル黨ノ頑迷ニ因テ其ノ位ヲ失ヒシコトアル是レナリ然レトモ此ノ兩度ノ病痾ハ幸ニ久ニ涉ラスシテ爲ニ國身ノ衰弱ヲ興スニ至ラス其ノ外形上ニ就キテ之ヲ觀ルトキハ稍劇烈ナルカ如ク然リト雖其ノ内部ニ於テ之ヲ察スルトキハ又全國民ノ生活ヲ一變スルノ猛勢ヲ逞フスルニ至ラス與ニ共ニ速カニ健康ニ復シ又其ノ歴史上ノ沿革ヲ亡失セサルノミナラス常ニ能ク整然タル沿革ヲ保チ加之ナラス兩度共ニ大ニ國家ノ進歩ヲ助ケタリ第一期ノ貴族革命ニ由テハ都府ノ代議士ヲ國會ニ召集シテ(千二百六十四年始テ之ヲ行フ)以テ將來下院ノ基礎ヲ建設シ第二期ノ革命ニ因テハ千六百八十九年ニ於テ現時王國ノ基礎ヲ確立ス是ニ於テカ始テ立憲君主政治ヲシテ英國ノ國體タラシム

種族ノ君主ニ依テ古羅馬ノ版圖内ニ創始セラレタリ蓋シ是レ羅馬ノ立國心ト日耳曼ノ法律ト相混和シテ成立セシ者ニシテ其ノ規模ハ甚タ廣大ナリシモ而カモ猶ホ且ツ成熟ノ體裁ヲ備具スルニハ至ラザリキ

然リ而シテ此ノ政體ニテ封建君主政治ノ體裁興隆シ之ト共ニ又日耳曼貴族ノ威勢日ニ強盛ニ赴キ國家統一ノ機ヲ失ヒ人民ノ富安大ニ地ニ墜キ國王ハ獨リ榮耀ノ地位ヲ保有スルモ其ノ勢力ハ却テ之ヲ失ヒタリ然レトモ爾後國民ノ氣勢漸ク國家ノ統一ヲ欲シ日耳曼風ノ封建政體ハ更ニ羅馬風ノ立國主義ヲ加ヘテ其ノ完備ヲ成サンコトヲ求メ是ニ於テ國民ノ氣力再ヒ振興シタリシモ君主ハ特ニ專制無限ノ國權ヲ己ノ手ニ占有センコトヲ欲シ人民各等族ノ間ト其等族ト君主トノ間ニ於テ爭權ノ事大ニ起レリ而シテ中古ノ時代既ニ去リ當今ノ時代起ルニ及ヒテ現今ノ立憲政體ナルモノ亦始テ世上ニ現出セリ蓋シ上古千百世以來ノ目的ニシテ羅馬及ヒ日耳曼立國ノ精神茲ニ至リテ完備セシモノナリ乃チ之レヲ詳言スレハ歐洲文明ノ完備ヲ成セル結果ナリ

(第一) 英國

此ノ政體ハ最初英國ニ於テ成立シ此ノ島國歴史上ノ大沿革ヲ經テ漸ク成熟シ時ヲ經ルニ從テ着々其ノ歩ヲ進メ遂ニ今日ノ體裁ヲ備フルニ至レリ大凡ソ歐洲大陸諸國ニ於テ中古ノ間其ノ中央權ヲ確有スル未タ英國ノ如キモノ之レアラサルナリ且ツ貴族并庶民ノ權利自由ヲ勇敢ニ防護シ鞏固ニ保有スルヤ亦英國ノ如キ人民之レ無キナリ

然リト雖英國モ亦他ノ諸國ノ如ク革命ノ危險ニ遭遇スルコトヲ免レス殊ニ兩度ノ大革命ニ由リテ英國ノ國體殆ト將ニ亡滅ニ歸セントスルノ勢アリ其ノ一ハ十三世紀ノ半途ニ方リ貴族輩國王ノ政權ヲ奪ヒ己之ニ代ラント欲シタル企謀ニシテ即チ千二百五十八年ライセストル伯カ其ノ王顯理第十三世ヲ脅迫シテ爲サシメタルオキスフォルドノ條約是レナリ又其ノ二ハ十七世紀ノ半ニ於テ查斯第一世ト其ノ所謂長期ノ國會トノ間ニ起リシ爭鬪ニシテ一時國王並貴族ハ民主主義ノブリターチル黨ノ頑迷ニ因テ其ノ位ヲ失ヒシコトアル是レナリ然レトモ此ノ兩度ノ病痼ハ幸ニ久ニ涉ラスシテ爲ニ國身ノ衰弱ヲ興スニ至ラス其ノ外形上ニ就キテ之ヲ觀ルトキハ稍劇烈ナルカ如ク然リト雖其ノ内部ニ於テ之ヲ察スルトキハ又全國民ノ生活ヲ一變スルノ猛勢ヲ逞フスルニ至ラス與ニ共ニ速カニ健康ニ復シ又其ノ歴史上ノ沿革ヲ亡失セサルノミナラス常ニ能ク整然タル沿革ヲ保チ加之ナラス兩度共ニ大ニ國家ノ進歩ヲ助ケタリ第一期ノ貴族革命ニ由テハ都府ノ代議士ヲ國會ニ召集シテ千二百六十四年始テ之ヲ行フ以テ將來下院ノ基礎ヲ建設シ第二期ノ革命ニ因テハ千六百八十九年ニ於テ現時王國ノ基礎ヲ確立ス是ニ於テカ始テ立憲君主政治ヲシテ英國ノ國體タラシム

ルヲ得タリキ

立憲君主政治ナルモノハ殆ト各種ノ政體ヲ包括スルモノニシテ之カ爲メ又敢テ國家ノ平均ト統一トヲ失フコト無シ貴族政體ノ方向ニ於テハ則チ其ノ勢力ヲ用ヒ得ヘキ十分ノ地位ト又國民ノ一部トシテ其ノ意見ヲ吐露シ得ヘキ自由ノ權利ト貴族ニ與ヘ民主政治ノ方向ニ於テハ則チ猥リニ民ヲ檢束セスシテ十分ノ運動ヲ爲スコトヲ得セシメ且ツ智術政治ノ元素ト雖亦其ノ中ニ含有ス即チ立憲君主政治ニ於テ專ラ法律ヲ尊重スルカ如キモノ是レナリ總テ此ノ各種ノ方向ハ國家全體ノ首領タル君主ニ據テ適宜ノ度分ヲ保存シ且ツ完全ナル一體ノ中ニ結合セラル、モノトス

英國ニ於テ創始セラレシ近世ノ立憲政治ハ漸ク發達ノ階級ヲ經テ大成セシモノニシテ其ウキルヘルムフォンオラーニーン王ノ時ニ於テ成立セシ要件ハ左ノ如シ

(伊) 君主ノ專制ハ元來憲法ニ違反スル專擅ノ所爲ニシテ其ノ人民タル者ハ忍ンテ之ニ服従スルノ義務ナク且ツ之ニ對シテ抗抵ヲ爲スノ權アルモノナリ

(呂) 君主ノ權ハ他ノ議院ニ於ケル貴族及庶民ノ權利ノ如ク又ハ一個ノ英國人民ノ法律上ニ於テ有スル自由ノ如キ尋常ノ人權ニシテ憲法上ノ定則ニ基キ制限セラレタル權利ナレハ彼ノ舊來ノ宗教者流カ奇怪ナル思想ヲ以テ一種固有ノ擬神權ト爲スモノ、比ニ非ス蓋シ該宗

教者流ノ說ハ宗教上ニ於テハ猶ホ之ヲ認許スルモ當時復タ立國ノ主義トシテ之ヲ用フル者アラサルナリ

(波) 千六百八十九年ノ民權布告ニ據テ議院ノ權利及人民ノ自由ヲ法律ニ於テ明言シ且ツ保證セリ是ヲ以テ英國ノ帝位ト此ノ布告トハ常ニ密着ノ關係ヲ有シ此ノ權利ト自由ト有リテ後世始テ英國々王アルノ狀ヲ現出セリ

(仁) 國王無答責ノ權ハ憲法上ノ定規ナリト雖彼ノ「スツワルド」家亡滅ノ際ニ於テセルカ如ク國王、人民ノ間ニ於テ協和ス可ラサル爭論起ルトキハ其ノ定規ヲ破ラサル可ラサルノ例ヲ爲セリ

(保) 各大臣ハ議院ニ對シテ專ラ政治上ノ責任ヲ帶ヒ一旦事有ルニ臨メハ下院ハ之ヲ彈劾シ上院ハ之ヲ裁判ス

(邊) 立法ハ議院ノ參與ヲ受ルモノトス

(登) 議院ハ租稅ヲ認可シ理財ノ規則ヲ議定スルノ權ヲ有ス

(知) 議院ハ總テ政治ノ方向及一般ノ行政ヲ監督スルノ權アリ

(里) 裁判官ハ人民ヨリ出スヘキ陪審官ト與ニ其ノ職權ヲ行フニ當リテ全ク不羈獨立ニ且ツ十分ノ權域ヲ有スヘシ

(叙) 出版並集會ノ自由ニ依テ輿論ヲ論定シ且ツ鑒察スヘシ

以上ノ原則ト又其ノ原則ヨリ生スル結果トヲ認定シ以テ之ニ遵則スルハ初メ「ハノーブル」家世々ノ國王ニ向テハ頗ル困難ヲ與ヘシモ當時ノ民力強盛ニシテ遂ニ王家ノ嫌忌心ヲシテ自由憲法ノ下ニ服從セサル可カラサル地位ニ達セシメタリ且ツ「アルベルト、フオン、コーボルヒ公」(當時英國女皇ノ婚タリシ人)能ク現時王族ノ思想ヲ矯メテ憲法ニ適應セシメ王位ノ威望ト勢力トヲ損失スルコト無ク舊來ノ迷想謬思ヲ去テ真正ノ民主君主政治ト爲セリ

英國王ハ其ノ職自己ノ意志ヲ行フニ在ラスシテ國家ノ意志ヲ表示シ施行スルニ在ルコトヲ覺知セリ故ニ大臣(其ノ大臣ハ議院特ニ下院ノ信用ヲ有スルニ依テ其ノ勢力ヲ有ス)及ヒ代議員ハ歐洲大陸諸國ニ於ケルヨリハ寧ロ政治上ニ勢力ヲ有スルコト大ナリトス故ニ此ノ點ヨリ之ヲ見ルトキハ英國ノ政體ハ議院政又ハ共和政ノ王國ト云フヲ得ヘシト雖其ノ人民ノ國王ニ對スル尊崇ノ氣風ハ他ノ歐洲諸國ニ於テ殆ト其ノ類ヲ見ス是ヲ以テ貴族ノ元素ト代議員ノ勢力トハ斯ノ如ク強盛ナルニ拘ハラス能ク君主政治ノ政體ヲ保存スルコトヲ得タリ

(第二) 佛國

立憲君主政治ノ創始ニ就テ第二回ノ大實驗ヲ爲セルモノハ佛國是レナリ千七百九十一年、

始テ憲法ヲ建ルヤ其ノ創設者自カラ信スラク真正ナル近世ノ立國主義ニ則トリ哲理上至當ノ天則ニ遵ヒタル完備無缺ノ名法ナリト然レトモ其ノ國會ニ關スル原則ハ君主政治ト謂ハシヨリハ寧ロ共和政治ニ傾ケリト謂ハンノミ蓋シ盧騷カ稱スル民主々義及ヒ二大政權ノ理論ト北米合衆國ノ政體ナル三個ノ獨立政權ヲ以テ其ノ主權者タル民權ノ統一ニ據テ結合ヲ謀リシ共和政ノ組織トハ其ノ國民ノ惱裏ニ感觸ヲ與ヘタルコト英國ノ憲法ニ比スレハ遙ニ大ナレハナリ故ニ千七百九十一年ノ新憲法ハ其ノ原質ヨリ之ヲ言ヘハ純然タル庶民政治ニシテ其ノ形體ハ王國タリ實ニ首尾相符合セサルモノト謂ハサルヲ得ス乃チ此ノ制度ニ於テ君主ヲ視ルコトハ舊來ノ殘物遺制ニ過キサルモノニシテ實ニ彼ノ大革命爆裂ノ原因トナレリ

其ノ後那勃翁第一世國命ヲ執ルニ及ヒテ再ヒ王權ヲ回復シ萎靡振ハサル佛國人民ノ精神ヲ奮起シ其ノ既ニ分裂ニ歸シタル政權ヲ收拾シテ其ノ手中ニ掌握スルニ至リシ是ノ時ヤ恰モ革命ノ時代ヲ距ル日尙淺ク且ツ歐洲各所戰酣ナルノ秋ナルヲ以テ其ノ國民ニ於テモ立憲君主政治ノ組織ヲ設置センヨリハ寧ロ專制全權ノ將軍政府ヲ設置スルコトヲ希望シ且ツ那勃翁ノ天性ニ於テモ立憲國ノ君主トシテハ強嚴ニ過キタリ然レトモ那勃翁ハ佛國人民ヲ以テ自己ノ威權ヲ生スヘキ淵源ナリト認知シ總テ人民ニハ各其ノ才能ニ從テ進ムヘキ自由ノ

進路ヲ與ヘ又元老院ヲ設立シテ貴族ノ再興ヲ謀リ且自ラ稱シテ貴族ニハ以テ其ノ主權ヲ保
 タシム可ク庶民ニハ以テ其ノ主權ヲ得セシム可シトナシタルカ如キ立憲君主政治ノ基礎ヲ
 創設スルコト亦往々ニシテ之レアリ若シ那勃翁ヲシテ永ク帝位ニ在ラシメハ必ス時ヲ以テ
 此ノ基礎ヲ擴張シ以テ一ノ立憲君主政治ヲ創設セシモノナラン然レトモ其ノ帝位ニ在ル時
 ニ當テハ其ノ各種ノ團結體ヲシテ政權ヲ保有セシムルトキハ自己ノ意志ヲ專行スルニ力
 制限ヲ受ルノ不便利アルカ爲ニ專ラ之ヲ避ケタルト又其ノ帝位ヲ去ルト同時ニ全般ノ制度
 盡ク荒廢ニ歸シタルトニ因テ遂ニ創始ノ期ヲシテ稔熟セシムルニ至ラザリキ
 千八百十四年六月四日ニ於テ路易第十八世始テ新憲法ヲ布告シタリ此ノ憲法ハ曩ニ革命ニ
 因テ佛國ヲ放逐セラレ今新ニ歸國シタル舊來ノ王黨ト革命并那勃翁治世時代ヲ經來リシ佛
 國人民トノ間ニ試ミタル調停即チ元ノ專制君主ト今新ニ起リタル人民ノ政權トノ間ニ生ス
 ル權利ノ關係之ヲ要言スレハ君主世襲ノ權利ト革命ニ因テ起リタル人民中稍々資産アル社
 會トノ間ニ生スル關係ヲ調停セント欲スルニ在リ而シテ其ノ内部ノ性質ハ斯ノ如クナルニ
 拘ハラス其ノ外部ハ却テ國王自ラ隨意ニ之ヲ人民ニ施與シタル如キ體裁ニシテ全ク國王ノ
 獨有ニ歸スル政權ヲ分與セシモノ、如シ故ニ其ノ體裁ト事實トハ全ク相矛盾シテ合期セザ
 ルハ論ヲ須タス其ノ他尙ホ表裏相齟齬スルモノ甚タ少カラス然レトモ立憲君主政治ヲ佛國

ニ實行スルニ於テ之ヲ曩ニ千七百九十一年ニ於テ試ミシ方法ニ比スレハ猶ホ良好ナリシト
 謂フヘキナリ

此ノ憲法ノ原則ハ其ノ模範ヲ英國ノ憲法ニ取ルト雖是レ唯タ其ノ體裁ヲ模倣スルニ過キス
 シテ其ノ精神ニ至テハ則チ實ニ甚タ徑庭セリ佛國王ノ有スル威權ハ英國君主ノ有スヘキ威
 權ニ比スレハ即チ甚タ強大ニ過キタリ乃チ其ノ憲法ハ元ト專制君主政ノ理論ニ基キテ制定
 セシモノナルヲ以テ英國ニ於ケルヨリハ君主權ノ制限ヲ受ルコト甚タ少ナシ然リ而シテ佛
 國王政ノ安危如何ニ就テ之ヲ見ルトキハ敢テ英國ノ如ク堅牢ナルモノニ非ス是レ佛國人民
 ノ性質ハ英國人民ニ比シテ常ニ變動シ易ク且ツ總テ變革ヲ好ミ持重心ニ乏シキカ爲ノミニ
 非ヌ究竟曩ニ大革命ニ因テ其ノ貴族ヲ亡滅シ全國人民皆庶民政治ノ思想ト傾向トニ慣ル、
 チ以テナリ

上院ハ國王ニ次テ立法事件ニ參與シ又重大ノ國事犯ニ就テ之カ終審裁判所タル可キ權利
 ヲ有シ國民ヲ代表スルニ足ルヘキ組織ヲ爲シ舊來ノ思想ト將來ノ希望トヲ結合ス可ク即チ
 舊時ト今時トヲ結合シテ其ノ平均ヲ得セシム可キ職分ナリシモ其ノ實際ハ之ニ反シテ那勃
 翁時代ノ新貴族ハ甚タ擯斥セラレ唯タ舊時ノ資産ニ富メル貴族ノ一部ノミ猥リニ寵遇ヲ受
 ケ獨リ是等ノ世襲貴族ノミ貴族社會ノ代表者タル可キ特權ヲ占有シタルカ如キ狀態ニ至リ

其ノ組織ハ之ヲ英國ノ上院ニ比スレハ則チ其ノ價直遙ニ下レリ又下院ハ舊來ノ三月及五月ノ集會ト稱シタル集會ニ則トリ所謂英國ノ第三社會ナル人民ヨリ組織セル下院ノ制ニ倣ヒタルモノナリト雖其ノ實ハ單ニ富者ヲ集メテ之ヲ組織セシモノニシテ所謂金權主義ノ弊ニ陷リ殊ニ官吏社會ヲシテ議員タルコトヲ得ルノ權ヲ專ニセシメ彼ノ都府ノ富優ニシテ且ツ教育アル人民ノ嘗テ革命ノ際與テ大ニ拮据盡力スル所アリ自ラ其ノ職權アルコトヲ信シタル者ハ更ニ撰舉權又被撰舉權ヲ有スルコトヲ得ス又農民ニシテ革命ノ爲ニ十分ノ所有權并參政權ヲ得タル者モ亦悉ク議院ニ與カルコトヲ得ス故ニ此ノ憲法ハ下等社會ノ人民ニ向テハ更ニ注意ヲ爲ス所ナシト謂フベキナリ元來佛國ニ於テ是等庶民ノ勢力ハ政治上ニ於テ甚タ大ナリシニモ拘ハラス更ニ代議ノ權ヲ與フルコトヲ肯ゼズ其レ此ノ如ク常ニ擯斥シテ更ニ親マス更ニ憫マサル下等社會ニシテ孰レカ能ク此ノ憲法ヲ愛慕シ且ツ保護スルモノアラシヤ

蓋シ彼ノ革命ハ主トシテ二箇ノ相反對セル勢力ヲ増進セリ即チ一ハ中央集權ノ勢ニシテ一ハ民權擴張ノ勢ナリトス抑中央集權ハ若シ之ヲ極端ニ進ムルトキハ其ノ弊ヤ再ヒ專制政治ニ復歸スヘク民權擴張ハ若シ之ヲ極端ニ進ムルトキハ其ノ弊ヤ復タ革命的ノ無政府ニ至ルヘシ而シテ其ノ憲法ハ大ニ中央集權ヲ張リ以テ革命的ノ無政府ヲ未萌ニ防カンコトヲ謀

リタリ

爾後加耳第十世、專制政治ヲ行ヒ及ヒ其ノ機關タル新聞紙上ノ論說ニ因テ大ニ人民ヲ激昂シ終ニ一場ノ小革命ヲ誘起スルニ至リシモ猶ホ幸ニ此ノ憲法ハ繼行スルヲ得タリ千八百三十年ノ革命ニ當リ路易非立王、其ノ撰舉ノ演說ニ於テ憲法ハ眞實ナラサル可ラス云々ノ誓語ヲ發スルニ至リ隨テ悉ク世襲貴族ヲ廢シ唯一世一身ニ止マル貴族トシ稍下院撰舉ノ範圍ヲ擴張シタリト雖其ノ金權主義ノ性質ハ此ノ時ニ至テモ尙ホ之ヲ保存セリ

然リ而シテ千八百四十八年二月ニ於テ第二回ノ革命、俄然トシテ起リ其ノ勢ノ猛烈ナル實ニ各人ノ意想外ニ出ツ是ニ於テ憲法ハ僅々一日ヲ費サズ多數人民ノ驚駭ト恐怖トニ彷徨スル間ニ於テ小數狂亂民ノ爲ニ悉ク破壞セラレタリ夫レ此ノ憲法ヤ苟クモ其ノ改良ヲ欲セハ其ノ條項ニ豫定セル法方ニ由テ能ク之ヲ爲スヲ得ヘク且ツ往々必要棄ツ可ラサル條件ノアリシニモ拘ハラス舉テ之ヲ破壞シ却テ遙カニ劣惡ナル憲法ヲ制定シ彼ノ下等社會ノ人民ハ此ニ依テ自ラ其ノ政治ヲ施行センコトヲ企テタリ

此ノ革命ニ因テ曩ニ第一回革命ノ際設立セラレタル代議庶民政治ヲ再興シタリ而シテ其ノ大國會ニ於テハ各黨派間、各我意ヲ主張シ更ニ相一和セス爭論常ニ絶ユル無ク以テ徒ニ其ノ勢力ヲ消耗スルニ止マリ其ノ大統領ノ主權并地位モ之カ爲ニ大ニ妨碍且制限セラレタリ

而シテ佛國人民ノ天性ハ尙ホ庶民政治ヲ以テ足レリトセス再ヒ君主政治ニ傾キ遂ニ那勃翁第三世ヲシテ庶民政治ノ勝利者即チ相續者タラシメタリ蓋シ那勃翁ノ此ノ勝利ヲ得タルハ特ニ兵力ニ是レ由ルニ非スシテ殆ト全國民ノ贊成ヲ得タルニ是レ由レリ

夫レ那勃翁ニ依テ創立セラレタル帝國ノ憲法ハ千八百五十二年一月十六日并十二月二日ノ兩度ニ於テ制定セラレタル者ニシテ其ノ國體ハ英國ニ則リタルヨリ寧ロ羅馬ニ則リタリ是レ那勃翁立國ノ思想ハ專ラ羅馬政體ノ性質ヲ有シ且ツ佛國人民ノ精神ニ於テモ羅馬ノ原素ヲ保有スルノ明證ト爲スヲ得可キナリ蓋シ該憲法ハ總テ人民ノ議決ニ基キテ之ヲ制定シ立法院モ亦總テ人民ノ信用如何ニ基キテ之ヲ撰擧シ若クハ之ヲ解散シ加之ナラス皇帝ノ政權モ國民ノ意思ニ因テ生スルモノト爲ス等總テ國民ヲ以テ國權ヲ生スヘキ淵源トシ國內如何ノ事物タリトモ盡ク其ノ主權ト勢力トノ下ニ屈從ス可キ者トシ皇帝モ亦其ノ政權ニ於テ人民ニ對シ答責ノ任アリ且ツ權利平等ノ民權主義ハ普通撰擧ヲ施行シテ以テ專ラ庶民社會ノ意ヲ向フルヲ務メリ然リ而シテ斯ノ如キ廣大ナル民權主義ノ基礎上ニ在リテハ皇帝ハ更ニ赫灼タル勢威ヲ以テ其ノ政權ヲ執リ法律案ヲ草定シ一切ノ政治ヲ指導シ外交ヲ掌リ軍兵ヲ備フル等皆悉ク之ヲ其ノ手中ニ掌握シ且ツ全部ノ官吏ヲ任免シ參議院ノ議員ヲ免黜スルカ如キモ亦皆其ノ權内ニ在リ故ニ此ノ憲法ニ於テハ人民ノ多數ト皇帝トノ二大政權ハ互ニ

相對立シ其ノ間ニ介在スル各種ノ官ハ概チ羈絆セラレテ殆ト獨立ノ權ナク各省大臣ハ特ニ皇帝ニ對シテ責任ヲ帶ヒ立法體ハ其ノ法律ヲ制定スルノ權ヨリハ寧ロ政府ヨリ提出シタル法案ヲ拒否スルノミニ止マリ其ノ國家ニ損害アルカ又ハ不正理ト認メタル法律案ヲ廢止スルニ止マリテ更ニ之ヲ改良スルノ權ヲ有セスト謂ハンノミ故ニ法案提出ノ權ハ之ヲ有スルコト無ク唯タ僅ニ委員ヲ組織シテ參議院ト與ニ法案改正ニ着手スルノ一途アルノミ殊ニ元老院其ノ職制ニ據レハ人民ノ自由ヲ保護シ憲法ヲ守衛シ又時アリテ制度ノ改革等ニ就テ第一ニ意見ヲ開申スヘキ貴族ノ性質ヲ有スル機關タル可キモ實ハ皇帝自個ノ選任ニ依テ始テ其ノ地位ヲ與ヘラレタルモノニシテ其ノ皇帝ニ對シ身分上ノ關係ヲ有スルカ爲ニ自然帝權黨ノ一方ニ偏シ更ニ十分ノ効用ヲ見ス是ヲ以テ人民ト皇帝トノ間ニ於テ或ハ其ノ權衡ヲ失ハンコトヲ恐レ唯タ常ニ深ク其ノ調和ヲ保タンコトニ注意シ官廳上ニ於テモ亦新聞紙上ニ於テモ專ラ互ニ攻撃ヲ避ケシムルヲ主トセリ而シテ此ノ憲法ハ革命ノ後ニ際シ佛國ヲシテ再ヒ其ノ盛大ト勢威トヲ歐洲ニ輝カシメタルモ亦果シテ平和ノ時ニ於テ其ノ組織中ニ包含スル萌芽ヲ養成シテ漸次全備ノ點ニ進行シ得ヘキヤ又此ノ憲法ハ現時先ツ庶民社會ヲ満足セシメ得タルカ如ク中等并上等ノ開明社會ヲモ永ク満足セシムルニ足ルヤ否ヤハ將來ノ結果ヲ以テ之ヲ見ルコトヲ得ヘキノミ

此書著述ノ頃ハ三世那勃翁ノ尙ホ佛憲法創立以來、日國ノ帝位ニ在リシ時ニ在リ故ニ云爾

尙ホ淺ク之ヲ實驗スル他ノ立憲政體ノ諸國ニ於ケルカ如ク深ク且ツ精シカラサルヲ以テ其ノ堅脆ノ度、如何ニ至テハ未タ之ヲ知ル可ラサルナリ

(第三) 羅馬種族ノ諸國

彼ノ佛國ノ大變動ヲ釀成セシ革命ハ佛國外ニ向テモ亦大ニ國勢ノ變化ヲ誘起セリ而シテ此ノ變動ノ最初ニ發起シタルハ羅馬諸國トス曩ニ佛國ノ伊太利ヲ征服スルニ當リテヤ其ノ戰勝ノ勢ニ乘シテ己ノ政體ニ模倣シ亦共和政治ヲ此ノ國ニ創立セシメタリシモ爾後那勃翁第一世位ニ即クニ及テ再ヒ其ノ國體ニ倣ヒ伊太利及西班牙ニ於テ新ニ藩屏ノ君主政治ヲ創立セリ此ノ時ニ當テ天下皆那勃翁ノ勢力ニ風靡シ全歐洲ノ國體ハ皆巴里ヨリ其ノ創設ヲ指揮スルカ如キ觀ヲ呈セリ然リ而シテ那勃翁ノ命運、遂ニ末路ニ傾キ彼ノ宏壯ナル帝國ノ亡滅スルニ及ンテ此ノ一朝ノ構造ニ係ル諸國モ亦與ニ消滅シテ其ノ跡ヲ遺サ、ルニ至レリ是ノ他亦纔ニ一時ノ結果ニ過サリシト雖立憲政體ノ興起ニ必用ノ階梯タリシモノハ即チ千八百十二年「シ、リヤ」及ヒ西班牙ニ於テ編成、發布セラレタル憲法是レナリ

(第一)「シ、リヤ」ノ憲法 此ノ憲法ハ專ラ英國ノ政治家「ロルド、ベンチンク」ノ手ニ成リタルモノニシテ其ノ大要ハ英國ノ憲法ニ模倣シタルモノナリ但シ古來諾耳曼人ノ時代ヨリ繼續シ來リタル貴族ノ上ニ注意シタル事ト英國憲法ニ比スレハ大ニ國權分離說ノ新主義ニ依

據シタル事トハ此ノ憲法ノ新思想ニ屬セリ而シテ立法權ハ直ニ之ヲ議院ニ歸附シ英國ニ於ケルカ如ク國王ト上下兩院ト相共ニ此ノ權ヲ有スルニアラスシテ特ニ兩議院ヲ以テ立法權ノ骨髓トナセリ然リ而シテ國王ノ斯ノ如ク立法權ヲ有セサルニ係ラス議院ノ決議ハ必ス其ノ範圍外ノ有權者タル國王ノ認可ヲ要スルニ至テハ該主義ニ反シタル奇怪ノ制度ト謂ハサルヘカラス又上院ハ侯伯及ヒ高貴ノ僧官ヲ以テ之ヲ組織シ就中侯伯ハ上院議員ノ權ヲ世襲ス而シテ國王ハ三千「チンチエン」ノ純收益ヲ有スル紳士中ニ就テ新ニ侯伯爵ヲ授與スヘキ權ヲ有セリ又下院ハ撰舉セラレタル國民代議士ヲ以テ組織シ其ノ撰舉權ト被撰舉權トハ僅少ノ租稅額ヲ以テ之ヲ制限スルアルノミ

行政權ハ全ク國王ノ有スル所ナリト雖其ノ大臣及樞密參事官ハ行政權ノ施行ニ付テ常ニ議院ニ對シ責任ヲ帶フ國王ハ總テ重要ノ事件ハ樞密參事官ノ意見ヲ諮詢セサル可カラサル義務ヲ帶ヒ又軍兵ヲ「シ、リヤ」ニ集メ外國人ニ軍事上ノ地位ヲ與ヘ新ニ官局ヲ創設シ或ハ久シク國務ニ從事シタル官吏ニ恩給ヲ與フルカ如キ事件ニ就テハ必ス議院ノ同意ヲ得サル可カラス

裁判權ハ蓋シ國王ノ名ヲ以テ執行スト雖法律上常ニ必ス之ヲ一定ノ官吏ニ委託スヘキモノトナシ法律上附與シタル權外ニ於テハ如何ナル檢束タリトモ「シ、リヤ」ノ人民ハ之ニ抵抗

シ得ヘキ權ヲ有シ且ツ宗教上ニ關スル書冊ノ外ハ全ク政府ノ檢査ヲ廢シ其ノ他全ク封建制度ヲ除去スル等改革ヲナスモノ亦鮮カラス

蓋シ此ノ憲法ハ英國ノ體裁ニ模倣シ且ツ千七百九十一年佛國憲法ニ於テ表示セラレタル論理ヲ調和シテ以テ之ヲ組織セラレタルモノナルヤ見ルヘキナリ而シテ此ノ憲法ニハ共和政ノ原素ヲ含有スル最モ多ク舊來遺傳ノ君主政ノ慣習ニ背反スル亦頗ル甚シ而シテ一方ニハ當時此ノ邦ニ君臨シタル「ボールボン」家ノ專制主義ナル朝廷ヲシテ終ニ此ノ憲法ヲ遵守スルニ堪ヘサラシメ又一方ニハ僧侶及ヒ先朝「ヤーコップ」系族ヲ奉セント欲スル黨派ニシテ動モスレハ國王ニ抗抵ヲ試ムルト且ツ南方人ノ過激ナル氣質トノ爲メ紛争日ニ劇キヲ加ヘ終ニ愈々此ノ憲法ヲシテ不適當ナラシメタリ

其後「チアーベル」ニ於テ國王其ノ位ニ復スルニ及ヒ其ノ勢力モ亦強盛ニ復シ向キニ誓盟シタル憲法ヲ廢シ(千八百十六年十二月)專制政府ヲ再造シタリ然レトモ此ノ英國憲法ト佛國革命ノ新論理トヲ結合シ以テ一ノ新立憲國法ヲ歐洲ニ草創シタル第一經驗ハ將來試驗ノ一模範トナリタリ

(第二) 西班牙ノ憲法 此ノ憲法ハ千八百十二年三月十九日發布セラレタルモノニシテ當時國王ハ圍圍ノ中ニ在リ其ノ國土ノ大半ハ佛人ノ爲ニ占領セラレタルノ際、其ノ同盟ナル英

國ノ同意ヲ以テ當時ノ攝政ト議院トノ間ニ於テ編成シタル詳密ノ憲法ナリ此ノ憲法モ亦概子上ニ述ベタル當時ノ立憲政ノ新說ニ依據シ三權分離ノ主義ニ準則シタルモノナリ該法ニハ民主々義ニ則リ(該法第三條)主權ヲ民ニ歸シタリト雖國王ニ政權ヲ附與スルモノ亦狹隘ナラス立法權ハ議院、國王ト與ニ之ヲ有シ(該法第十五條)司法上ノ監督權ハ獨リ國王ニ歸附シタリ(該法第七十一條)但シ再度マテモ議院ノ決シタル議案ニ對シテハ國王ハ之ヲ不認可スルヲ得ス(該法第四十九條)蓋シ此ノ憲法ノ英國憲法ニ異ナル點ハ彼ノ貴族上院ヲ置カスシテ直接ニ國王ニ對シテ其ノ民撰代議者タル下院ヲ設クル是レナリ

然ルニ國王再ヒ位ニ復スルニ及テ肆ニ此ノ憲法ヲ廢シ且議院ノ領袖等ヲ放逐シ猥リニ暴權ヲ逞クセル事及ヒ國民ノ已ニ久シク「ボールボン」家ノ專制政治ニ苦ミタル事ハ更ニ人ヲシテ千八百十二年ノ憲法ヲ追慕セシムルニ至リ其ノ章條ノ缺點少カラサルト又當初ハ人皆之ヲ顧ミカリシトニ係ラス其ノ廢止後ハ大ニ之ヲ稱揚シ今ハ腕力ヲ以テスルモ尙ホ之ヲ執行セント欲スルニ至レリ(千八百二十年ヨリ二十六年ノ間)斯ノ如キ勢ナルニ依テ千八百三十四年ニ「イスタットー、レアール」ナル憲法ヲ草シ國王ヨリ之ヲ發布シタリシモ人民ハ尙ホ以テ足レリトナサス千八百三十六年攝政皇后ノ時ニ方テ人民ヨリ向キノ千八百十二年ノ憲法ヲ執行センヲ迫リ翌三十七年ニ於テ改進黨等相謀テ十二年ノ憲法ヲ基礎トナシ且ツ一

部ハ三十四年ノ「イスタットー、レアール」ヲ採リ新ニ憲法ヲ制定シ君主ヲシテ誓盟ヲナサシメタリ此ノ折衷憲法ニ據レハ即チ國王ハ以前ノ如ク法律ノ認可ヲ專有シ更ニ制限ヲ受ケス議院ハ兩議院(元老及ヒ代議院)ノ制ヲ用フ然レトモ其ノ後漸進黨等ノ制定シタル千八百四十五年五月廿三日ノ憲法ハ前ノ憲法ニ比スレハ彼ノ千八百三十年ノ佛國憲法ト甚相類似セリ

然リ而シテ西班牙ニ於ケル憲法ノ紛争ハ此ニ至テ尙ホ未タ止マス僧侶ノ抗抵、民權黨ノ一揆ハ國勢ヲシテ常ニ動搖定マラサシメ現今軍人社會ハ王家并ニ僧官等ノ之ヲ特遇スルニ由テ大ニ勢力アルニモ係ラス尙ホ未タ國家ノ安寧ヲ保全スルニ足ラス

(第三) 葡萄牙ハ千八百二十二年西班牙ニ於テ制定シタル千八百十二年ノ憲法ニ模倣シテ初テ其ノ憲法ヲ制定シタリシカ未タ全ク之ヲ執行スルニ及ハスシテ廢セラレ其ノ後千八百二十六年ニ方テ「ドンペードロー王」新ニ憲法ヲ發布セリ其ノ憲法ハ稍、英國并ニ佛國ノ制ニ等シキモノニシテ世襲并ニ一代限ノ貴族ヲ以テ上院ヲ組織シ民撰ニ成レル下院ト共ニ并行セラル、モノニシテ前ノ憲法ニ比スレハ稍、君主政治ノ原則ニ稱フモノナリ該憲法ハ國權ヲ四類ニ分チ第一ヲ立法權トシ國王ノ認可ヲ以テ議院之ヲ掌ル第二ヲ仲裁權(モデラドール)トシ國王ハ總テノ政權ヲ均分シ且ツ之ヲ調齊スルコトヲ務メ國中最高ノ統領トシテ自

ラ之ヲ掌ル第三ヲ執行權トシ國王其ノ大臣ト共ニ之ヲ掌ル第四ヲ裁判權トシ不羈獨立ナル裁判所之ヲ掌ル

當時「ドンミゲルス」ノ專制黨アリ以上兩様ノ憲法ニ反對セシモ終ニ他ノ政黨ノ爲ニ敗滅シ爾後民權黨ト憲法黨トノ兩派政權ヲ争ヒ互ニ勝敗アリタリ民權黨ハ千八百二十二年ノ憲法ニ據ラント欲シ憲法黨ハ千八百二十六年ノ憲法ヲ行ハント欲シ其ノ後千八百三十八年ニ至リ終ニ二十六年ノ憲法ヲ改正スルコト、ナリ上院ハ自今一定ノ年期ヲ定メ撰舉スルコト、シ參議院ノ制度ハ全ク之ヲ廢シタリ又人民ノ下等社會ニ屬スルモノハ漸ク其ノ參政權ヲ減縮セラル、ノ傾アリ之ヲ要スルニ葡萄牙ノ國勢ハ新ニ「コーボルヒ家」ノ朝トナリタル以來西班牙ニ比スレハ靜穩且佳良ノ進歩ヲナスカ如シ

(第四) 亞米利加ニ於ケル葡萄牙領ノ殖民地并ニ當時新ニ獨立シタル帝國「ブラジール」ニ於テ亦立憲君主政ノ憲法ヲ行ヒタリシト雖是レ又歐洲ニ於ケルカ如キ同様ノ紛論轉遷ノ中ニ於テ漸ク其ノ進歩ヲ爲セリ

(第五) 伊太利ニ於テハ漸次專制侯伯政治ノ抑壓ヲ免カレタルノ後那勃翁ノ時ニ至テ伊太利及「ネーブル」ヲ合セ一王國ヲ創立シタリ此ノ憲法ハ亦制限寡人政治タルニ過キサリシモ其ノ後故ノ「ボールボン」家并ニ「ハーブスブルグ」家ノ侯伯位ニ復スルニ及テ同ク亦專制政治ヲ

施行シタルカ故ニ人民ハ那勃翁王國時代ノ政ヨリハ却テ之ヲ厭忌シ反逆一揆等頻リニ起リ政府ハ常ニ慘酷ナル所置ヲ以テ之ニ抗シ他國ノ兵力ヲ借テ以テ纒カニ國民ノ企望ヲ壓制シ得タリ千八百二十年ニ當リ「チーブル」國王ハ民ノ輿望ニ迫ラレ嘗テ西班牙ニ於テ施行セラレタル千八百十二年ノ憲法ヲ布告シタリシモ壞國ノ軍兵ヲ「ネーブル」ニ入ル、ニ及テ忽チ舊專恣政治ヲ回復セリ斯ノ如キ勢ナルヲ以テ三十年以來君民ノ間ニ絶ヘサリシ紛争モ更ニ其ノ結果ヲ見ス「チーブル」王家ハ常ニ壞國ノ堅密ナル壓制力ニ依頼シテ苟モ立憲政治ノ企謀アレハ忽チ之ヲ勦滅スルコトヲ力メタリ

四十一年乃至五十年ノ間伊太利ノ民心、政體ノ改革ヲ望ムト愈々強キニ至リシハ蓋シ是レ民心漸ク外國ノ制御ヲ受クルヲ厭ヒ之ヲ脱却セントスルノ勢興リテ力アリタルナリ千八百四十七年ニ於テ伊太利ノ民心大ニ激昂シ全國爲ニ震動セリ而シテ當時ノ法皇「ビウス」第九世亦之ヲ幫助シタルガ如シ故ニ彼ノ巴里府ニ於テ尙ホ革命(千八百四十八年)ノ起ラサルニ先チ當時ノ「子アーベル」王「フエルジナンド」第二世并ニ「ビーモント」王「カールアルベルト」等ハ此ノ時ニ於テ已ニ立憲政體ヲ施行スルノ已ムヲ得サルニ至リタリキ然リ而シテ「子アーベル」王ハ新政體ヲ施行スルニ當リ神明ニ誓ヒ信實ヲ以テ之ヲ守ランコトヲ民ニ約シタリシニ拘ラス民心ノ激昂漸ク沈靜シテ復タ甚タ懼ル、ニ至ラサルヲ見ルヤ忽チ再ヒ憲法ニ戻リ專制ヲ行

ヒタリスノ如キ前後兩回ノ破盟ノ結果ハ爾後千八百六十六年其ノ太子「フエルジナンド」フランツ」第二世ノ時ニ至テ民心携貳シ再ヒ立憲政治ヲ施行シテ之ヲ收拾セント謀リシモ人民更ニ之ヲ信セス遂ニ國王ヲ放逐スルニ至リタリ

又「ビーモント」ニ於テハ其ノ狀況全ク之ニ反シ曩ニ千八百四十八年二月六日ニ於テ其ノ國王、佛國千八百二十年ノ憲法ニ模倣シ代議政治ヲ施行シタル後ハ常ニ堅ク之ヲ守リ嘗テ達フコトナカリキ國王「カールアルベルト」尙ホ未タ其ノ版圖ヲ拓クニ至ラザリシ當時壞國ノ英將「ラデツキ」ノ爲ニ大敗ヲ取リタリシガ恰モ却テ國民ノ愛國心ヲ煥發シ伊太利ノ將ニ不熟ナル庶民政治ニ陥ラントシタル危難ヲ救済シタリ而シテ其ノ太子「ウヰクトール」エマヌール」立ツニ及テ伊太利ノ諸國概チ皆勢ニ乘シテ專制政體ヲ回復セント欲シタル時ニ當テモ常ニ固ク憲法ヲ守テ動カス蓋シ爾後千八百五十九年并ニ六十年ニ於テ同王ノ得タル驚クヘキ結果ノ大半ハ國民常ニ該王ノ能ク憲法ニ遵則シテ背戻セサルコトヲ信シテ疑ハサリシニ是レ由ルモノニシテ即チ亦該王ガ其ノ賢相「カブール」ニ政ヲ委子タルカ如キハ其ノ平生ノ思想ヲ見ルヘキ一證ナリ是ニ於テ佛國ノ援ニ依テ壞國ヲ「ロンバルダイ」ヨリ退ケ中部伊太利ノ諸侯國ヲ其ノ版圖ニ併セ且ツ勇將「ガリバルヂー」ノ戰勝ニ依テ「子アーベル」及「ジチーリエン」ヲ得復タ千八百六十六年學國ノ援ヲ借テ「ウエ子」ジヒ」ヲ復シタリ唯タ法王領ニ

限リテハ外國ノ勢力ニ制セラレ其ノ境域狹シト雖猶ホ未タ之ヲ版圖内ニ合スルヲ得ス故ニ
 伊太利國ニ屬スル版圖内ニ在テハ皆立憲君主政ヲ確守シ其ノ共和政ヲ善トスル黨派ト雖
 「ガリバルジ」ノ説ニ服シ現時ニ在テ立憲君主政ヲ行フコトノ勢止ムベカラサルコトヲ信
 シ敢テ之ニ反抗スル者ナシ

(第六) 白耳義ハ羅馬種族ノ國ト曰耳曼種族ノ國トノ間ニアルモノニシテ其ノ憲法ハ千八百
 三十一年佛國憲法ニ倣ヒテ成立シタルモノトス而シテ其ノ各條ノ精神ハ之ヲ佛國憲法ニ比
 スレバ寧ロ民權主義ノ思想ニ基キタルモノナリ就中諸國權ハ人民ヨリ出ツ(憲法第二十五
 條ト云ヘル條ノ如キ是ナリ但シ此ノ條ハ當時白耳義ハ世襲一定ノ王家ナク新ニ憲法ニ據
 テ王家ヲ建ツハキヲ以テ設ケシモノナリ又各人民間ニ等級上ノ區別ヲ立テズ(憲法第六條)
 并ニ專ラ議院ノ參政權ヲ廣クシタル如キモ民權主義ニ基キタル一例ナリ又議院ヲ兩院ニ分
 千第一院即チ元老院ハ一定ノ任期ヲ以テ下院代議士ヲ撰舉スル撰舉人ヲシテ同ク之ヲ撰舉
 セシメ(元法案ニハ國王元老議員任命ノ權ヲ有スルコトヲ定メタリ)而シテ元老議員タルハ
 キ者ハ下院議員ヨリハ年齢稍長シ資産稍多キヲ要スルノミ又政治ニ熟練ナル「レチボル
 ドホンコーボルヒ」位ニ即クニ及テ政能ク和シ千八百四十八年歐洲一般ノ革命ニ當テモ僅
 ニ其ノ餘波ヲ受ケタルニ止マリ爾後國益富ミ民愈安キヲ得タリ唯タ羅馬舊教黨並ニ自

由黨等ノ紛争ハ白耳義ニ於テモ其ノ勢猖獗ニシテ今ニ至テモ亦敢テ止マサルナリ

第四 獨逸外ノ日耳曼種族諸邦

(第一) 北方「スカンヂナーウキエ」ニ於ケル立憲制度ハ又一種固有ノ沿革ヲ成セリ抑瑞
 典ニ於テハ第十六世紀以來其ノ國民ノ等級ニ種々アリ而シテ各等皆別ニ政務ニ參與スルノ
 權ヲ有ス抑此ノ種々ノ等級ハ武士即チ貴族、僧侶、商工、及ヒ農トス當時貴族ノ勢力甚々強
 盛ニシテ其ノ國民第一ノ等族タルノ外特ニ其ノ中ヨリ國政議員(參議員及ヒ執政大臣)ヲ撰
 舉シ自己ノ勢力ヲ助クル爲メ樞要ノ機關ト爲シタルヲ以テ國王ハ之ニ抗スルカ爲メ屢商
 工并ニ農ノ二等族ニ依頼シタリ而シテ貴族ノ勢力益増長シ終ニ國王ノ位モ亦之カ爲メニ
 安カラサルニ至リ國ノ安全モ保持シ難キ恐アリシヲ以テ「グスターフ」第三世ノ時ニ於テ此
 ノ專横ヲ制センガ爲メ(千七百八十九年)庶民ト雖亦高等官吏ニ採用スルノ路ヲ開キ政府及
 ヒ宮廷ノ最モ高貴ノ官職ヲ除クノ外ハ其ノ任用ヲ貴族ニ限ラサルコト、定メタリ
 千八百九年六月七日發布セラレタル瑞典ノ憲法ハ千七百七十二年ノ舊憲法ヲ繼行シタル
 モノニシテ其ノ條款中參議員ト書記官四員トノ事ニ就テハ近來諸國ニ於テ制定セラレタル
 憲法ニ比スレハ詳密且ツ鄭重ナル所アリ而シテ此ノ官職ニ任用セラル可キ者ハ又敢テ貴族
 ニ限ラス其ノ國民ハ近年ニ至ルマテ四等ニ分チ是レ等ノ議決ヲ經ルニアラサレハ國王ハ憲

法ヲ變革シ法律ヲ發布シ又ハ新稅ヲ徵收スルコトヲ得ス此ノ四等族中最モ多數ヲ占ムルハ常ニ第四ノ等族ナレトモ其ノ憲法ノ正條ニ據ルトキハ全ク四個ノ等族ト國王トノ間ニ協議整フニ非ラサレハ其ノ政法ヲ施行スルコト能ハス

此ノ憲法ハ嘗テ中古ニ於テ獨逸ニ行ハレタル等族憲法ノ主義ニ類似スルモノ甚タ少カラス然リ而シテ此ノ憲法ハ一方ニ於テハ反テ現今行ハル、近世ノ立憲制度ニ優ルモノ尠カラサルニ拘ラス瑞典ノ外更ニ之ヲ稱揚シ又之ヲ模倣スル國ナキ所以ノモノハ主トシテ國民ヲ四等族ニ分割スルヲ以テ其ノ議論ヲ一齊ナラシメ難キヲ以テナリ此ヲ以テ千八百六十五年瑞典ニ於テモ亦四等族ノ制ヲ廢シ竟ニ他ノ立憲邦國ノ制度ニ倣ヒ兩議院法ヲ行ヒタリ

(第二) 諾威ノ憲法ハ千八百十四年十一月四日ノ發布ニ係リ瑞典ノ憲法ニ比スレハ大ニ民權主義ニ因レリ而シテ當時瑞典國王ハ講和條約ニ據テ諾威ノ王位ヲ兼子タリ曩ニ同年ノ春其ノ國會ニ於テ國土ノ獨立ヲ維持シ人民ノ自由ヲ保護スル爲ニ定メタル憲法草案アリシカ此ノ際國王ハ更ニ變更スルコトナク直ニ之ヲ認諾スルコトノ已ムヲ得サル勢ニ迫ラレタリ而シテ此ノ憲法ニ據ルトキハ立法權ハ全ク國民ニ屬シ國會ニ於テ之ヲ行フモノトス(該憲法四十九條)尤モ國王ハ不認可權ヲ有スト雖若シ其ノ不認可ヲ爲シタル法案ニシテ三度ニ至ルマテ議會ニ於テ之ヲ可決シタルトキハ國王再ヒ之ヲ拒ムヲ得ス又國會ハ全ク諾威人民

(大概土地所有主)ノ撰舉スル所ニシテ之ヲ兩議院ニ區別ス其ノ一ヲ「ラーグチング」其ノ二ヲ「オーデルスチング」ト云フ又行政權ハ總テ國王ニ屬シ其ノ執政大臣答責ニ任ス爾後今ニ至ルマデ常ニ王權ヲ擴張シ及ヒ貴族政治ノ制ヲ用ヒンコトヲ務ムト雖人民常ニ之ニ抗抵シテ止マサルノミナラス諾威人ハ瑞典ノ管下ニ屈從スルコトヲ嫌ヒ其ノ獨立ヲ爲サント欲スル競爭心常ニ強ク爲メニ一層ノ抵抗力ヲ增加セリ

(第三) 千六百六十年ニ起リタル丁抹國ノ革命ハ其ノ貴族ニ對シテ起リタルモノナレトモ其ノ結果ハ人民ノ贊成ニヨリテ更ニ一ノ專制政治ヲ起シタリ而シテ現世紀ニ至ルニ及テ他ノ諸國ニ於ケルガ如ク丁抹ニ於テモ亦其ノ政體ヲ立憲政治ニ改メシカ初メハ猶ホ甚タ幼稚ナル地方等族會議ノ體裁ヲ用ヒ(千八百二十一年五月廿八日ノ法律ニ成レリ)然ル後千八百四十九年六月五日ニ於テ民權主義ニ成レル憲法ヲ發布セリ而シテ國民中獨逸種族ニ屬スル民ト丁抹種族ノ民トノ間ニ起レル憲法上ノ爭ハ其ノ條項ニ就テ各意見ヲ異ニスルニ由ルト雖實ハ其ノ人情風俗ノ相異ナルニ起源セルモノ多シトス玆ニ於テ千八百六十六年六月國王ハ國會ト「ランツチング」及「ホルクスチング」兩院アリ)相議リ遂ニ憲法ヲ修正シタリ

(第四) 和蘭國ハ那勃翁亡滅ノ后元ノ共和國及那勃翁朝ノ王國「ホルランド」ノ地ニ於テ新ニ創設セラレタル王國ニシテ是レ又當時立憲君主國ノ社中ニ列シタリ(千八百十四年二月廿

八日ノ憲法ニシテ同十五年八月廿四日白耳義國合併ノ后發布スル所ナリ。後千八百四十八年十月十四日ニ至リ再々憲法ヲ改正シ其ノ規模面目ヲ改メタルモノ少カラス而シテ此ノ國ニ於テ立憲政治ノ思想ハ近來漸ク盛大ニ向ヘリ

第五 獨逸諸國

(第一) 歐洲大陸ニ於テ現今ノ立憲君主政治ヲ行フニ至レル濫陽ヲ尋ヌルニ李國ノ英主「フリードリヒ」第二世ヲ以テ此ノ主義ヲ首唱シタル鼻祖トナス苟モ歐洲諸國ノ人民ヲシテ夙ニ此ノ英主ノ言フ所ヲ悟ラシメ各國ノ君主ヲシテ其ノ爲ス所ニ倣ハシメシナラハ其ノ專制政治ヨリ今日ノ立憲政體ニ移リ進マンコト極メテ速ニシテ更ニ斯ノ如キ困難ヲ見サリシナラン抑國王ハ國家ノ所有主ナリト謂ヘル專制政治ノ原則ヲ擊破セル未タ嘗テ此ノ君ノ如ク勇猛果斷ナル者アラス又王位ハ一ノ官職ニシテ國王ハ國家第一ノ臣僕ナルコトヲ確言セル未タ嘗テ此ノ君ノ如ク英邁卓見ナル者アラス然リ而シテ此ノ君ノ此ノ如キ高明ノ主義ヲ懷抱スルニモ拘ラズ舊來ノ等族憲法ヲ廢スルコトナク亦新ニ代議政體ヲ設クルコトナク依然トシテ舊套ヲ守リ專制政治ヲ繼行セシハ甚タ怪シムヘキカ如シト雖是レ其ノ民當時猶ホ幼稚ニシテ政治思想未タ熟セス王獨リ卓然トシテ世俗ノ表ニ超出シタルニヨリ天下ノ大勢猶ホ未タ其ノ主義ヲ行フノ期至ラサルヲ知ルカ故ニ暫ク專制ノ舊體ニ依リ待ツ所アリシハ

炳然トシテ其レ明カナリ故ニ王ハ其ノ法制ニヨリテ以テ人民ノ思想ヲ養成スルト同時ニ又一方ニハ專ラ己ヲ制シテ威權ヲ擅ニセサリシハ將來其ノ民ニ自由ヲ與ヘント欲スル豫備ナリシノミ

然ルニ惜イ哉佛國革命ノ事起ルニ及ンテ此ノ賢王ノ指示セル方針ニ背キ君主ハ人民ニ對シテ恐怖疾惡ノ念ヲ懷キ人民ハ陳暴過激ノ民權主義ヲ主張シ是レヨリシテ平坦安穩ナル進路ヲ失ヒタリ

(第二) 來因聯合ノ時ニ於テ發布セラレタル憲法ハ主トシテ來因聯合ノ盟主タル那勃翁第一世ノ德意ニ成リ舊來等族制度ノ遺物ヲ掃蕩シテ新ニ法律ヲ以テ各種ノ原則ヲ奠定シ土地所有主、商工其ノ他稍々教育アル社會ノ中ニ就テ代議ノ權ヲ定メタルモノニシテ(勿論不完全ニシテ且ツ權力ナキ代議士トハ言ヘ)今日ノ立憲君主政治ニ移向スル階梯トナリタリ

(第三) 李國其ノ再造ヲ謀リ那勃翁ノ羈絆ヲ脱セント欲シ人民皆慨慷奮勵國家ノ爲メニ盡サントコトヲ思フニ當リテヤ其ノ國情ニ適シ自由ノ思想ニ出テタル新制度ヲ施行スルニハ偏強ノ好機會ナリキ而シテ獨國ニ於テ古今傑出ノ名臣「スタイン」「ホンボルト」及ヒ「ハルデンベルグ」但シ「ハルデンベルグ」モ亦其ノ政ヲ執リタル初ニ當リテ新制度ヲ施行センコトヲ欲シタリ(熱心以テ之ニ從事シ且ツ國王「フリードリヒ」ウァルヘルム)第三其ノ制度改良ノ意見ヲ公

ニ稱言スルニ至リタリ然レトモ當時獨逸諸國ノ王家、社會上流ノ人士及ヒ官吏社會ニ於テ
 專制政治ヲ善シトスル思想猶ホ甚タ盛ニ革命ヲ厭惡スル情ハ總テ新ナル思想ニ對シテ疑懼
 ナ起シ人々皆架空ノ夢想ニ制セラレ加之人民ノ政治思想ハ猶ホ未タ熟セザルカ故ニ獨逸聯
 合國并ニ各聯邦ニ於テ猶ホ舊來ノ地方等族制度ノ時ニ行ハレタル僅少ノ制限ニ止リタル專
 制政治ヲ存シタリ

此ノ時ニ當リテ獨逸諸國中立法君主政治ヲ行フモノ寥寥トシテ恰モ晨星ノ如ク且ツ之ヲ行
 フモノハ大概佛國憲法ニ基キ舊來遺傳ノ等族法ヲ折衷シテ其ノ憲法ヲ設ケタリ而シテ其ノ
 最モ先鞭ヲ着ケタルモノハ侯領「ナツサウ」千八百十四年九月二日ニ憲法ヲ發布セリ「ナリ然
 レトモ之ヲ行フコト久シカラズシテ再ビ廢止シ其ノ後次テ施行シタルハ「ルキセンブルグ」
 (千八百十五年八月廿四日憲法ヲ發布セリ)及ヒ大侯領「ザクセンワイマールアイゼナフ」千八
 百十六年五月五日憲法ヲ發布セリ「ニシテ當時「ワイマール」ノ君主「カールアウグスト」ハ賢
 明ニシテ自ラ卒先シテ自由制度ヲ施行シタリ

獨逸諸國憲法ノ歴史ニ於テ重要ナルハ南獨逸地方ノ稍大ナル邦國即チ王國巴華厘(千八百
 十八年五月廿六日憲法ヲ發布セリ)「ウエルテンベルグ」千八百十九年九月廿五日憲法ヲ發布
 セリ)并ニ大侯國「バーデン」千八百十二年八月廿二日憲法ヲ發布セリ)ナリ當時巴華厘及「ウ

エルテンベルグ」ニ於テ舊來ノ等族此ノ新制度ニ抵抗セシト雖政府ノ明能ク是レ等ノ陋見
 ナ破リ將來ノ大計ヲ定メタルヲ以テ國力次第ニ増進シ當時猶ホ依然トシテ專制主義ヲ固執
 セル大國ノ壓制ヲ受ケザルコトヲ得タリ

王國「ハノーフェル」千八百十九年十二月十七日憲法ヲ發布セリ)大侯國「ヘッセン」千八百廿
 年十二月十七日憲法ヲ發布セリ)及ヒ「ザクセンマイニンゲン」千八百廿九年八月廿三日憲法
 ナ發布セリ)ニ於テハ以上ノ諸國ニ次テ立憲政體ヲ施行シタリ

總テ是レ等諸國ノ憲法ニ於テ國王ハ其ノ權カヲ有スルコト甚タ大ナリ蓋シ獨逸人民ノ性質
 タル保守ニ傾クヲ以テ君主ノ其ノ權ヲ維持スルコト佛國ニ比スレハ遙ニ安全ナリ苟モ君主
 ニシテ少ク輿論ヲ採取シテ之ヲ利用シ且ツ自由主義ノ方向ニ向テ行進スル思想アラシメハ
 他ノ各國ニ比スレハ其ノ國事ヲ主宰スルニ於テ容易ニ民ノ信用ヲ得タリ

又此ノ憲法ニ據リ組織セル議院ノ制ハ英國并ニ佛國ノ制ニ模倣シ上院ハ專ラ土地所有ノ貴
 族ヲ基トシタルカ故ニ其ノ意見概子己ニ廢滅ニ屬シタル昔時ノ制度ニ牽戀スルノ弊ヲ免レ
 サルノミナラズ全ク政府ノ願使ニ服従スル官吏ヲ以テ之ニ交ヘタルカ故ニ自ラ議院ノ信用
 ナ薄フシ其ノ活動力ヲシテ盛強ナラザラシメタリ又下院ハ佛國ノ制ニ比スレハ自由ヲ與フ
 ルコト多ク且ツ獨リ富民ノミヲ集ムルカ如キ弊少カリシモ其ノ議員ヲ採選スルニ多クハ舊

來ノ等族ニ基キタリシカ故ニ當時此ノ憲法ヲ目シテ等族憲法トナシ立憲主義ノ憲法ニアラ
 ストナスモノアリ然レトモ是レ却テ其ノ理ヲ得ザルモノトス抑立憲政體ノ中古ノ等族制
 度ニ異ナル所以ハ立憲國ニ於テ其ノ議員ヲ取ルニ各種ノ人民ニ就テ每等之ヲ選ムコト等族
 制度ノ如クナルヲ得ストナスノ點ニアラス其ノ議員ノ等族ニ出ルト各種ノ社會ニ出ルトニ
 論ナク唯タ其ノ代議スル所ノモノ一國ノ人民ヲ代表シ國民及ヒ國家ノ合一ヲ表シ議員ヲシ
 テ各自ニ其ノ代表スル等族ノ利害ノミヲ代議セシムルヲ許サ、ルノ點ニアルナリ然リ而シ
 テ此ノ主義ハ千八百十八年ノ巴華厘憲法ニ於テ明ニ之ヲ見ル即チ議員ハ誠意ヲ以テ全國ノ
 利害ヲ議スヘキモノニシテ各自ノ等族又ハ社會ノミニ係ル利害ニ關スヘカヲサルコトヲ誓
 盟セザルヘカラストナセルカ如キ是レナリ

爾後數十年間ハ立憲政ノ發達英國并テ國ノ爲ニ妨礙ヲ被リタリ蓋シ此ノ兩國政府ハ共ニ新
 政體ヲ危害アリト認メ之ヲ嫌忌シタレハナリ學國ニ於テ從來企謀シタル改革ノ熱望モ終ニ
 畫餅ニ歸シ千八百二十三年民選議院ニ代ヘテ僅ニ聯合州會ヲ設立セリ而シテ埃國モ亦其ノ
 聯合王國ヲ維持シ惟一ノ政ヲ行フニハ唯タ專制政權ヲ失ハサルニ在ルコトヲ信セリ要スル
 ニ當時獨逸聯邦ノ政策ハ主トシテ君主ノ專制權ヲ維持シ警察ニヨリテ人民ヲ監制セント欲
 スルニアリタリ

(第四) 千八百三十年、佛國ニ起リタル七月革命ハ獨國ニモ亦大影響ヲ及ホシ中小諸侯國ヲ
 シテ立憲制ニ移ラシムル階梯ヲ開キタリ即チ大撰侯國「ヘッセン」ハ千八百三十年一月五日
 ナ以テ憲法ヲ發布シ以テ君主ノ專橫ヲ檢束シ人民ノ自由ヲ防衛セントシ王國「サクセン」ハ
 巴華厘「ノ憲法ニ模倣シテ其ノ憲法ヲ定メ」(千八百三十一年九月四日)王國「ハノーフェル」モ
 亦(千八百三十三年九月二十六日)新ニ立憲國ノ主義ニ基キテ憲法ヲ制シタリシモ次テ「エル
 ンスト、アウグスト」王ノ世ニ至リ其ノ實行ヲ拒ミタリ爾後千八百四十年ニ至リ始メテ從來
 定メタル憲法ヲ折衷シ再ヒ之ヲ發布施行シタリキ

是ノ故ニ獨逸ニ於テ立憲政體ハ外面上各國政府往々之ヲ尊重セシモ其ノ實之ヲ蔑如シ煩苛
 ナル行政ニ因リテ屢々妨害ヲ蒙リ且ツ議院ノ内外ニ在ル政黨ノ爲ニ頻リニ妄用ト欺誣トチ
 蒙リタリシニモ拘ラス漸ク其ノ勢力ヲ増進スルニ至リタリ唯タ埃學兩國ハ當時猶ホ此ノ制
 度ヲ行フコトヲ厭忌シタリ

(第五) 千八百四十七年二月三日ニ至リ學國王「フリードリヒ、ウァルヘルム」第四世ハ終ニ憲
 法ヲ其ノ國ニ發布シタリ是ニ於テ舊來ノ地方等族ヲ基礎トシ新ニ聯合地方會ヲ設ケ之ニ授
 クルニ國內ニ施行スル法律ヲ參議シ新ニ徵集スル租稅ノ可否ヲ議シ内國ノ行政ニ關シテ請
 願ヲ爲スヲ得ルノ權ヲ以テセリ是ニ至テ學國ハ新ニ專制政治ノ舊套ヲ脱シテ制限君主政治

ノ主義ニ進ミ稍々他ノ獨逸立憲諸國ノ列ニ接近シタリ此ノ憲法ハ字國ニ立憲政體ノ新主義ヲ行ハシムヘキ端緒トナスニ足り且ツ舊來ノ沿革ヲ繼承シテ全廢セス安リニ專ラ當時ノ流行ニ從テ更ニ慣習ナキ立憲君主制ノ新主義ニノミ法ルカ如キコトヲ爲サ、リシテ以テ其ノ益亦甚タ少小ニアラザリシナリ此ノ憲法ニ於テ地方會ノ權利ハ甚タ不充分ナルハ固ヨリ論ヲ待タザリシモ漸次歩ヲ進メテ之ヲ完全ノ域ニ至ラシムルハ亦難キニ非ス其ノ他憲法ノ具備ヲ缺ク點ノ如キモ亦將來人民ノ政治思想ニ練熟スルヲ待テ漸次之ガ改良ヲ加フヘキ方法ナキニ非ザリシモ惜哉政府ハ議會ノ正當ナル希望ニ背クアリ從來政府ニ對シ敢テ敵氣ヲ挾マザル温和黨ノ歡心ヲモ亦之ヲ失ヒ終ニ千八百四十八年ニ及ビ政治上ノ大震災起リ以テ全歐羅巴ヲ震蕩スルニ至リテ此ノ制度モ亦忽チ顛覆シテ救フニ由ナク同年十月五日ニ於テ新ニ憲法ヲ布キタルハ誠ニ已ムヲ得ザリシナリ此ノ新憲法ノ大半ハ革命ノ風波ニ簸揚セラレ新ニ勢力ヲ得タル民權黨ノ手ニ成リシモノナリシカ幸ニ欽定議員撰擧法ヲ制定スルニ及テ此ノ助ニ依リテ千八百五十年一月三十一日ニ至リ三大權國王及上ノ協議ヲ以テ憲法ヲ修正スルコトヲ得タリ而シテ爾後尙ホ政府ノ主權ヲ擴張スルノ目的ヲ以テ修正シタル條項少カラス要スルニ此ノ憲法ハ其ノ綱要ニ於テ完備ヲ缺クヲ免レスト雖字國ノ立憲君主制ニ於テ又國法上ノ一原則トナレリ

斯ノ如ク新ニ施行セラレタル憲法ハ爾後數年間ニ起リタル事實ヲ以テ之ヲ證スルニ僅ニ其ノ規模體裁ヲ設ケタルニ止マリ其ノ精神ハ猶ホ未タ人々ノ悟知スル所トナラザリシカ如シ彼ノ貴族院ハ專ラ古來ノ專制政治主義ノ代表者ト驕慢ナル武士族トヲ以テ組織シ而シテ是レ等ノ貴族ハ常ニ不快ヲ新制度ニ抱キ又自尊自重ニ慣レタル國王ハ已テ改正ノ制度ニ屈シテ民有王國ノ新主義ニ從フヲ懼リ議員ハ其ノ固有ノ權域ヲ踰越セス且ツ英國ノ議員政治ト字國ノ内閣政治トノ間ニ一大差別アルヲ知ルニ至ルマテハ數多ノ歲月ヲ要シタリ然レトモ此ノ新憲法ハ改革ノ攻撃ト守舊ノ抗拒ト君主ノ主權ト人民ノ自由ト相爭ヒ相軋ルノ間ニ於テ愈々其ノ根柢ヲ深クシ而シテ漸ク獨逸聯邦政府ノ興隆スルニ及ヒテ凡テ從來ノ反對思想ハ此ノ新政府ノ爲メニ竭サルヘカラサル義務ノ爲ニ消滅シタリ即チ千八百六十六年獨逸戰爭ノ事起ルニ及ンテ人民ノ熱心ハ更ニ從來凝結セル抗拒ヲ溶解シ以テ協同和合ヲ得セシメタリ

奧國ニ於テモ亦千八百四十八年ノ革命ニ由テ全ク不意ノ襲撃ヲ受ケタリ而シテ從來「ハーブスブルグ」家ノ朝廷ノ下ニ并合セラレタル各種族ノ人民ハ各相分離センコトヲ欲シ其ノ中央都府ナル維納ニ於テハ一時徒ニ空想ニ馳スル無經驗ノ少壯者其ノ勢權ヲ握リタリ是ノ故ニ國內百般ノ制度悉ク惟一ノ揆ヲ失ヒ支離滅裂ヲ免レザリシモ猶ホ獨リ陸軍ノ勢力存ス

ル有り是ニ由テ漸ク其ノ國脈ヲ維持スルヲ得タリ而シテ此ノ兵力ニ由テ人民ヲ制服シ其ノ執政等ヲシテ再ヒ勢權ヲ恢復スルコトヲ得セシメ内外危険ヲ臻レル困厄ノ際ニ於テ僅ニ能ク聯合王國ヲ再造スルヲ得タル是ニ於テ千八百四十九年三月四日始テ欽定憲法ヲ定メ立憲政體ノ主義ニ基キテ其ノ規模ヲ建テシテ計リシモ當時埃國ノ版圖内ニアル人民ノ種族ノ種々ナル其ノ文化ノ進歩ノ高低相均シカラザル之ヲ一ノ國會議院ニ合併セシムルコト甚タ困難ニシテ殆ト如何トモスヘカラサルノ狀アリ且新ニ匈牙利ヲ制服スルノ後ニシテ政權強盛ナル惟一ノ政府ヲ設クルノ必要ナリシトニ由テ終ニ此ノ憲法ヲ實行スル能ハサルコトハナレリ又舊來埃國ノ諸屬邦ハ「ハーブスブルグ」家ノ朝廷ノ下ニ之ヲ統合シタルヲ以テ後來ト雖其ノ政權ヲ舉ケテ全ク之ヲ埃帝ノ一身ニ統攬センコトヲ必要トナシタリシカ故ニ千八百五十一年八月二十日ノ勅令ヲ以テ諸大臣ハ只タ帝位ニ向テ責任ヲ有スルコトヲ定メ乃全年全日ノ閣令ニ由テ國會ハ以來國帝自家ノ參議員タルニ止マルトニ改メ全年十二月三十一日ノ勅令ヲ以テ終ニ曩ニ千八百四十九年ニ發表シタル憲法并ニ其ノ他ノ原則ヲ全ク廢止スルニ至リタリ尤モ千八百五十一年十二月三十一日ノ閣令ニ由テ直隸地方ニ限り土地ヲ所有スル世襲貴族其ノ他土地所有主并ニ營業者ヨリ成立スル委員ヲ設ケ之ヲシテ政ヲ議セシムルコトハナセリト雖其ノ實ハ全ク以前ノ專制君主政治ノ主義ヲ再興シタルモノニ過

キス斯ノ如キ組織ニ成リタル政府ハ其ノ器械的ニ唯命是レ奉スル官吏ニ由リテ以テ政權ヲ施行シ而シテ其ノ政ヲ爲スヤ思想上ニ於テハ全ク加特力僧侶ノ援助ニ依頼シ威力上ニ於テハ全ク強盛ナル軍兵ニ恃セリ

千八百五十八年ノ後ハ字魯士、巴華厘、巴丁、ウエルテンベルグ、「クールヘッセン」等ノ諸國ニ於テ從來施行シ來リタル專制政治ヲ舉テ殆ト皆廢滅ニ歸セシメタリ且ツ埃國ニ於テモ亦千八百五十九年ノ伊太利戰爭ニ因テ舊來專制政治ノ柱杖トシテ依頼シタル官權政治軍兵及ヒ僧侶ノ三原素モ全ク其ノ勢ヲ失フニ至リ其ノ財政及一般施政ノ危難ヲ脱シ國脈ヲ將ニ絶ヘントスルニ維持スルニハ唯タ民撰議院ヲ創設シ立憲政體ニ改ムルノ一事アルコトヲ悟リタリ是ニ於テ千八百六十年十月二十日、勅令ヲ以テ其ノ決議ヲ布告シ同六十一年二月二十六日布告スル所ノ法律ヲ以テ新制度ヲ施行センコトヲ試ミタリ

此ノ勅令ノ言フ所ニ據レハ以後埃國政府ノ有スヘキ政權ハ其ノ國內ニ統轄スル諸王國並ニ各州ニ於テ古來ヨリ保有スル權利ト平均ヲ保タンコトヲ要シ古來ヨリ其ノ風俗慣習ヲ殊ニセル州國ハ各一一定ノ制限内ニ於テ主權ヲ有セル特別ノ議會ヲ設ケ又之ヲ總テ中央ニ一ノ聯合全國議會ヲ設ケ以テ全體ノ立法ヲ議シ中央政府ノ制限ヲナサシメタリ而シテ憲法中國會ヲ大小二種ニ區別シ大國會ハ以テ全國ノ事ヲ議シ小國會ハ專ラ西方諸州ノ政ヲ議スヘキ

制ヲ設ケタリ然レトモ此ノ憲法ハ匈牙利之ヲ肯セス國會議員ヲ出スコトヲ拒ミタルカ爲ニ終ニ實行スルニ至ラスシテ止ミタリ然ルニ千八百六十五年九月廿日ニ至リ煥帝ハ更ニ人民ニ諸ラズ一片ノ布達ヲ以テ國會ノ召集ヲ停止シ再ヒ復タ國會ノ制限ヲ受クルコトナク專ラ其ノ政ヲ行ヒタリシモ千八百六十六年學國ト相戰フニ及テ大ニ敗啣シ終ニ「キユーニヒスグレッツ」ノ大敗ノ後「ブラーグ」ニ於テ和ヲ乞フニ至テ政治上ノ狀況ニ一變動ヲ與ヘ政府ハ漸ク意ヲ用キテ匈牙利トノ間ニ政權上ノ協約ヲ調ヘンコトヲ計リシカ匈牙利ハ國帝ヨリ出サント欲スル欽定憲法ニ換ヘテ其ノ舊來保有スル所ノ權利ヲ廢棄センコトノ議ヲ肯セス爾後論争久シク決セサリシカ奧國政府ノ希望ハ終ニ達スルコトヲ得ス匈牙利國ノ憲法ハ永久之ヲ保存シ且ツ千八百四十八年ニ於テ匈牙利ニ發布シタル法律ハ長ク之ヲ渝ユヘカラサルモノトシ同國ハ將來其ノ獨立ヲ維持スヘキ協約成ルニ至リテ兩國ノ間漸ク局ヲ平和ニ結ビタリ然レトモ此ノ協約ニ由テ再ヒ帝國境の利ニ二箇異種ノ原素ヲ出シ其ノ惟一ヲ失ハシメタリ即チ匈牙利ハ其ノ固有ノ國會及官省ヲ有シ而シテ奧國中央政府ハ「ライタ」河以北ノ諸州ノ爲ニ別ニ其ノ國會及官省ヲ設ケタリ又曩ニ停止シタル憲法ハ其ノ猶ホ行ヒ得ヘキ部分ヲ取り再ヒ之ヲ用フルコト、ナシタリスノ如ク全國ノ政、惟一ノ揆ヲ失フヲ以テ奧匈兩國ノ國會ニ於テ各委員ヲ撰擧シ相協議シテ外交及理財事務ヲ擧ケテ之ヲ二名ノ協同大臣ニ

委子之ニ由テ全國政治ノ合一ヲ得セシメンコトヲ計レリ然レドモ此ノ制度ノ果シテ行ハルヘキヤ否ヤニ至テハ今日ノ狀況ヲ以テ之ヲ察スルニ猶ホ未タ知ル可カラス但シ匈牙利人モ獨乙人「アユーメン」人モ久シク專制主義ノ繼續セラレンコトヲ希フモノナキハ勿論其ノ體裁ノ如何ヲ問ハズ速ニ一ノ立憲君主政ヲ施行シ民撰議院ヲシテ政權ヲ制限シ民權ヲ伸張セシメンコトヲ渴望セリ

(第六) 千八百四十八年ノ革命以降凡ソ獨逸諸國ニ於テ獨リ能ク當時ノ形勢ニ適應シ得ヘキ政體ハ立憲政體ニ在ルコト當時ノ輿論ナリシヲ以テ今又之ヲ獨逸聯邦政府ノ憲法ト爲サン「テ」試ミタリ即チ千八百四十九年三月二十八日ノ獨逸國憲法ナルモノハ此ノ精神ニ基キ成リタルモノニシテ凡ソ獨逸ノ版圖内ニ在ル諸國ハ奧國ヲ除クノ外悉ク之ヲ聯合シテ一帝國ヲ創設シ學國王ヲ以テ世々其ノ帝位ヲ襲ハシムヘシト爲シ各聯邦政府ハ國議院ニ其ノ代表者ヲ出シ又聯邦國民ニハ國會議院ニ其ノ代議員ヲ出サシメ共ニ立法ニ參議セシメントセリ然レトモ惜哉此ノ憲法ハ遂ニ實行スルニ至ラスシテ止ミタリ其ノ故ハ奧國ニ於テ斯ノ如キ計畫ヲ以テ舊來獨逸諸國ノ間ニ錯綜セル紛議ヲ解カンコトノ議ヲ拒ミ專ラ之ニ反對ヲ試ミンコトヲ決シ而シテ學國王モ亦斯ノ如キ事情ナルヲ以テ國會ヨリシテ捧ケタル帝冠ヲ受クルコトヲ肯ゼズ且ツ「巴華厘」ハ此ノ聯合ニ加ハルコトヲ拒ミタリ蓋シ當時ニ在リテ獨逸人

民ノ該憲法ヲ實施セント欲スル決心ハ未タ十分堅確ナラサシカ如シ且ツ各國政府ノ其ノ獨立ノ政權ヲ失ハンコトヲ恐レ封建ノ餘習ニ眷戀スルノ情ハ協同惟一ノ精神ヨリハ寧ロ強盛ナリシナリ爾後學國ハ獨リ稍狹隘ナル版圖ヲ以テ別ニ聯合立憲君主政體ヲ創立セント欲セシモ常ニ是等ノ事情ノ爲メニ妨ケラレ終ニ其ノ志ヲ達スル能ハサリキ千八百六十六年學國大ニ奧國ニ勝ツニ及ヒテヤ戰勝ノ勢ニ由テ從來奧國并ニ其ノ他諸政府ノ妨礙ニ勝テ終ニ翌年四月十六日ニ於テ北獨聯邦憲法發布スルコトヲ得タリ該憲法ニ於テ其ノ各國協同ノ政治ニ係ル事件ハ凡テ之ヲ學國王ニ委子學國王ハ世々聯合政府ノ頭領トナリ聯合國ノ軍兵ヲ指揮シ宰相ヲ任命シ國會ニ對シテ責任ヲ帶ヒ國議院ヲ置テ各國政府ヲシテ政ニ與ラシメ國會ヲ設ケテ人民ノ代議者ヲシテ立法ニ參シ政治ヲ監督セシムル等其ノ規模及ヒ體裁ニ於テ立憲君主政治ト稱スルヲ得ヘシ

以上掲載シタル所ノ結果ヲ舉テ之ヲ併論スルコト左ノ如シ
代議君主政即チ立憲君主政ハ今ヤ歐羅巴西部ニ於テ專ラ行ハレ荷モ文明ヲ以テ自ラ處ル諸國ニ於テハ其ノ民ノ私法上ニ屬スル權利ノミナラス亦其ノ政治上ノ權利ヲ有スルコトヲ認定シ代議士ヲシテ立法ニ參議セシムルコトトナレリ故ニ歐洲諸國ノ帝王ハ復タ舊來ノ如ク無限專制ノ政權ヲ有スルナク其ノ臣民ノ權利ニ由テ制限セラル、君主權ヲ有スルニ止マル

ノミ

然レトモ右各國ノ制度ハ各其ノ體裁ヲ均シクセス今左ニ之ヲ總論スレハ

英國ニ於テハ其ノ國王ハ強大ノ勢力ヲ有スル貴族ニ圍繞セラレ而シテ其ノ施行スル所ノ政務ハ實ハ概ネ議院ノ多數ト責任大臣トノ意ニ出テ國王一己ノ意志ニ出ルハ希ナリ而シテ大陸ニ於テハ全ク之ニ反シ斯ノ如キ強盛ナル威權ヲ有スル社會ナシ故ニ君主的ノ原素ニ對シテ直接ニ庶民的ノ原素之ニ當リ貴族ハ僅ニ只タ此ノ兩原素ノ間ヲ調和斡旋スルニ在ルノミ故テ以テ大陸ニ於ケル憲法上ノ爭論ハ亦此ノ三威力ノ互ニ相當ノ地位ヲ占メ全局ノ平均ヲ得ント欲スルニ在リ蓋シ甲ノ威力ハ獨リ其ノ權ヲ擅ニシ全ク乙丙ノ威力ヲ屈服セシメント試ミタルヤ少カラズ然レトモ常ニ他ノ一方ハ之ニ抗抵シテ互ニ相讓ラス之ヲ要スルニ歐洲大陸ノ立憲君主政ハ其ノ全體ノ各部ヲシテ皆相當ノ權力ヲ得セシメ以テ其ノ機關ノ組織ヲ成サント欲スルモノニシテ君主ハ其ノ政權ト威嚴トヲ全有シ貴族ハ其ノ位置ト權力トヲ保チ庶民ハ平安ト自由トヲ得ント欲スルニ在リ

大陸諸國殊ニ佛國及ヒ獨國ニ於テ君主ハ獨リ其ノ外面ノ體裁ノミナラス又憲法ノ組織ニ因テ施政上ノ實力ヲ掌握スト謂フ可シ故ニ其ノ施行スル所ノ政治ニシテ國民固有ノ性情ニ反對シ又ハ世界一般ノ時勢ニ背反シ以テ輿論ノ大勢力ヲ犯ストキハ之カ爲メ忽チ其ノ實權ヲ

失フコト有リト雖其ノ輿論ニ背反セス能ク之ニ投合スルニ當テハ其ノ勢力遙ニ貴族ヨリ強キノミナラス全國人民ヲ代表スル議院ヨリモ亦大ナリ蓋シ獨逸ノ貴族ハ其ノ自己ノ利益ヲ保護センカ爲メ常ニ國王ノ命令ニ服從シ佛國ニ於テハ皆已ニ勢力ヲ失ヒ竊ニ不平ヲ歎スルニ過キス而シテ議院ノ如キハ孰レノ國ニ於テモ亦其ノ主義トスル所敢テ自ラ政治ヲ行ハントスルニアラス唯タ政府ヲ制限セント欲スルニアリ但シ佛國ノ君主ハ寧ロ庶民多數ノ賛成ヲ得テ以テ己ノ勢力ヲ保護セント欲シ獨逸ニ於テハ官吏ノ組織ト軍兵トニ依頼ス而シテ此ノ官吏ノ組織ハ一ハ以テ國王ノ勢力ヲ助クト雖一ハ又國王ヲ制限スルノ具トナル然リ而シテ庶民社會ノ組織ニ至テハ何レノ國ニ於テモ未タ完備ナル制度アルヲ見ス方今僅カニ其ノ基礎ヲ設クルニ止マレリ若シ此ノ制度ニシテ完備スルニ至リ且ツ君主モ亦其ノ中古遺傳ノ空想ヲ止メ方今ノ政治思想ヲ以テ之ニ代ユルニ至ラハ舊來多年ノ間、君民間ニ蟠結セル論ハ解散シテ跡ナキニ至リ完全ナル制限君主政興ルヲ得テ以テ能ク全國ノ合一ヲ固クシ人民各部ノ自由ヲ得セシメ羅馬種族ノ人民ニ固有ナル政治上ノ思想ト日耳曼種族ノ民ニ固有ナル自由ノ精神トヲ調和協合スルコトヲ得ン乎

第二十二款

第二 立憲君主政治ノ誤解(フアルセ、ホールステールンゲン、ホン、デル、コンスチテューチヨ子ルレン、モナルヒー)

歐洲ニ於テ苟モ文明ヲ以テ自ラ任スル諸國ハ立憲君主政ノ組織ヲ取ラサルモノ無キニ至リ中古以來ノ遺傳ニ屬スル政治上ノ爭論ヲ調停シ邦國ヲシテ支離崩壞シ若クハ活潑ナル機動ヲ失フ弊害ヲ避ケシメ又傍ラ專制政治ニ陥ランコトヲ防キ并ニ其ノ時々政海ノ風波ト方向トニ適合シ殊ニ調和ヲ民權君權ノ間ニ得セシメン爲メ此ノ政體ヲ採用シ以テ其ノ目的ヲ達センコトヲ希望セリ而シテ立憲政體ノ原則ハ實際治國ノ道ニ於テ之ヲ明解シテ迷謬ナカラシメンコト最モ必要ナリトス

此ノ目的ヲ以テ今次ニ立憲政體ノ解釋ニ屬スル一二ノ迷說謬論ヲ論破セントス
(第一) 佛國ノ革命ハ其ノ始メ專ラ「ルーソー」ノ思想ヲ實行セント欲シタルニ在リ「ルーソー」ノ說ニ曰ク國家ニ二箇ノ威力アリ曰ク意思曰ク體力、意思トハ立法ノ威力ニシテ體力トハ意思ヲ執行スル威力ナリ所謂人民ハ思ヒ國君ハ行フト是ナリ此ノ主義ハ當時佛國ニ於テ立憲君主政治ノ原則トシテ賞讃セラレシ所ナリ

此ノ主義タルヤ人民ヲ以テ國君ト對立シ國君ヲシテ己レ嘗テ之ヲ知ラス且ツ更ニ其ノ議ニ

與カラサル人民ノ意思ヲ執行スヘキ臣僕ノ地位ニ立シムルモノニシテ是レ君主政治ノ意義ヲ廢スルニ外ナラス蓋シ佛王路易第十六世ノ廢弒、及ヒ約克弗共和政ノ興立ハ正ニ歴史上自然ノ運命ニ成レル事件ナリト謂フト雖亦焉ンゾ此ノ主義ヲ行ヒタル結果ニ非ト謂フテ得ンヤ

若シ此ノ主義ノ如ク君主ハ更ニ立法權ヲ有セス而シテ唯タ之ニ從屬スヘキ地位ニ立ツモノト爲サス以テ立法權ト對等ノ地位ヲ有スルモノナリトセン乎果シテ然ラハ國家ノ組織上最モ必要ナル惟一ヲ失ヒ一體二頭ノ妖物ヲ作爲シ政權此レヨリ相分レ其ノ極國家ヲシテ支離滅裂ナラシムルニ非スンハ則チ君主又ハ人民ノ一方ニ再ヒ其ノ權利ヲ集合シテ止マンノ

（第二）此ノ迷妄主義ニ反シテ「シエー」ハ其ノ憲法ヲ制スルニ當リ君主ニ與フルニ無爲ノ地位ヲ以テシ之ニ由テ以テ立憲政ノ主義ヲ達セント欲セリ而シテ當時那勃翁ハ有名ナル語ヲ以テ此ノ新說ニ向ヒ再ヒ削除スヘカラサル燒印ヲ捺シ以テ其ノ迷謬取ルニ足ラザルコトヲ證明セリ曰ク卿ハ苟モ多少ノ才識ヲ備ヘ多少ノ榮譽ヲ知ル者ニシテ豊肥ナル豚豚ト一般、默々トシテ徒ラニ數百万金ノ祿ヲ食ムヘシト信スルヤト

（第三）立憲政體ノ主義トシテ世人屢稱スル所ノ說アリ曰ク君主ハ國ニ君臨シ其ノ政ヲ爲スノ權ヲ有スト雖之ヲ施行スルノ權ハ其ノ宰臣ニ屬シテ君ニ屬セサルナリト斯ノ如キ事實ハ各國ニ於テ舊來往々行ハレタル所ニシテ今日ト雖亦之ヲ實際ニ見ルノ國少カラサル可シ然レトモ直チニ之ヲ國家ノ原則ト爲シ規模ト爲スニ至ラハ畢竟君主政治ヲ止メ共和政治ニ移ルモノト謂ハサル可カラス今若シ其ノ權ヲ有スル人ニシテ永久ニ之ヲ施行スル權ヲ止ムルトキハ其ノ人有スル所ノ權利ハ實際ニ於テ之ヲ失ヒタルモノト謂ハサル可カラス而シテ新ニ此ノ權施行ノ權利ヲ得タルモノハ從テ又漸ク前キノ權利者ノ手ニ遺留シタル空殼即チ其ノ名義ヲモ得ルニ至ランコト自然ノ勢ナリ昔シ中古ノ世ニ於テ土地所有ノ權ハ其ノ名義ニ於テ君主ニ屬シタルニ係ラス實際施行ノ權ハ其ノ臣僚ト直隸農夫トノ手ニ委子タリ始メ此ノ土地ハ其ノ使用權ノミヲ舉ケテ與ヘタリシニ拘ラス年々經ルニ從テ君主ハ終ニ其ノ元所有主タル名義ヲモ失フニ至リタリシニ非スヤ又古「カロリソグ」家ノ「メロキソグ」朝ノ執權トシテ其ノ政權ヲ攝行スルニ當リテヤ終ニ「メロキソグ」家ノ王位モ亦從テ「カロリソグ」家ニ移リタリシニ非スヤ是ノ故ニ若シ政治ノ實權ヲ舉テ君主ノ位ヨリ分離シ之ヲ宰臣ノ手ニ歸セシムルトキハ其ノ國ノ政治ハ實際ニ於テ共和政ノ組織ニ歸シタルモノニシテ君主政ノ組織ハ全ク空虚ナル形體ヲ餘セルモノト謂ハサル可カラス故ニ實權アリ活動アル君主ヲ置カスシテ唯タ國家ノ上ニ空虚ノ表位ヲ設クルモノハ此レ智術政治ト名ク可ク

君主政治ト稱スルヲ得サルナリ

(第四) 以上ノ理由ナルヲ以テ間、亦世上ニ行ハル、立憲君主政ノ君主ハ其ノ英邁ナルト暗庸ナルト聰明ナルト魯鈍ナルト善正ナルト暴惡ナルトハ更ニ之ヲ問フヲ要セス皆同一ナリトノ説ハ大ニ理ニ背キタルモノト謂ハザル可カラス抑、立憲君主政體ナルモノハ其ノ利君主ヲシテ成ル可ク其ノ惡ヲ爲スヲ得サラシメ而シテ成ル可ク其ノ善ヲ爲サシメンコトヲ希望スルニ在リ唯タ此ノ主旨ニ由リ以テ君主ヲ制限スルモノナリ君主ハ尊シト雖亦人間ニ外ナラサレハ若シ之ニ非常ノ權力ヲ與ヘ更ニ制限スル所ナクンバ其ノ弊終ニ其ノ良徳ヲモ廢敗セシムルニ至ル可キヲ以テ之ヲ制限スルモノニシテ決シテ君主ヲ以テ宰臣掌理ノ玩弄物トナサント欲スルノ意ニ非ス故ニ立憲政體ハ其ノ最高最貴ノ位ヲ有スル君主ヲシテ人生固有ノ威徳ヲ失ハシメント欲スルモノニ非ス蓋シ人生固有ノ威徳ヲ失シメント欲スルハ是レ人ノ天性ヲ奪フニ外ナラザルナリ又立憲政體ハ其ノ最高ノ政權ヲ掌握スヘキ君主ヲシテ最少ナル政治ノ自由ヲ有セシメント欲スルモノニ非サルナリ若シ君主ニシテ其ノ才徳ヲ有スルヤ否ヤ又ハ國民ノ愛敬ニ對シテ之ニ酬ヒ之ニ答フルノ道ヲ知ルニ足ルヤ否ヤ更ニ之ヲ問フヲ要セスト云ハ、斯ノ如キ君主ニ對シテ國民ノ之ヲ親愛シ之ヲ敬崇シ之ヲ信奉センコトヲ望ムヲ得ヘキ乎故ニ此ノ迷妄ナル原則ノ結果ヲ擧テ之ヲ論スルトキハ其ノ極昏愚柔弱

ナル君主ハ自ラ威權ヲ有スルコト最モ少ナキヲ以テ最モ能ク立憲君主國ノ君タルニ適スト謂ハザル可カラズ苟モ立憲政治ヲ望ム國民ハ規模整備シ精神高尚ナル政體ヲ欲スルモノナルニ今上ニ擧グルカ如キ體裁ヲ以テ果シテ立憲政體ノ本色トナサンニハ是ヲ以テ能ク其ノ望ミヲ充タスニ足ル可キカ

世人往々此ノ説ヲ保護スルカ爲ニ英國ノ憲法ヲ引證スルモノアリ然レトモ英國ニ於テモ亦其ノ君主ノ人ト爲リハ更ニ其ノ關スル所ニ非スト爲スカ如キハ未タ曾テ之レ有ラサルナリ

(第五) 從來世人ノ最モ稱用スル「チエーノ」原則ニ曰ク君主ハ統御スル者ナリ而シテ政ヲ治ムル者ニ非スト然レトモ此ノ説モ亦以テ立憲政體ノ正解ト爲スニ足ラザルナリ而シテ此ノ熟練ナル宰相モ亦終ニ自ラ此ノ主義ヲ其ノ王「路易ヒーリップ」ニ向テ行フコトヲ得ザリキ公王ハ獨リ統御スルノミナラズ亦自ラ政ヲ爲スニ於テ能ク其ノ望ヲ達シタリ且ツ之ニ次テ國帝ノ位ニ即キタル那勃翁ハ恰モ自ラ其ノ政務ヲ執リタルニ由テ以テ人民ノ心ヲ得タルニ非スヤ

統御ト云ヘハ君主ノ形式上ニ係ル君長權及ヒ至尊權ヲ指シ政ヲ治ムルト云ヘハ實際施政上ノ主宰ヲ謂フモノニシテ此ノ兩權トモ必ス國君ノ位ニ屬セスンハアルヘカラサルモノナリ

而シテ殊ニ政ヲ治ムルノ權ハ實際上最モ切要ノ權ナルハ論ヲ俟タス若シ之ヲ除クトキハ君主權ノ精神ヲ奪ヒ去リタルモノニ均シ(其ノ實權ヲ奪ヒ只タ形式上ニ於テ政ニ參セシムルモノハ是レ畢竟政治ニ參與セシメサルモノト爲スニ同シ)

尤モ國政ヲ治ムルト單ニ政治ヲ執行スルトハ之ヲ混同セサルヲ要ス國君ヲシテ總テ些末ノ政務ヲモ悉ク之ヲ執ラシメント欲スルハ得テ望ムヘカラス且ツ假令ヒ自ラ之ヲ爲シ得ルニモセヨ國君ヲシテ常ニ自ラ其ノ任ニ當ラシムルハ治國上ニ於テ更ニ其要用ヲ視サルナリ

(第六) 其ノ他又民主權ノ思想ヲ以テ立憲政體ヲ解釋セントスルモノアリ其ノ說ニ曰ク君主ハ多數人民ノ意思ニ由テ國政ヲ治ム可キモノナリト此ノ說ハ明カニ君主政體ヲ去テ庶民政治ニ移ラントスルモノナリ何トナレハ庶民政治ナルモノハ多數人民ノ國命ヲ執ルヲ謂フニ外ナラサレハナリ然リ而シテ君主政治ノ最モ利益アル點ハ亦少數ノ民ヲシテ其ノ自由ヲ保護スルヲ得テ多數ノ抑壓ニ由テ其ノ權利ヲ失フ等ノコトナカラシムルニ在リ若シ君主ハ多數人民ノ委任代理者タリ臣僕タルトキハ此レ國命ヲ執ルモノハ即チ多數人民ニシテ已ニ君主政治ノ範圍ヲ去テ庶民政治ノ範圍ニ移レルモノナリ之ヲ詳言スレハ國ノ上位ニ在ル君主ハ只タ形式上ニ止マリテ更ニ獨立ノ權利ヲ有スルナク多數人民ノ陰ニ其ノ實權ヲ保有シテ自ラ表面ニ立タ、サルヲ自己ノ便宜ト爲ス間ハ僅ニ能ク其ノ虛位ヲ保チ得ルモノタルニ外

ナラス

第二十三款

第三 君主政治ノ原則及立憲君主政治ノ意義(ダス、モナルヒーセ、プリンチープ、ウン
ト、デル、ベグリッフ、デル、コンスチテューチヨ子ルレ、モナルヒー)

立憲君主政治ハ必ス君主政治ノ實ナクンバアルヘカラス其ノ君主ニシテ徒ニ虛位ヲ要スルカ如キハ是レ立憲君主政治ノ意義ニ戾ルモノナリ

抑、君主政治トハ總テ國家ノ主權及威力ヲ舉テ之ヲ君主ノ一身ニ統合スルヲ謂フ而シテ其ノ神道政體ト相異ナル所以ハ君主政ニ在テハ國家統率ノ權ヲ君主自己ニ歸スト雖神道政體ニ在テハ國家ヲ統率スルモノハ神ニシテ一ノ公侯ヲシテ之ヲ代理セシムルノ點ニ在リ又共和政治庶民政治及貴族合トノ差ハ君主ハ其ノ臣民ニ屬セス全ク獨立不羈ナル政權ノ占有者ナルモ共和政治ニ在テハ其ノ少數貴族ニセヨ又ハ庶民ノ多衆ニセヨ國家統率ノ主權ハ全ク是レ等ノ手ニ在リテ主長及ヒ大頭領ハ其ノ代理者又ハ臣僕タルニ過キサルニ在リ即チ君主政體ニテハ其ノ主權ヲ最モ高貴ナル一人ニ歸着シ共和政治ニ於テハ之ヲ多衆ニ歸着ス是ノ

故ニ君主ハ國家ニ附着シタル高貴ノ公體ナリ

蓋シ君主政治ノ意義ヲ確定セント欲セハ二様ノ區別ヲ明晰ニセズンバアルベカラズ而シテ此ノ區別ハ君主政治ニ於テ必要缺クベカラザルモノナリ

(第一) 君主ヲ以テ政權ノ代表者及司掌者トナシ其ノ地位ヲ敬崇スルコトヲ要ス

(第二) 君主ハ國家最上ノ主權及ヒ其ノ他ノ政權ヲ一身ニ集合セズンバアルベカラズ抑シテ法律ヲ立テ及ヒ此ノ法律ノ制裁ヲ實施スルハ君主ニ屬スル職務ノ兩極トモ云フ可シ

(甲) 上ノ第一ニ揚グル君主ノ意義ハ左ノ制限ヲ受容スルモ妨ケナシ

(伊) 君主ハ立法ノ事ニ關シ人民各部ヨリ出ス所ノ代議員ニヨリテ制限ヲ受クルコト

(呂) 君主ハ日常其ノ政權ヲ行ヒ職務ヲ爲スニ宰臣ノ參與ヲ受ケザル可カラズ蓋シ人民代議ノ地位ハ國家ニ於テ素ヨリ卑カラスト雖君主ハ之ニ比スレハ猶ホ一層高貴ノ地位ヲ有シ而シテ憲法上ニ於テモ亦君主有スル所ノ意志ハ即チ國家ノ意志ニ外ナラズシテ更ニ專恣利己ノ我意ニ非ストナシ之ヲ以テ其ノ職務ノ執行ヲ容易ニシ其ノ主權ノ失敗ヲ豫防セ

リ

然レトモ今下ニ掲グル條件ノ如キハ之ニ反シテ君主ノ意義ニ於テ容レザル所ナリ

(伊) 君主ハ一木偶又ハ單ニ形式上ニ止マル地位ニシテ更ニ生活有爲ノ人ニ非ストナスコ

ト

(呂) 君主ハ代議員及ヒ宰臣ニ從屬シ己レ欲セサル所ノ意思ヲ言ヒ及ヒ己レ欲セサル所ノ事ヲ爲サ、ル可カラザル義務ヲ有ストナスコト、是レ已ニ上ニモ言ヘルカ如ク國君ハ其ノ一身ニ政權ヲ統有スルヲ以テ又其ノ身體上ニ屬スル固有ノ權利ト義務トヲ有セズンバアル可カラズ君主ノ身ハ何事ニ依ラス全ク國家ニ屬ストハ謂フ可カラズト雖他ノ國民ニ比スル片ハ其ノ身最モ國家ニ近接シ概チ其ノ組織上ニ密着シタルモノト謂フ可シ君主ト雖亦他ノ一人ノ如ク夫タリ父タリ教社ノ社員タリ且ツ或ハ學者又ハ詩人タルコトモアルヘシ然レトモ其ノ公共ノ事ニ對スルヤ其ノ意思ハ即チ國家ノ意思トナリ政權ヲ以テ之ヲ實施ス可シ凡テ君主政體ノ國ニ在テ其ノ君主ノ國事ニ對シテ用フル注意ノ深淺ト忍耐ノ厚薄ハ常ニ至大ノ關係ヲ有スルモノナリ已ニ君主ニ與フルニ至高ノ政權ヲ以テスト云ヒ而シテ此ノ政權ヲ與フルカ爲メニ他ノ後見者ノ權内ニ屬セサル可カラスト云ハ、是レ矛盾ノ甚シキ者ト謂フ可シ國會ハ獨リ自ラ法律ヲ作ル能ハズ君主之ニ制可テ與ヘ以テ法律ノ効力ヲ具ヘ宰臣ハ其ノ政治上ノ決議ニ權力ヲ與フル能ハス君主之ニ權力ヲ附シテ以テ始メテ其ノ効ヲ有ス宰臣ハ君主其ノ意思ヲ行フカ爲メニ缺ク可カラサル機關ナリト雖元ト唯タ其ノ輔佐タルニ過キサルナリ

是ノ故ニ憲法ニ於テ他ノ各機關ノ賛成又ハ參與ヲ得ルヲ必要ト爲ス事件ノ外ハ君主タルモノハ自己ノ意思ヲ發示シ及ヒ之ヲ施行スルニ於テ十分ナル自由ヲ有スヘキハ當然ナリ夫レ立憲君主政治ノ他ノ尋常ノ君主政治ト異ナル所以ノ者ハ其ノ君主ハ獨リ自ラ法律ヲ發布シ及ヒ政權ヲ施行スル能ハス必ズ議院ノ共議賛成ヲ得又ハ宰臣ノ參與ヲ要スルニ在ルナリ然レトモ是ヲ以テ政府主權ノ歸スル所ハ議員又ハ宰臣ニ在リト謂フ可カラサルナリ

若シ又議員多數ノ賛成ト宰臣ノ參與トハ如何ナル場合ニ於テモ之ヲ要セサルヘカラス若シ其ノ賛成ト參與トヲ經サレハ國君ノ行爲ハ其ノ効力ナキモノト爲ストキハ是レ實ハ議員政治又ハ宰臣政治ニシテ大ニ立憲君主政治ノ原則ニ反ルモノト謂フベキナリ今立憲君主政治ノ諸國ニ在テハ實際議員ノ賛成ト宰臣ノ奏議トニ由テ君主ノ行爲ヲ定ムルヲ常トナスト雖是レ君主之ニ因テ國家ノ輿論ヲ知察スル方便ニ屬スルモノニシテ若シ君主タル要重ノ職ヲ竭シテ憾ナキヲ欲スルニハ國家ノ幸福ヲ熟計スルカ爲メ十分ナル調査ノ實權ヲ有セスンハアル可カラサルナリ

故ニ立憲政治ノ君主ハ此ノ範圍内ニ在テ十分ナル自由ノ運動ヲ爲シテ可ナリトス若シ自己ノ意思ヲ發示スルヲモ制限セサル可カラスト爲スカ如キニ至テハ是レ甚タ其ノ當ヲ得サルノ言ナリ尋常ノ人ト雖苟モ有爲ノ才識ヲ有スル者ハ自己ノ意思ヲ發言スルハ其ノ已ム可カラサル天然ノ需求ニ非スヤ政界上他ニ顧慮スル所ノ事情アリテ國君其ノ意思ヲ十分ニ發示シ且ツ公ニ發言スルヲ避クルカ如キハ間之レ無キニ非スト雖其ノ自由ノ言語ヲ禁シ又ハ強テ其ノ好マサルコトヲ言ハシムルカ如キハ何人ト雖此ノ如キ權ヲ有セサルナリ

又君主ハ躬自ラ我カ國內ノ狀況ヲ見聞シ檢査シ又自ラ人民需求ノ在ル所ヲ察シ自ラ一般公事ノ現情ヲ檢シ全國ノ利益及ヒ安樂ニ必要ナリト認ムル事ハ進ンテ之ヲ行ヒ必要ナル法律ノ編纂ト行政ノ施行トニ付テ命令ヲ下スヲ掌ル古來名君英主ノ其ノ德ヲ施シ其ノ功ヲ爲スヲ得タルハ此ノ權有ルニ由ルモノニシテ又是レ君主當然ノ職權ナリ而シテ彼ノ立憲君主政體ハ其ノ君主ニ對シ斯ノ如キ權利ノ範圍ヲ十分ニ與フルモノニシテ更ニ之ヲ奪ハサルナリ

(乙) 第二ノ原則ヲ以テ之ヲ云ヘハ君主ハ最高ノ主權ト完全ノ政權トヲ有セサル可カラズ彼ノ英國ニ於テ其ノ君主ニ與フル所ノ權ハ大陸ノ君主國ニ於テ未タ嘗テ見ル許多ノ制限ヲ受ルニモ拘ラス尙ホ此ノ原則ヲ採用セリ今請フ之ヲ細説セン

(伊) 夫レ君主ノ位ハ國家ノ主權ヲ統一シ及ヒ充備スル所ナリ單ニ各種ノ主權ヲ集メテ之

ヲ堆積スル所ニ非ザルナリ而シテ彼ノ專政君主政治ナルモノハ妄ニ此ノ主意ヲ擴張シテ他ノ政治上ノ機關ニ更ニ獨立ノ權ヲ與ヘス只タ己ノ意ニノミ是レ服從セシメント欲シ及ヒ其ノ君主權ノ施行上ニ於テ必要ナル他ノ機關ノ參與ヲモ許サズ且ツ一個人及ヒ全社會ノ應ニ保有シ得ヘキ自由ヲ與ヘサテント欲スルニ在リ即チ凡テ權利ハ己レ獨リ之ヲ掌握シ他ハ只タ己レ臨時ニ與フル所ノ恩賜ニ由テ僅ニ其ノ權利ヲ保タシメント欲スルノミ之ニ反シテ立憲君主政治ハ上ニ云ヘルカ如キ制限ヲ容レ各機關ノ權利ト臣民ノ自由トヲ認定スルモノナリ

(呂) 君主ハ立法ノ事ニ於テ豈唯タ之ニ與カルノミナランヤ其ノ意義上ヨリ之ヲ言ヘハ則チ必ス之ニ與ラザルヘカラザル權ヲ有シ形式上ヨリ之ヲ言ヘバ則チ常ニ裁可ノ權ヲ有ス即チ法案草定ノ件ト裁可ノ件トハ之ヲ專有シ且ツ之ヲ發布スルニ方リ必ス其ノ名ヲ以テスルモノナリ

若シ今此ノ主義ヲ以テ立憲君主政體ニ與ヘザラン乎凡ソ此ノ部ニ屬スル君主政ノ原則ハ共和政的ノ思想ノ爲メニ其ノ性質ヲ損フニ至ル可シ何トナレハ是レ最高ノ政權ハ既ニ君主ノ手ニ在ラスシテ却テ民撰議院ノ手ニ移リ君主ハ立法上ノ範圍内ニ於テ業ニ已ニ議院ノ臣民タルニ外ナラサルノ實アレハナリ

故ニ議院ノ權利ハ君主政治ノ國ニ在テ唯タ共議參與ノ權利タル可キモ決シテ獨占ノ權利タルヘカラサルナリ

(波) 主權君主政ニ在テ政治ノ施行ハ君主之ヲ統率シ其ノ名ヲ以テ專ラ之ヲ行フ

立憲君主政ノ宰臣又ハ其ノ他ノ官吏ハ自己ノ名ヲ以テ政ヲ爲スヲ得ス然レトモ亦國王ハ宰臣ノ參與ヲ得スシテ獨リ恣ニ政ヲ爲ス能ハス而シテ宰臣ノ威力及ヒ政權ハ總テ君主ノ有スル威權ノ溢レタルニ外ナラス又其ノ君主ニ藉ル所ノ宰臣ノ威權ハ彼ノ中古ノ封建制度ノ時ニ於ケルカ如ク自己一身ノ權トシテ己レ之ヲ利用スルガ爲メニ非ズシテ國身諸官ノ惟一ヲ保護セント欲スルカ爲ナリ而シテ君主ハ其ノ宰臣ニ對シテ建議及ヒ裁可ノ兩權ヲ有シ建議權ハ宰臣モ亦其ノ職、國政ヲ執ルニ在ルヲ以テ之ヲ行フヲ得ト雖裁可權ハ常ニ君主一人ニ屬ス之ヲ要スルニ宰臣ハ其ノ自由ノ意思ヲ以テ君主ノ命令ヲ參議スル權ヲ有スルニ止ルノミ

向キニ中古ノ代ヨリ定論トナリタル原則アリ凡ソ政治上ニ係ル主權並ニ威力ハ上ヨリ出テ遞次ニ下ニ之ヲ附與スルモノニシテ下ヨリ起リテ上ニ溯ルコトナシ又其ノ他ノ政權モ中央ヨリ漸次其ノ周圍ニ及ヒ周圍ヨリシテ中央ニ至ルコトナシト是レ現今ノ立憲政ニ於テモ猶ホ認定スル所ナリ然レトモ此ノ政權ヲシテ各個獨立ノ部局ニ分裂セシムル中古ノ

制度ハ既ニ廢止セラレテ世復タ之ヲ用フルコトナシ

(七) 國家ノ諸機關ハ總テ君主主宰ノ下ニ屬セリ何ゾ管タ其ノ職權上ニ在テ全ク君主ノ意思ニ服從スヘキ義務アル機關ノミト謂ハンヤ夫レ君主其ノ政ヲ爲スニ必ス共議ヲ要スルミニステル宰臣ノ如キ又ハ全ク君主命令ノ範圍内ニ屬セサル職權ヲ有スル裁判官ノ如キ又ハ特立不羈ノ政權ヲ有シテ君主ト共ニ法ヲ議スル立法議院ノ如キ亦皆君主主宰ノ下ニ屬スルモノナリ故ニ人身ノ頭首ハ四肢五官等ニ對シテ主宰ノ位ヲ有スルト一般君主ハ亦國身上ニ於テ最高ノ地位ヲ有スルモノナリ

立憲君主政治ノ意義ハ獨リ之ヲ英國憲法ノ規模ニ依リテ定ムヘカラス立憲君主政體ハ敢テ二種ナシト雖其ノ國民ノ風俗及ヒ沿革ノ差ニ由テ自ラ其ノ風樣ヲ異ニセサルコトヲ得ズ立憲君主政治ノ性質タルヤ元未必定的ニシテ必定的ニ非ス能ク各種ノ情況ト需求トニ應シテ之ヲ斟酌スルヲ得ルモノナリ

立憲君主政治ノ意義ニ必要ナル條件ハ左ノ如シ

(第一) 立憲政治ノ君主ハ憲法ニ據テ存スル地位及ヒ權力ヲ有ス即チ立憲政治ノ君主ハ其ノ憲法ノ外ニアラス又其ノ憲法ノ上ニアラス君主ヲ制限スルニ憲典ヲ以テスルハ立憲君主政治ノ名アル所以ナリ蓋シ憲法ノ成文律タルト否サルトハ立權政體タルニ於テ全ク顧ミサル

所ナリト斷言シ難キモ亦更ニ其ノ意義ノ消長ニ關係ヲ有セサルナリ

立憲政體ノ本國ナル英國ニ於テ各種ノ國律及ヒ從來國民ニ許シタル自由ヲ認定シタル法規アリト雖亦未タ曾テ今日予輩ノコンスタチューション憲法ト稱スル國家全般ノ組織ニ就テ順序ヲ逐ヒ一定シタル原法ヲ有セサルナリ即チ英國ノ法ハ時々政治上ニ起リタル世論ニ因リ又ハ一定ノ事件ニ於テ人民ノ熱望ニ從ヒ多年ノ沿革ヲ歷テ漸ク成立シ今ノ稱スル憲法ハ立國普通ノ論理ニ基キ一時ニ全部ヲ網羅スヘキ法典ヲ制スルナリ

故ニ以上兩様ノ體裁ハ與ニ立憲政治ヲ立ルニ適セリ既ニ上ニモ言ヘルカ如ク成文律ヲ以テ之ヲ明書スルト否サルトハ更ニ其ノ性質ノ消長ヲ爲サレトモ國民ノ政權ヲ法律上ニ明記シ之ヲ確認スルハ大ニ利益アルモノナリ尤モ之ヲ法律上ニ明記シ之ヲ確認シタリトテ上ノ既得權ニシテ該法律ニ揭ケサルモノハ是ヲ以テ廢止シタリト認ムルヲ得ス今日人民ノ權理思想ハ昔日ノ如ク民ノ慣習ト直接ニ相伴ハサレハ民ヲシテ權理ヲ鞏固ニシ明瞭ニセシムル爲ニ成文律ヲ以テ之ヲ定メンコト最モ人望ニ適スルモノト謂ハサルヘカラス

(第二) 立憲政治ノ君主ハ其ノ憲法上ニ屬スル規程ハ固ヨリ論ヲ俟タズ其ノ他國家ノ法律ニ對シ凡テ之ヲ崇敬スヘキ義務アルモノナリ君主ハ其ノ臣民ニ對シテ只憲法上及ヒ法律上ノ服從ヲ求メ得ヘキナリ

(第三) 君主ノ立法權ハ其ノ議院(人民各社會ノ代表者)ト協同シテ之ヲ有スルモノナルヲ以テ苟モ法律ヲ發セント欲スルトキハ獨リ議院ノ參議ヲ得ルノミナラス猶ホ亦其ノ認可ヲ得サルヘカササルナリ

(第四) 豫算ヲ調製シ租稅ヲ定ムルニハ必ス代議員ノ參議及ヒ認可ヲ要ス

(第五) 法政ヲ施行スルニハ君主必ス其ノ宰臣ノ參議ヲ要ス故ニ其ノ命令指揮ニシテ他ニ對シテ効力ヲ有セシムルニハ其ノ署名ノ外尙ホ一宰臣ノ副署アルヲ要ス

(第六) 宰臣及ヒ其ノ他臣僚ヲシテ職務上責任ヲ負ハシムルハ憲法上ニ於テ缺ク可カラサル件ナリ

(第七) 司法ノ事ヲシテ獨立ノ職權ヲ有セシメ及ヒ裁判ニ係ル事件ハ行政ヲ司ル內閣ニ於テ之ヲ行フヲ禁スルハ君主ノ政權ヲ制限スルニ必要ナルモノニシテ亦甚タ臣民ノ權利ヲ保護スルニ切用ナルモノナリ

(第八) 各社會并ニ各個人民ニ獨リ私法上ノ權利ノミナラス公法上ノ權利ヲモ亦之ヲ有セシムルコト要用ナリ而シテ其ノ權利ハ猶ホ君主ノ權ト均シク毀傷ヲ受ケサルヲ要ス故ニ立憲君主政治ナルモノハ唯々自由ノ國民ニ於テ行ハル可キ政體ト謂ハサル可カラス

第二十四款

合併政體(ツージンメンゲゼツテ、スターツホルム)

以上論辨セル政體ハ唯々單一ノ國家ニ屬ス而シテ世亦合併政體ナルモノアリ即チ國內ノ各部ハ再ヒ國家ヲ組織シ又ハ少クモ國家様ノ體裁ヲ備フルモノアリ斯ノ如キ國ニ在テ其ノ各部ノ組織スル國家ハ畢竟其ノ至合併國ノ組織ニ均シキヲ以テ此ノ點ニ於テハ實ハ異ナル所アルコトナシ即チ至合併國ト各部國ト主國ト與國トハ與ニ同一政體ニシテ例令ハ至合併國ト主國ト君主政治又ハ共和政治ナレハ其ノ各部國及與國モ君主政治又ハ共和政治ナルカ如シ

然レトモ合併國ト各部國ト常ニ必シモ同一ノ政體ヲ有スルニモ非ス千八百十五年ニ組織セラレタル獨逸聯邦ハ各特立國ノ君主聯合シテ政權ヲ專握セシモノニシテ別ニ代議院ヲ設ケス而シテ各部國ニ於テハ當時已ニ立憲君主政治ヲ行ヒタリ又瑞西ノ各州ハ專制共和制ニシテ連合國ハ代議共和制ヲ行ヒタリ又英國ハ立憲君主政治ノ組織ナレトモ亞細亞ニ於ケル其ノ屬國ハ猶ホ專制政治ニ屬シ其ノ保護ノ下ニ屬スル半獨立ノ諸國ハ共和制ヲ行フ等是ナリ苟モ合併國ト各部國ノ間ニ於ケル言語人情風俗慣習(ナチヨナリテト)開化ノ大小及ヒ

歷史上ノ關係ニ於テ互ニ其ノ趣ヲ同フセサルトキハ其ノ政體ノ差異アルハ至當ナリト雖若シ各種ノ事情ニシテ全ク相均シキヤ猶ホ獨逸聯邦ニ於ケルカコトキ國ニ在テ政體ノ差異ヲナサンハ其ノ自然ニ背キ且ツ均合調和ヲ缺クモノナリ

凡ソ合併政體ニ於テハ其ノ中ニ一ノ反性ヲ有スルヲ必要トス即チ合併國若クハ主國ノ政權ノ度ト各部國若クハ與國ノ獨立ノ度ト是ナリ

右ノ關係ヲ區別スレハ次ニ掲グル要點ノ如シ

(第一) 政權ヲ有スル主國ニシテ其ノ服從スル與國ニ對スル關係

此ノ類ノ關係ハ歐羅巴諸國ノ亞細亞及亞非利加ニ於テ有スル屬地ノ關係ニシテ主國ハ自由ノ政體ヲ組織スルモ與國ハ更ニ自由ヲ有スルコトナク他ノ政權ノ下ニ服從ス故ニ兩國間ノ反性ハ其レ此ノ如ク極メテ著シク而シテ或ハ其ノ間ニ生スル爭論ハ全ク主國ノ權力ヲ以テ與國ヲ制伏シテ之レヲ定メント欲ス

(第二) 宗主國ノ屬國ニ對シ保護國ノ被保護國ニ對スル關係

斯ノ如キ國ニ在テ屬國又ハ被保護國ハ其ノ宗國若クハ保護國ニ對シテ多少ノ獨立ヲ有スルコト亦之レ無シトセス中古ニ於テ獨逸ニ屬シタル羅馬國及ヒ現時土耳其ノ屬國ノ如キ是レ皆屬國ヲ以テ組織シタル合併國ノ例ナリ然レトモ現今行ハル、國家ノ組織ニハ斯ノ如キ封

建制ヨリハ寧ロ保護國制ノ能ク適スルヲ見ルナリ然リ而シテ保護國ノ制ハ其ノ國力ノ相違甚タ大ナル國ノ間ニ在テノミ行ハルヲ得ヘク且ツ自由ノ國民ニ在テハ決シテ被保護國タルコトナカルヘシ但シ被保護國ノ例ハ來因聯合國ノ那勃翁第一世ノ保護ニ託シタルトキ英國ノ「ヨーニセン」諸島ニ於ケル歐羅巴諸國ノ「モルダウ」及ヒ「ワラシヤイ」ニ於ケルカ如キモノ是ナリ

(第三) 上ニ云ヘル組織ト甚タ相似タリト雖主國ノ愛憐ニ由テ幾分カ緩和且ツ改良シタル關係ヲ有スルモノアリ即チ本國ト其ノ殖民地ノ猶ホ未タ全ク獨立スルニ至ラサルモ已ニ國家様ノ規模ニ因テ組織シタル國ノ間ニ於ケル關係是レナリ斯ノ如キ殖民地ハ其ノ内政ニ於テハ已ニ全ク獨立スルモ其ノ外交上ノ事ニ於テハ猶ホ久シク本國ノ保護ヲ要スルヲ以テ此ノ關係ニ在テハ之ニ從屬セサル能ハス

(第四) 又聯合國及ヒ合位國ノ組織アリ此ノ組織ハ連合シタル邦國ヲシテ其ノ主權及ヒ獨立ヲ全有セシメ唯タ其ノ連合全體ノ上ニ係ル協同ノ事ニ於テ必要トナス部分ニ限り之ヲ制限スルヲ常トス即チ其ノ合併シタル邦國ハ各國家ノ組織ヲ爲スト雖其ノ連合全體ハ未タ國家ノ組織ヲナス故ニ此ノ政體ハ甚タ不完全ナル協同國ニ行ハル所ニシテ專ラ外交上ノ事ニ關シ一國ノ體裁ヲ爲スニ過キサルモノニシテ未タ眞ノ國家ニ非ス唯タ國家集合ノ一體ニ

過キサルノミ立法行政司法ノ事ニ關シテ亦必要ナル機關ノ設ケアルコトナシ蓋シ國際法上ノ連合ト國法上ノ立國トノ間ニ躊躇シテ未タ其ノ孰レニ屬スルヲ知サル進化未完ノ政體ナリ。

此ノ如キ國ニ在テ其ノ連合全體ト各部國ト同一ノ民族タルコトアル可シト雖決シテ同一體ノ國民アルコトナカル可シ故ニ其ノ全國ノ文物制度並勢力ヲ改進セシメンコト頗ル困難ナリ尤モ合位國ニ於テハ連合全國ト各部國ト同一ノ君主ヲ戴クヲ以テ稍、合一ノ揆ヲ助ケ連合國ノ如キ更ニ合一ノ機關ヲ有セサルモノニ比スレハ分離ノ患ヲ少フスルヲ得ヘシ凡テ此ノ政體ハ活潑有爲ノ政ヲナスニ甚タ不適當ナルモノニシテ即チ近世ノ獨逸連合ノコトキ最モ此ノ例ニ適シ其ノ虛弱ナリシヲ證スルニ足レリ

(第五) 聯邦ト共政國トハ共ニ其ノ合併國ヲ組織スルニ一國ノ體裁ヲ以テシ而シテ其ノ合シタル各部國モ亦同ク一國トシテ之ヲ存セシム唯タ聯邦ニ於ケル各國ハ共政國ニ於ケルヨリハ獨立ノ形ヲ存スルコト多シ何トナレハ聯邦國ニ在テハ其ノ各國ヲシテ皆自己獨立ノ政府ヲ有セシムルモ共政國ニ在テハ其ノ各國ノ君主ハ即チ合併國ノ君主之ヲ兼ヌルヲ得レハナリ故ニ共政國ニ屬スル各國ハ其ノ主權ヲ有スルモノナルヤ否ハ容易ニ定メ難シト雖聯邦ニ屬スル各國ニ至テハ其ノ主權ヲ有スルコト復タ之ヲ疑フ者アラザルヘシ

聯邦ニ於テハ其ノ内、聯邦全體ニ在テ組織シタル國民ト各部ニ在テ組織シタル國民トノ二種ニ區別ス(亞米利加人、「ニーヨルク」人又ハ「ペンシルワニア」人ト云フカ如キ瑞西人、「ベルン」人「チューリヒ」人「ゲンフ」人ト云フカ如キ獨逸人、李魯西人、撒遜人、ト云フカ如キ類ナリ)而シト合併國ハ其ノ組織ニ於テ他ノ統一ノ國家ニ齊キ機關ヲ備ヘ且ツ其ノ運動ニ於テモ自由ニシテ更ニ此ニ異ナル所ナシ然レトモ其ノ下ニ屬スル各國モ亦敢テ屬國ト謂フニハアラズ合併國ノ版圖内ニ在テ他ノ完全ナル國家ノ如ク各、獨立ノ地位ヲ有スルナリ
斯ノ如ク同一ノ範圍内ニ於テ二種ノ國家ヲ併合セシムル爲メ嚴ニ雙方ノ權限ヲ區別シ其ノ間ニ生スル爭ヲ調和スヘキ方法ヲ定メ并ニ成ルヘク雙方ノ官廳及ヒ議院ヲ分離シ各、獨立ノ位置ヲ有セシムル方法ヲ設クルヲ要ス北米合衆國ニ於テ最モ此ノ分離法ヲ密ニシ官吏ノ如キモ亦全ク之ヲ區別セリ而シテ瑞西ノ聯邦憲法ニ於テモ亦殊ニ注意シテ雙方ノ權限ヲ規定セリ但シ獨逸聯邦ニ於テハ其ノ全體ノ機關ト各部ノ機關ト猶ホ密ニ接合スト雖其ノ接合ハ例之ハ李魯西國王ニシテ兼テ聯邦ノ君主ナレトモ其ノ國會ニ至テハ各國ノ議院ト全ク隔離スルカ如ク敢テ制度全體ニ及ハス且ツ聯邦ノ權限ハ各國ノ權限ト現ニ之ヲ區分シ聯邦ハ專ラ外交事務ノ範圍ニ於テ其ノ權ヲ司ルヲ常トシ内國ノ事ニ關シテハ其ノ全般ニ係ル事ノミ特ニ之ヲ司ルニ過キス而シテ各國ハ之ニ反シテ專ラ内國ノ政ニ就テ之ヲ施行權ヲ專有シ

外交ノ事ニ關シテハ時アリテ特ニ之ヲ行フコトアルニ過ギザルナリ

國法汎論卷之五

立法官及法律

デル。ゲセツ。ゲ。メ。ン。デ。キ。ユ。ル
ベル。ウ。ン。ド。グ。ス。ゲ。ゼ。ツ。

第一款

國權ノ區分デル、ゾ。ン。デル。ン。ゲ。
テル、ゲ。ワ。ル。テ。ン。

第一 往古ノ狀態ア。ン。チ。ケ。ツ。ー ス。テ。ン。デ。

立法官ノ設ハ上世已ニ之アリト雖其ノ完全ナル組織ヲ爲スニ至リタルハ纔ニ近世ニ在リ蓋シ法律ヲ制定スルニハ必ス全國民ノ協議ヲ經サルヘカラサルト立法官ハ全國民ヲ代表スル者ナリトノ主義ハ往古已ニ之ヲ覺知セリト雖當時ノ國會ハ直ニ各個人民ヲ會同シテ政務ヲ議セシメシモノニシテ現今ノ如ク代議ノ制ヲ設クルモノニ非サリシナリ

昔時希臘ニ於テ施行セル人民會議ハ首府亞典ノ會議所又ハ劇場ニ於テ群眾相繙集シ其ノ何人タルヲ問ハス皆政務ヲ議スルヲ得セシメタリ其ノ文化ノ進度ニ比スレハ猶ホ未開ノ組織ニ屬セリトス又羅馬ノ會議「コミーチエ」
ト稱セリハ此ニ反シテ團社及ヒ等級ヲ設ケテ其ノ秩序ヲ定メ總ヘテ管長ノ指揮ヲ奉シテ進退シ制度稍備具シタリ

然レトモ羅馬ノ國會制度モ亦其ノ要項ニ於テ猶ホ甚タ完全ナラサルモノアリ今日ノ代議憲

法出ツルニ及ヒテ始メテ之ヲ改良スルヲ得タリ

(第一) 國ノ境域稍廣クシテ一區一都ニ過クルモノニ在リテハ直ニ其ノ全民ヲ舉ケテ會議セシムルコト能ハス蓋シ此ノ如キ會議ハ其ノ首府及ヒ近傍ノ人民ノミ獨リ其ノ權ヲ擅ニシ全民會議ノ名アルモ曾テ其ノ實ナキニ至ルコト猶ホ羅馬共和政治ノ末世ニ於ケルカ如クナルヘシ

(第二) 此ノ如ク衆庶貴賤相群同スル會議ハ曾テ其ノ用ヲ爲ス能ハス唯タ衆口ヲ以テ政府ヨリ告示スル所ノ議題ヲ賛成シ拒否スルニ止マルノミ其ノ法案ヲ熟論詳議シ錯雜ナル政務ノ問題ヲ整理スルカ如キハ爲スヲ得ル所ニ非サルナリ

是ヲ以テ全民ヲ舉ケテ立法ニ與ラシムルハ其ノ境域狹小ニシテ民俗簡朴ナル國ニ於テ特ニ能ク之ヲ行フヲ得ヘキノミ

政務ノ性質ニ從ヒテ國權ヲ區分スルコトハ是レ亦近世ノ邦國ニ於テ始メテ實施スル所ナリ蓋シ往古ニ在リテモ國權ノ種別ヲ爲サ、リシニ非スト雖今世ノ如ク各自ノ官司ニ就キテ區分スルモノハ未ダ之アラサリシナリ

「アリストローテレス」ハ上古ニ於テ已ニ當今諸國ノ憲法ニ定メタルカコトキ三大國務ヲ種別セリ即チ第一ハ一般事務ノ議定職第二ハ主政職第三ハ裁判職是ナリ此ノ種別方ヲ觀ルニ甚

タ現今ノ國權區分方ニ似タリ唯タ第一職ヲ議定職ト稱シ現今ノ如ク立法權ト稱セス蓋シ希臘ノ國會ハ其ノ議定スル所常ニ要重ノ政務ニ關リ甚タ權威アリシト雖其ノ初ハ曾テ立法ノ權ヲ有セス其ノ後之ヲ有スルニ及ヒシモ唯タ間接ニ施行スルニ止リシヲ以テナリ又今世ニ在リテハ其ノ第二職ヲ執行權ト稱スレトモ執行ノ職ハ固ヨリ主政者ニ屬スルモノナルヲ以テ之ヲ主政職ト稱スルノ妥當ナルニ如カサルナリ

「アリストローテレス」ハ此ノ如ク政務ヲ種別シタリト雖當時希臘ノ國會ハ議定ノ職務ヲ行フノ外要重ノ事務ニ就キテハ其ノ性質ノ行政官ニ屬スヘキモノト雖亦自ラ之ヲ裁決シ或ハ裁判事務ヲモ亦之ヲ擔任セリ又其ノ「アルシヨンテン」亞典共和政
治ノ統領官ハ國務ヲ統轄施行スルノ外兼子テ裁判事務ヲ指揮シタリ

尋テ羅馬ニ至リテハ數多ノ官衙ヲ設ケ周密ノ制度ヲ立テ廣大ノ權限ヲ付與セリ其ノ立法職ハ專ラ議會ノ權ニ屬シ主政職ト嚴ニ相區別スト雖主政職ハ必ス常ニ行政及ヒ裁判ノ兩權ヲ兼有シ苟モ行政ノ權アル者ハ亦必ス其ノ權内ノ事物ヲ裁判スルノ權ヲ有シ且ツ宗敎ノ職務ヲ擔任スルニ至レリ加之主政局ヨリ布達ヲ出シテ廣ク號令スルヲ得ルカ如キハ其ノ權曾テ立法官ニ異ナラス

羅馬ノ末世ニ及ヒテ又新ニ一種ノ分權方ヲ行ヘリ即チ東羅馬ノ世ニ於テ國帝ハ獨リ一切ノ

國權ヲ掌握スルモ地方政府及ヒ諸官吏ハ文武兩職ヲ區別シ敢ヘテ之ヲ兼掌セシメサル是ナリ初メ羅馬ノ尙ホ共和政治ヲ行フニ方リテヤ其ノ統領官ハ文武兩權ヲ並有シ人民ニ對スル威權甚タ重キニ過キタリシヲ以テ或ハ其ノ偏重ニ至ランコトヲ恐レ地方政府ニモ亦此ノ兩權ヲ與ヘ以テ平均ヲ得セシメンコトヲ謀リタリシト雖今ヤ特ニ帝位ノ安全ヲ謀ルカ爲ニ此ノ分權ヲ實行セリ蓋シ此ノ分權ハ政府ノ開明ヲ進メ人民ノ自由ヲ獎ムルニ最モ必要ノ者ニシテ今世政治ノ主義ニ於テモ亦取用スル所ナリ

中古ニ至リテ其ノ國權ハ外常ニ諸般ノ制限ヲ受ケシト雖内却テ諸權ヲ集合シ國王以下諸侯伯ニ至ルマテ文武ノ權行政及ヒ裁判ノ權ヲ并有シケリヒツフヘルザンムルン獨逸ノ古制ニ王及ヒ裁判官相會シテ判決ヲ行ヒ之ヲシグシテ於テハ普通法書ノ主義ヲ取リテ直ニ成法トナシ以テ訟事ヲ裁判シタリ

第二款

第二 今世國權區分ノ主義(ダス、モデルネ、ブリッテン、デル、ツ)方今政務ノ司職ヲ別チテ各其ノ主官ニ歸セシメタルハ是レ人文ノ進歩漸ク其ノ高點ニ達シ政體ノ大ニ開明ニ趣ケル證據ナリ夫レ國家ハ固ヨリ一箇ノ組成體ナリ猶ホ人體ノ眼ハ則チ視耳ハ則チ聽キ口手ハ則チ言語動作シ四肢五官各其ノ天性ニ從ヒテ其ノ職ヲ分司スルカ如ク凡百ノ官省モ亦皆其ノ本分ニ應シ一定ノ職務ヲ帶セサルナシ

世人盛ニ國權ノ隔分ヲ稱スル者多シ然レトモ其ノ語タル頗ル國權區分ノ主義ヲ誤解セシムルニ足ルモノアリ若シ全ク國權ヲ隔分スルトキハ是レ國家ノ合一ヲ解キ國體ヲ剖裂スルニ外ナラス彼ノ天造物ノ支體ヲ見スヤ其ノ中皆相連合セル國ト雖亦然リ其ノ各官互ニ相連絡貫通セサルヘカラス是ノ故ニ國權ノ區分ト連貫トハ國家ノ最要トスル所ナリト雖其ノ隔分ハ則チ以テ國家ヲ組成スル能ハス

國權ハ(佛人ハ國權ヲ稱シテ國ノ威力ト曰フ實ニ良語トス)孟的斯鳩モンテスキエ以來通常三種ニ區別セリ

第一 立法權(佛語ブオワール)

第二 執行權(佛語ブオワール)

第三 裁判權(佛語ブオワール)

尋イテ英人此ノ區分ヲ以テ其ノ國法ノ主義トナシ米國モ亦此ニ則リシヨリ其ノ他諸國ノ憲法モ皆此ノ例ニ倣ヒ之ヲ定規ト認メタリ但シ此ノ三大權ノ外國ノ合一ヲ保タンカ爲ニ又左ノ國權ヲ加フル者アリ

第四 中裁權(佛語プロオワール、モデラ)

此ノ區分方ハ「ヘンヤールミン、コンスタンツ」ノ論ニ出ツルモノニシテ葡萄牙王「ドンペード」
ロ其ノ憲法ニ於テ曾テ此ノ方ヲ用ヒタルコトアリ

此ノ他行政權ニ附スルニ左ノ數權ヲ以テスル者アリ

第五 管理權(佛語プロオワール、アド)

第六 監督權(羅典ポテスタス、イ)

第七 代理權(佛語プロオワール、レ)

以上國權ノ區分ニ就キテ又妄解ヲ下ス者ナキニ非ス是ニ因リテ往々學者ノ惑ヲ起スモノアリ今此ノ區分ノ當否如何ヲ審論スルノ前ニ於テ先ツ其ノ惑ヲ辨セント欲ス彼ノ妄解トハ即チ各種ノ國權ヲ認メテ同等ノ格位ヲ有スルモノト爲ス是ナリ此ノ説ノ如キハ國ノ組成體タル本性ニ反クモノト謂フヘシ凡ソ組成體中ノ各官ハ皆其ノ固有ノ格位ヲ有シ互ニ相等シカラサルノミナラス各官ノ間ニ自尊卑主從ノ別アリ以テ能ク全體ノ連貫ト合一トヲ保ツヘシ國ニ在リテモ亦然リ若シ果シテ國ノ主權ヲシテ(北米合衆國ニ於ケル如ク其ノ外形ノミナラス)眞ニ相同等ナラシメンカ主權ノ分裂ハ其ノ勢遂ニ國ノ分裂ヲ招クヲ免レス苟モ人ノ性命ヲ害セスシテ能ク身首ヲ分離シ互ニ相同等タラシメント欲スルモ其レ得ヘケンヤ

此ノ他又國權交渉ノ説ヲナス者アリ殆ト兒戯ノ言ニ類セリ其ノ説ニ曰ハク立法權ハ專ラ規則ヲ制定シ裁判權ハ其ノ規則ニ從ヒテ各事ヲ斷定シ行政權ハ此ノ斷定ヲ實施スルモノナリト是レ國家ノ組成體ヲ説クニ只タ哲理上ノ推測法ニ據リテ之カ解釋ヲ下セルモノナリ若シ果シテ此ノ説ノ如クナラシメハ裁判權ハ一般ノ原律ニ從ヒテ爭事ヲ理メ判決ヲ下スヲ以テ其ノ他各權ノ管領ニ屬スヘキ一切ノ掌務ハ盡裁判上ノ判決ニ歸セサルヲ得ス是ノ如クナレハ則チ政府ハ唯ニ裁判上ノ判決ヲ實施スルニ止リ傭僕遷卒ノ職務ト何ゾ擇ハンヤ今國權ノ性質ヲ説クニ方リ先ツ立法權ヲ提擧シテ他ノ諸國權ト相對立セシムルヲ要ス抑百般ノ國務ハ皆國身中各支體ノ分管スル所ニ係ルト雖獨リ立法ノ務ハ其ノ全身ニ關セリ又立法權ハ國憲及ヒ諸規程ヲ制定スルヲ以テ專ラ全國民ヲ總包スルノ義ヲ表シ他ノ國權ハ則チ既定ノ國憲及ヒ規程ニ遵ヒテ各殊臨時ノ事務ヲ施行ス之ヲ要スルニ立法權ハ全國ニ關スル永久ノ法規ヲ定メ他ノ國權ハ則チ全國ニ關セサル各部各殊ノ方向ニ於テ其ノ事務ヲ施行スルモノトス是ノ故ニ先ツ立法官ノ權限ヲ定メ然ル後ニ始メテ他ノ各權ノ區分ニ論及スハシ

抑立法權ハ全國民普通ノ法律ヲ制定スルヲ以テ其ノ專務ト爲スト雖亦兼子テ政府ノ制度ヲ創定釐革シ其ノ各官ノ組織及ヒ權限ヲ構成ス夫ノ稅法ヲ制定シテ以テ一般經濟上ノ準則

ヲ按定シ會計豫算ヲ認可シ或ハ内國ノ狀勢及ヒ政府ノ理財ニ就キテ得失如何ヲ稟申スルカ
如キハ其ノ專務タル立法ノ範圍ニ屬セスト雖立法官ハ國家ノ全局ヲ總理スル者ナルヲ以テ
亦敢ヘテ其ノ職ヲ越ユルモノトセス
蓋シ何等事物ヲ問ハス其ノ一部一支ハ固ヨリ以テ其ノ全體全幹ト比ス可カラス故ニ立法官
モ亦他ノ各國權ノ上ニ位スルヲ當然ナリトス
立法ノ外他ノ國權ハ現今ノ國體ニ原キ之ヲ區別スレハ四種ニシテ各異質ノ分團ヲナス而
シテ此ノ諸權中ニ於テ其ノ最モ要重ニシテ且ツ上位ヲ占ムルモノハ第一行政(政府)第二裁
判(裁判所)ノ兩權ナリ

第一 行政權 レギールンク スゲワルト

近世行政權ヲ指シテ執行權ト稱シ殆ト一般ノ通言トナレリト雖是レ全ク謬見タリ其ノ稱タ
ル唯ニ行政官ノ本分ニ適セサルノミナラス其ノ對照スヘキ立法權裁判權トノ位置ニ關シテ
モ亦允當ナリトセス到底論理及ヒ實際上ノ謬誤失錯ヲ致ス原由タルヲ免レサルナリ
人能ク自己ノ決意ヲ執行シ或ハ他人ノ命令又ハ依託ヲ執行スルヲ得ヘシ而シテ執行ハ常ニ
從ニシテ決意ト命令トハ則チ主ナリ夫レ政府ハ其ノ元質ヨリ之ヲ言ヘハ主ノ職掌ヲ有スル
モノト謂ハサル可ラス政府ハ自決シ自決意ヲ公告シ其ノ思想ヲ發言シ其ノ指揮又ハ制禁ヲ

下シ其ノ命令ヲ遵奉セシムルニ通常唯其ノ令意ヲ公言スルノミテ以テ能ク服從施行セシム
ルニ足り曾テ執行權上ノ強迫ヲ要スルナシ但シ時トシテ或ハ強迫ヲ要スルモノナキニ非ス
ト雖強迫ノ權ハ固ヨリ行政權ノ第二點ニシテ概子管下ノ官局及ヒ吏員ヲシテ其ノ事ヲ施行
セシムルニ止ルナリ

今假ニ論者ノ言ノ如ク政府ノ職掌ハ從ニシテ主ニ非スト假定スルモ之ニ執行權ノ名稱ヲ下
スハ則チ已ニ不當ヲ免レス何トナレハ論者ノ所謂執行權ト雖每事必ス立法權ノ制定セル綱
領ヲ遵奉シテ其ノ細目ヲ執行スルヲ以テ常職トナスニ非サレハナリ故ニ若シ論者ニ於テ法
律ノ布達ヲ認メテ直ニ法ノ執行トナスニ非サレハ法ハ決シテ執行スヘキモノニ非ス唯タ之
ヲ遵奉シ之ヲ使用スルニ止ルノミ蓋シ立法者カ發令スル所ノ規則ト制定スル所ノ主義トハ
政府其ノ行政ニ於テ之ヲ範式トシ之ニ遵依スト雖亦此ノ制限内ニ在リテ自己ノ有益ト考定
スルモノハ獨リ專ラ之ヲ決斷スルヲ得ルナリ例セハ外國ト協約シ公使ヲ派遣シテ外國ノ事
情ヲ報告セシメ國家ノ安全ヲ保護シ民生ノ幸福ヲ監護シ官吏ヲ補任シ軍政ヲ掌司スル等皆
政府自己ノ意ニ出ツルモノニシテ復タ成法ヲ執行スルモノニ非サルナリ又執行權ノ稱ヲ以
テ裁判權ニ對シテ之ヲ論センカ其ノ不當ナルコト立法權ニ於ケルヨリモ甚シ抑判決ノ執
行タル其ノ本分ニ從ヘハ裁判權ノ本務ニ屬スルモノニシテ裁判權ハ法律ヲ主持シ其ノ妨碍

セラレタル権理ヲ回復スルヲ以テ職ト爲シ特ニ自己ノ權力ヲ用ヒテ足ラサルニ方リ始メテ政府ノ威力ヲ藉ルノミ是ノ時ニ於テ政府ノ裁判權ニ對スルハ夫ノ臣僕カ其ノ君主ノ意ヲ承ケテ執行スルモノト同論スヘカラサルナリ

是ノ故ニ行政權ノ本分ハ決シテ事務ヲ執行スルニ非サルナリ制規ヲ處シ公益ヲ謀リ其ノ國土人民ヲ保護シテ不時ノ寇亂ヲ防禦シ或ハ外國ニ對シテ國家ヲ代理シ或ハ一般ノ災害ヲ豫防スル等ノ權タリ即チ希臘人ノ主政權羅馬人ノ司令權インペリウム又中古獨逸ノ保護權ムントシヤフト或ハ監督權フォーグライト稱スル者是ナリ之ヲ要スルニ行政權ハ他ノ諸國權ニ比スレハ最上位ヲ占メ且ツ專ラ命令ヲ司ルヲ以テ國家ノ最上權タルコト復タ疑ヲ容レス譬ヘハ猶ホ支體五官ノ頭腦ニ於ケルカコトシ故ニ世人ノ所謂國家代理ノ權ハ固ヨリ行政權ニ屬スルモノニシテ復タ他ニ存在スルモノニ非ス

故ニ行政權ハ國家全體ノ施政ニ關スレハ之ヲ政府グーヴェルヌマン、ボリチックトト稱シ各支分ノ事務ニ關スレハ之ヲ管理アドミニストラシヨーント稱スルナリ

第二 裁判權 セゲワルト

裁判權ハ世間誤リテ判決ノ權ト稱スル者甚タ多シ其ノ誤タル原ト「プオワール、ヂュヂシエール」ル判決ナル佛語ヲ用フルニ由來セルモノトス元來裁判權ノ本分ハ判決ニ在ラスシテ司法ニ

在リ即チ羅馬人ノ言ヘル如ク「エヂーチオ」決ニ在ラスシテ「イン、ユーレ」司ニ在ルナリ蓋シ事ニ臨ミテ法理ヲ探求シ而シテ之ヲ宣告スルカ如キ判決ハ必シモ官府ノ職務ニ屬セス又之カ爲ニ國權ノ作用ヲ藉ルヲ須ヒス例セハ羅馬ニ在リテハ常ニ一箇ノ私人ヲシテ判決者ユチーチニストナリテ法理ヲ宣告セシメ中古ノ獨逸ニ在リテハ斷定者シュツフエンヲシテ判決ヲ司ラシメ裁判官曾テ此レニ與ラス又近世ニ至リテハ人民ヨリ選定セル陪審官ハ自其ノ判決ニ任シ曾テ法官ニ委子サルカ如シ裁判ハ則チ之ニ反シ其ノ事タル法ヲ以テ人民ヲ保護シ若シ各人ノ權利ヲ妨碍シ一般ノ法律ニ背犯スルモノアレハ之ニ對シテ其ノ曲直ヲ理判スルニ在リテ古今均シク以テ首長官ノ職務ト爲シ常ニ一ノ國權トシテ之ヲ裁判官ニ委任セリ

蓋シ裁判權ノ行政權ト其ノ性相殊ナル所以ハ裁判權ハ行政權ノ如ク命令指揮スルニ在ラスシテ專ラ理判認可シタル權利ヲ保護シ實行スルニ在リ若シ行政ノ職務ヲ以テ人ノ智識ニ比スルトキハ裁判ノ職務ハ則チ德行ノ性ニ當ルヘキナリ

故ニ方今裁判ノ職制及ヒ權利ヲ行政ノ區域内ヨリ分別シ復タ上古中世ニ於ケルカ如ク一箇ノ司官ヲシテ此ノ兩大權ヲ主持セシメサルモノハ實ニ國政改良ノ一大進歩ニシテ此ニ因リテ權利始メテ純正トナリ人民始メテ確實ノ自由ヲ得而シテ行政權モ亦隨テ鞏固ヲ致シ且ツ裁判權ノ檢制ヲ受クルカ爲ニ自其ノ權ヲ妄用シ又ハ裁判權ノ權限ヲ侵ス等ノ事ナキニ至レ

リ若シ夫レ此ノ兩大權ノ性質相異ナルハ則チ古今ノ事跡ニ就キテ之ヲ徵スルニ足ルヘシ賢宰相ニシテ兼子テ斷訟ニ達シ明法官ニシテ兼子テ治務ニ長スル者ハ殆ト稀ニ見ル所ナリ裁判所ハ政府ニ比スレハ主長ノ權ヲ有スルコト較ク寡ク其ノ位地モ亦相等シキヲ得ス蓋シ裁判所ハ其ノ大體ニ於テ特立ナリト雖其ノ各事務上ニ於テ必ス政府ノ管下ニ立タサル可ラサルハ譬ヘハ猶ホ性情ノ心思ニ於ケルカ如シ

讀者若シ上文ニ陳スル所ノ行政權ト裁判權トノ區別ヲ辨スルトキハ則チ方今諸國ノ國法ニ於テ概子此ノ兩權ノ外復タ他ノ區分ヲ設ケサルノ甚タ理アルヲ知ルヘシ然レトモ今若シ更ニ之ヲ詳察スルトキハ國家ノ諸官職中尙ホ二種各殊ノ區別アルヲ見ルヘシ蓋シ此ノ二權ハ國家ノ最上權タル政府ノ下ニ位シ且之ニ從屬スト雖自其ノ性質ヲ殊ニセリ即チ政府本來ノ性質ハ君臨及ヒ命令ニ在レトモ此ノ二權ハ曾テ此ノ如キ性質ヲ帶ヒサルナリ今其ノ類ヲ左ニ掲ク

第三

精神上教育ノ監督及ヒ保護即チ國家ノ教育事務 ヂー、アウフジヒト、ウント、フレ、ゲ、デル、ガイストゲ、ク、ルツ、ール、フェル、ヘールトニツセ、デ、ースターツク、ガツール

第四

財産上ノ實力及ヒ組織ノ管理并ニ保護即チ國家ノ經濟事務 ヂー、フェル、ワ、ルツ、シ、ゲ、マ、テ、リ、エ、ル、レ、ン、ク、レ、フ、テ、ウ、ン、ト、ツ、ス、テ、ン、デ、(、ヂー、ス、ターツク、ウ、イルト、シヤフト)

此ノ兩事務ハ元來行政ニ屬スルモノニ非ス就中彼ノ人文ノ大元素タル宗教學藝技術ノ如キハ常ニ政府ノ管轄ニ屬セス且ツ政府ノ之ニ指令シ若クハ之ヲシテ其ノ目的ヲ達セシムヘキモノニ非ス蓋シ國權ノ宗教學藝技術等ノ場局即チ寺社及ヒ學校等ニ對スル關係ハ政治ノ範圍内ニ在ル被治者ニ對スル關係ニ比スレハ固ヨリ逕庭アリ而シテ國家ハ此ノ類ヲ勸獎シテ以テ世ノ隆昌ヲ謀リ其ノ患害ヲ除クヘシト雖亦元來之ヲシテ其ノ命令ニ服從セシムヘキモノニ非サルコトヲ會知セサルヘカラス故ニ國家ノ此等ニ對スル職分ハ之ヲ命令禁止スルニ在ラスシテ唯タ之ヲ監督保護スルニ在ルノミ

又第四ノ經濟事務モ其ノ關係亦猶ホ第三ニ同シクシテ政府ノ歲出入ヲ管理シ(即チ理財事務)國民ノ通商及ヒ經濟上ノ安榮ヲ補助シ公共ノ工事ヲ指揮シ並ニ町村ノ事務ヲ監督スル等其ノ性質タル命令若クハ主宰ノ事務ニ非サルハ猶ホ教育事務ニ於ケル精神上ノ注意ノコトク畢竟財産上ニ於ケル保護ニ外ナラサルナリ故ニ此ノ事務ハ行政固有ノ性質即チ政府ノ威力ト權利トニ原カスシテ技術上ノ識見ト熟練トニ原ケル經濟ノ政務ナリトス蓋シ政府ノ諸官中其ノ最モ各私人ノ生計ニ接運スル此ノ事務ニ如クモノナシ且ツ政府所有ノ財産ハ其ノ關係猶ホ一箇人ノ財産ニ異ナラス之ヲ要スルニ經濟事務ハ政府ノ諸官中ニ於テ最下ノ地位ニ在ルト又其ノ職務ノ必要ニシテ其ノ範圍ノ甚タ廣大ナルトヲ以テ人民日常ノ營生交

通ニ交渉スルモ嘗テ此ノ事務ノ本分ニ妨ケサルナリ即チ政府ハ國ノ主腦ニシテ經濟事務ハ國ノ脚趾ナリ

國ノ司職ノ互ニ相區別スヘキハ近世ニ及ヒテ漸ク之ヲ會知セリト雖尙ホ未タ行政上ノ命令ト保護トヲ混用スルノ弊ナキ能ハス其ノ宜シク管理ニ止ルヘキモノニシテ反テ之ニ命令禁制シ其ノ宜シク命令スヘキモノニシテ或ハ反テ保護ニ止ルモノアリ然レトモ之ヲ百年以前ニ比スルトキハ其ノ改良セル少カラスシテ其ノ保護ニ止ルヘキ事件ハ之ヲ行政ヨリ分離シテ文學及ヒ技術上ノ保護ニ委子政府ハ單ニ愛養ヲ主トスルニ至レリ要スルニ政府ハ人民ノ教育及ヒ經濟ヲ幫助シ衆ノ自由ヲ敬崇シテ復タ妄ニ權力ヲ使用スルコトアラス

第三款 代議憲法ノ沿革 デリーエントウイックケルシゲスゲシヒテ、デル、レブレセンタチーフ、フェルフハツスソグ

第一 フランケン 佛郎哥ノ國會 ヂー、フレンキーセ

第二 英國議院 ニングリセ、バル、ラメント

往古陋野ナル民會ノ民選議院トナリテ稍、完備ノ體裁ヲ成スニ至ルマテハ實ニ二千餘年ヲ閱シ人智ノ工夫ヲ費セシモノニシテ其ノ工夫タル方今ニ及ヒテモ猶ホ未タ完備ニ至ラサル

ナリ

第一 古時佛郎哥王國ノ國會ハ其ノ要件ニ於テ羅馬ノ「チエエンツリアートコミーチエン」民ニ及ハサルモノ少カラス其ノ此ニ與ル人民及各社會ノ次序其ノ議ヲ起シ可否ヲ決スル等ノ規程モ亦羅馬ノ確定整理セルニ如カサリシナリ加之其ノ國會ニ招集スルモノハ專ラ僧侶及ヒ紳士中ノ貴官ニ居リ高位ヲ有スル人ニ止リ他ノ庶民ハ常ニ其ノ議ニ與カルヲ得ス唯タ法令ノ布達ヲ受クルニ過キサリシ

然レトモ此ノ國會ノ制度ニ於テ更ニ一大要件ノ古制ニ愈レルモノアリ蓋シ往古ノ民會ハ其ノ國ノ中心タル一首府ノ人民ヲ招集スルニ過キサリシト雖此ノ國會ハ全國中各部不羈ノ人民ヲ主トシ專ラ其ノ人民ノ令長ニシテ許多ノ臣僕及ヒ土地ヲ有スルモノヲ招集セリ且ツ新年ノ大會議ニハ諸令長ニ隨從セル僕隸ト及ヒ其ノ引率スル武士ノ盛ナルカ爲ニ大ニ其ノ位望權威ヲ耀セリ而シテ人民ハ亦皆貴族ヲ以テ其ノ統領及ヒ代表者ト爲シタリ

此等ノ貴族ハ國王ノ參議官ト共ニ國王ノ座ヲ環リ以テ政務ヲ議シ其ノ外圍ハ下位ノ貴族(ミノーレス)ヲシテ坐シテ決議ヲ聽カシメ時トシテハ諮問ヲ下シテ其可否ヲ言ハシム又第二圍ハ庶民來集ノ座トナシ其ノ各統領ノ決議ヲ傍聽セシム

此ノ會議體裁ト及ヒ會議ニ於テ貴族ヲシテ常ニ上位ヲ占メシメタル事トハ彼ノ「ガリーセ」

「八國會ノ體裁ト及ヒ其ノ國會ニ於テ」ケルチセン「種族ノ僧侶並ニ武士ヲシテ要位ニ居ラシメタル古例ヲ模倣シタルモノナルヤ否ヤハ未タ之ヲ確知スル能ハス然レトモ會議ノ體裁ノ專ラ日耳曼風ヲ用ヒタルコトハ疑ナシ蓋シ此ノ世紀ヨリ次ノ世紀ニ當リテ獨逸諸國ノ貴族ノ位望ハ大ニ増進シ彼ノ「タチーッス」羅馬ノ著書家カ言ヘル如ク貴族ハ已ニ當時ノ憲法ニ於テ頗ル要重ノ地位ヲ占メタリ

第二 民選代議ノ制ノ其ノ體裁ヲ完備シタルハ實ニ英國ヲ以テ最先トス故ニ其ノ今日ノ改良ヲ爲セル順序モ亦英國議院ノ沿革ニ隨ヒテ之ヲ説ク可シ

往古安各羅薩克索ノ時ニ成レル「ウ」テナグモート會議ノ名ハ諸耳曼血統ノ王朝ニ至リテ其ノ體裁ヲ變シ後第十三世紀ノ初マテハ大參政會ト稱シ政治上ノ大權ヲ主持セリ(諾耳曼ニ於テモ亦貴族朝會ノ慣例アリテ屢國王ニ逼リ此ノ朝會ヲ行ハシメシコトアリ)然レトモ此ノ大參政會ナルモノハ當時全ク封建ノ制ニ基ツキ且ツ參政會ト同時ニ諸侯ノ軍陣演習及ヒ王家ノ祭祀ヲ行ヘリ尋イテ千二百十五年ニ至リ約翰第二世ノ「マグナカルタ」ニ從ヒ凡ソ國王直隸ノ諸臣ハ此ノ會ニ出席スヘキ權利及ヒ義務ヲ帶ヒシメ「エルツビシヨーフ」「ビシヨーフ」並ニ僧官及ヒ侯伯等ノ如キ大臣ハ國王ヨリ親書ヲ以テ招集シ而シテ其ノ他ノ小臣ハ國王代理ノ侯伯ヨリ一齊ニ之ヲ招集セリ

(按スルニ「マグナカルタ」トハ英國王約翰第二世其ノ國人ニ脅迫セラレ「ウ」ンドソル「近傍ノ郊野」ルーニングメード」ニ於テ三日間論議シタル後千二百十五年七月十九日ヲ以テ發セル誓諾ヲ謂フ語文凡ソ六十條アリ其ノ大要ハ侯伯ノ領地ニ關スル權利並ニ僧侶ト俗民トノ裁判區域ヲ定メ又都府ニ特權ヲ付シ且ツ其ノ稅ヲ免除シ又人民ハ法官ノ判決ニ因リ若クハ定規ニ背ク者ノ外ハ罰責及ヒ翰問ヲ受ケサルコト並ニ出版條例ヲ寬ニシ自由通商ヲ勸メ尺度量衡ヲ一定シ他國ヨリ兵士ヲ傭フヲ禁スル事等ニシテ實ニ後世立憲政治ノ基礎トナレリ

第十三世紀ノ間ニ於テ英國ノ議院ハ國王ト貴族トノ爭鬪ニ因リテ大ニ其ノ範圍ヲ擴メ且ツ封建制度ノ羈軛ヲ脱シテ眞ノ民選議院トナルニ至レリ今英國議院設立ノ要點ヲ舉グレハ左ノ如シ

(伊) 高位ノ僧官ノ外下等ノ僧侶ヨリモ亦代議員(就中寺社ノ事務ヲ議スルニ方リ)ヲ出スコトヲ許シ毎「デカナート」及ヒ「アルヒデアコナート」大僧正管領地内ノ寺社區畫ナリヲシテ二員ノ全權代議人ヲ議院ニ出サシメリ是ノ故ニ僧侶ハ特ニ一個ノ社會ヲ成シテ其ノ代議員ヲ出シ且代議員ハ初ハ議場ニ在リテ他ノ代議士ト相區別シ特立ノ一部タリシナリ然レトモ後世ニ至リテハ僧官ト紳士ト相合シテ一ノ上院ヲナシ復タ之カ區別ヲナサス且ツ可否ノ數ヲ算スルニ其

ノ等位ト僧俗トノ差ニ關セサルヲ例トセリ

(呂) 其初ハ侯伯及ヒ直隸ノ武士相共ニ一院ニ集同セシカ其高位ニ在リテ且ツ威權アル諸大侯伯ニシテ國王ノ手書ヲ以テ招會スヘキ貴族ハ(例セハ)「マヨールス」「バローネス」「プリメー、デグニターテス」ノ如キ顯官ヲ謂フ又古制ノ會議規則ニ據レハ大侯伯タル者ハ少クモ十三ノ武士領地ヲ有セサルヘカラス(古代ヨリ已ニ議院ノ上權ヲ占メ又國王ヨリ特ニ下問ヲ受ケタルカ如シ而シテ王宮寺社軍事裁判理財ノ事務ニ任スル廟堂ノ大臣ハ相合シテ内閣參議ト稱シ此ノ高位貴族ノ主領トナレリ但シ高位貴族ト武士トハ已ニ第十三世紀ノ比ヨリシテ其ノ間隔漸ク判然タリシナリ

(波) 下等貴族即チ武士社會ハ其ノ漸ク高位貴族ト相間隔スルニ隨ヒ又漸ク其區域ヲ廣クセリ元來侯伯ノ領内ニハ王臣ノ外ニ侯伯ノ陪臣アリテ其ノ富却テ王臣ニ超エ王臣ト共ニ地方ノ議事及ヒ行政ニ與カル者甚タ少カラス此ニ由リテ新ニ制度ヲ設ケ各侯伯ノ領地毎ニ二名ノ武士ヲ舉ケテ代議士ト爲シ復タ舊來ノ如ク衆武士ヲ會同セス是レ衆武士中闕席スル者多クシテ全員會同スルコト稀ニ且ツ此ノ如キ大衆ノ會同ハ議事上ニ在リテモ亦敢ヘテ好ムヘキ所ニ非サルヲ以テナリ又侯伯ノ領内ニハ武士ノ外又除役ノ地ヲ受領スル士民アリテ納稅ト地方ノ利害トニ關係スルコト曾テ武士ニ異ナラス是ノ時ヨリシテ此等ノ士民ニモ亦代議

人選舉ノ權ヲ付與シタリ蓋シ此ノ改革ハ第十三世紀ノ下半期ニ成レルモノニシテ是ニ因テ新ニ公選シタル土地所有主(除役ノ地ヲ領スル士民)ノ代議人ヲ以テ議院ノ一部タラシムルニ至レリ而シテ此ノ如ク土地所有主ヲシテ代議人ヲ選舉セシムルノ制ハ特ニ之ヲ將來ニ續行セシノミナラス又除役ノ田園ヲ有シ年々一定ノ歲入ヲ收ムル者ヲシテ議員タルノ權ヲ有セシメシヲ以テ更ニ其範圍ヲ廣クセリ但シ始ハ其ノ歲入額ヲ四十「シルリング」トシ後ニハ增加シテ四十磅トシ千八百三十四年ノ改革後ハ僅ニ十磅ノ歲入アル除役ノ田園及ヒ村長地ノ所有主又ハ較大ナル借地人ヲモ其ノ員ニ加ヘシメタリ

(仁) 此他都府驛邑モ亦議員ヲ出スニ至リ議院中更ニ一新部ヲ加設セリ是レ千二百六十年ニ於テ「シモン、ホン、モントホルト」侯己ノ威權ヲ張ランカ爲當時幽屏セラレタル英王顯理第三世ノ命ト矯リ諸ノ都府驛邑ヨリ代議員ヲ招集セルニ權與セリ但從前ニ於テモ若シ定稅ノ外別ニ增稅ヲ要求スルトキハ國王自其ノ都府ニ協議スルヲ例トシ首府龍動ニ在リテハ既ニ千二百十五年ノ「マグナカルタ」ニ於テ此ノ制規ヲ載セタリト雖庶民ノ代議員ヲシテ集會セシメシハ是ノ時ヲ以テ始トス而シテ庶民代議ノ制規ハ其ノ後「エドワルド」第一世ノ時ニ至リ更ニ之ヲ確定シタリ

初メハ國內五港ノ代議人(初メハ唯侯伯ニ止マリ庶民ニ及ハス)ト都府驛邑ノ代議人トテ區

別シ驛邑ハ最下ノ格位ニ在リ而シテ都府ハ其ノ富ト威望トニ因テ上位ヲ占メタリシカ後世ニ至ルニ及ヒ此ノ三種ヲ合シテ一トナシ第三等又ハ平民等ト稱シ漸ク勢威ヲ加ヘ議院ノ形勢ヲ一新シタリ是ニ於テカ古來ノ貴族ノ外更ニ武士及ヒ平民ノ兩民選代議員ヲ加ヘタリ

(保) 議院ノ變遷ハ下院ノ設立ニ因リテ其ノ形體ヲ確定シタリ初メ武士ハ時トシテハ貴族ニ合シ又時トシテハ平民ニ合シ其地位久シク定ラサリシカ「エドワルド」第三ノ世(千三百一十七年ヨリ同七十七年ニ至ル)ニ方リ平民ニ合スルヲ常規トシ貴族ト平民トヲ區分シテ上下兩院トナセリ即チ千三百三十五年ノ議院規程ニ於テ王國內ノ侯伯領都府驛邑及ヒ其ノ他地方ノ平民ト云ヘル明文ヲ載セタリ但下等僧侶ノ代議ハ後世全ク廢止セルカ如シ而シテ千二百九十九年後ハ更ニ「オキスホルド」「ケンブリッジ」兩大學校ヨリ其ノ代議士ヲ徵招シタリ

此ノ如ク議院ヲ兩部ニ分チ國王其上ニ立チ以テ上位貴族並ニ武士平民ノ利害ヲ代議セシメ就中武士ト平民トヲ合シ以テ都鄙ヲ均一ナラシメタルハ(武士平民ノ兩代議ノ全權ハ民ノ選舉ニ由リテ生ス)英國議院ノ卓越セル所以ニシテ又後世兩議院ノ規模トナル所以ナリ

(邊) 方今代議士ノ合同一體ニシテ復タ昔日ノ各等隔離シ隨テ其ノ利益ヲ異ニスルカ如キ偏頗ナキニ至リタルハ固ヨリ一朝一夕ニシテ成ル所ニ非ス英國ニ於テハ第十三世紀ノ末期ニ

方リ已ニ此一大進歩ヲ試ミタリ蓋シ古制モリスチンガパリアメントノ會議規則ニハ猶ホ議員ヲ六級(國王高位僧官及ヒ下等僧官侯伯武士都府民驛邑民)ニ區分セリト雖又其ノ規則中定ムル所ノ方法ヲ熟察スルトキハ當時已ニ總議員ヲ合同一致シセメント欲スルノ意アリシコトヲ知ルヘシ即チ該規則ニ據ルニ若シ異論多クシテ議事一決スル能ハサルニ會セハ議院ノ許可ヲ以テ三名ノ官吏ヲ選舉事務員トシ(甲)高位僧官二名下等僧官三名(乙)侯二名伯三名(丙)武士五名(丁)都府民五名(戊)驛邑民五名ノ率ヲ以テ各等ヨリ選舉セシメ通計二十五名ノ總代ヲ得又此ノ二十五名ヨリ各員交互ニ選舉シテ以テ十二名ニ減シ再ヒ六名及ヒ三名ニ遞減シ又或ハ國王ノ允可ヲ請ヒテ更ニ減シテ一名トナシ之ヲシテ其ノ議ヲ判決セシム而シテ總代ノ一タヒ判決スルモノハ全院ノ之ヲ決議スルモノニ等シトセリ

(土) 英國ニ在リテハ貴族ノ議院ニ於ケル地位ハ漸ク領地ノ權ニ關セスシテ專ラ其ノ族級ニ因リ隨テ上院ハ唯タ高位貴族ノ集會トナルニ至リシカ歐洲大陸ニ於テハ然ラス貴族ノ議院ニ於ケル地位ヲ定ムルニ專ラ領地ノ權ヲ以テセリ又英國議院ノ僧官ハ第十六紀ノ宗教變革及ヒ「コロステル」耶蘇宗弘法ノ爲僧尼廢撤ノ爲ニ大ニ其ノ數ヲ減シタルモ侯伯ハ則チ之ニ反シ其ノ國王ヨリ新ニ叙命スル者アルト且ツ法律ヲ議スルカ爲通例十二名ノ上等裁判官ヲ臨會セシムルトニ因リテ漸ク其ノ數ヲ増セリ

蘇格蘭(千七百七年)及ヒ愛爾蘭(千八百年)ノ兩國ヲ英國ニ合併セシ以來ハ蘇格蘭ノ選任貴族十六名僧官四名及ヒ愛爾蘭ノ貴族二十八名ヲ加ヘタリ
故ニ上院ハ多數(五分ノ四餘)ノ世襲貴族ト僅々ナル高位僧官及ヒ官吏ト選舉貴族トヲ以テ組成ス而シテ此ノ多數ノ貴族ハ復タ昔日ノ如キ高位ノ僧俗等族ニ非スシテ世襲最貴ノ貴族社會ナリ

(智)宗教變革以來就中第十七世紀ニ於ケル政治上ノ大變革並ニ「スツアルト」家諸王ト人民ト相闘ヘル民權爭亂ノ後ハ下院ノ威望漸ク強大トナリ古來上院ノ保有セシ權力モ終ニ下院ニ移リタリ且ツ第十六及ヒ第十七兩世紀ノ間ニ於ケル宗教爭亂ニ由リテ波羅特士且宗ニ限リ特ニ議員タルヲ得セシメシカ千八百二十九年ニ至リ加特力宗モ亦上下兩院ノ議員タルノ制ニ復セリ

下院ノ設置ニ關シテ最モ重要ナル規則ハ千八百三十二年ノ改定律トス初メ議院ニ代議士ヲ出スヘキ都府驛邑ヲ定メシ以來是ニ至リテ其ノ狀況大ニ變シ殊ニ驛邑ハ漸ク衰微シテ自立スル能ハス全ク侯伯ノ所領ニ歸スルモノ頗ル多ク(但侯伯ハ已ニ上院ニ出議スルヲ以テ今新ニ驛邑ヲ領スルモノ之カ爲別ニ代議士ヲ出サシメス)而シテ都府ハ則チ之ニ反シ昔日ニ比スレハ往々其ノ人口財産ヲ増加シ或ハ新立ノ都府ニシテ大ニ繁盛ヲ致スモ未タ代議士ヲ

出サ、ルモノアリ且ツ侯伯領地中其ノ繁殖大ニ他領ニ超エ復タ前日ト同視スヘカヲサルモノアリ是ニ於テ改定律ヲ發シ此レ等ノ實況ニ從ヒテ下院ノ代議規則ヲ定メ且ツ各侯伯領都府驛邑ノ大小ニ從ヒテ其ノ選舉權ヲ擴メタリ今此ノ改定律ニ就キテ英國議院ノ組織ヲ零舉スレハ左ノ如シ

上院

皇族

三名

「ヘルツォーク」

二十六名

「マルキース」

三十一名(三十三名)但蘇格蘭及愛爾蘭ヲ合算ス

「グラーフ」

百四十七名(百六十八名)同

「ウイスコント」

二十六名(三十二名)同

「バローン」

百三十二名(百四十七名)同

「エルツビシヨーフ」

三名
英教會ニ

「ビシヨーフ」

二十七名
屬スル者

蘇格蘭ノ選任貴族

十六名

愛爾蘭ノ貴族

二十八名

議員總計四百三十九名

下院

(甲)英吉蘭

(伊)四十ノ侯伯領

百四十三名

(呂)都府及驛邑

三百二十四名

(波)大學校

四名

合計四百七十一名

(乙)威爾斯

(伊)十二ノ侯伯領

十五名

(呂)驛邑

十四名

合計二十九名

(丙)蘇格蘭

(伊)三十ノ侯伯領

三十名

(呂)都府及驛邑

二十三名

合計五十三名

(丁)愛爾蘭

(伊)三十二ノ侯伯領

六十四名

(呂)都府及驛邑

三十九名

(波)「デブリン」府大學校

二名

合計百零五名

議員總計六百五十八名

第四款

第三 自餘各國等族ノ沿革ステンゲセ、エントウイッケルンゲ

歐洲大陸ノ諸國モ亦英國ノ如ク等族代議政治ヲ創立センコトヲ希望シ漸ク之ニ著手セリト雖猶未タ人民ニ適切ナル體裁ヲ得ルニ至ラスシテ常備軍ノ制ヲ創メ加フルニ頻年ノ兵戰ニ由リテ歐洲全土ヲ潰亂セルニ會シ爲ニ其進爲ヲ中止シタリ

(第一)大陸諸國中各等族ノ政治ニ參與スルコト最モ古ク且ツ盛ナリシモノハ「ビレチーイセン」半島西班牙トス就中王國「アラゴニーエン」ノ如キハ國王アリト雖其實ハ共和政治タリ

元來此ノ國ノ貴族ハ概子日耳曼種族ニ出テ往時「ザラツェーン」人ヲ討チテ其國ヲ回復シ又僧侶ハ回々宗ト基督宗ト相戦ヒシカ爲大ニ權勢ヲ有セルカ故ニ人民中此ノ兩族ヲ以テ最モ威カアリトス然レトモ其ノ「コルト」(會議)西班牙語ニハ獨リ此ノ兩族ニ止ラス第十二世紀ノ初ニ於テ已ニ都府(專ラ羅馬基督宗ノ人民ナリ)ノ代議士ヲ參會セリ蓋シ「コルト」ノ權力ハ當時甚タ強大ニシテ國王ノ上ニ凌駕セシハ世ノ知ル所ニシテ「アラゴン」等族ノ國王ニ要約セル誓詞ヲ以テ之ヲ徵スヘシ其ノ言ニ曰ハク臣等固ヨリ君ニ下ラス君ノ能ク爲ス所ハ臣等モ亦能ク之ヲ爲スヲ得君若シ臣等ノ權利ヲ保護セント欲セハ則チ臣等モ亦君ヲ奉シテ王ト爲サシ然ラスハ則チ臣等モ亦敢ヘテ君ヲ奉スル能ハサルナリト是ノ故ニ議員中僅ニ一人ノ異說ヲ唱フル者アルモ其ノ權力能ク國王ノ議案ヲ排斥スルニ足リ又國王ト會議トノ間ニ於テ或ハ爭論ヲ生スルコトアレハ特立ノ大判事(ユスチーチア)ニシテ國王ノ權ニ牽制セラレサル者ヲシテ之ヲ判決セシメタリ而シテ國家合一ノ機ハ則チ此ノ如キ内部ノ隔離ニ因リテ終ニ分裂ヲ免レサリシナリ

又「カスチーリエ」地方ニ於テハ千六百六十九年ヲ以テ都府ノ代議士始メテ「ブルコス」府ノ議院ニ相會シ千八百八十八年ニ及ヒテハ其ノ會同セル都府ノ數漸ク増シテ四十七ニ至リ千三百十五年ニハ九十ノ多キニ達セリ第十五世紀ハ「カスチーリエ」ニ於テモ亦恰モ等族政治

ノ隆盛ヲ極メタル時ニシテ殊ニ都府代議士ノ權ハ僧官及ヒ貴族ノ上ニ出テタリ然レトモ爾後此ノ地方中最モ權勢ヲ有スル「ブルゴス」及ヒ「トレド」ノ兩府互ニ猜疑ヲ生シ且ツ貴族相闘キ都府庶民トノ間ニ内訌ヲ生シ其ノ勢力漸ク衰へ民心協和セサルニ至リ終ニ「查理」第五世獨逸帝ノ征服スル所トナレリ(千五百二十年ニ在リ)

第十六世紀ノ末期ニ方リ西班牙王「非力」第二世カ大ニ都府會議ノ權勢ヲ殺キタル後ハ僅ニ其ノ形式ヲ存スルノミニシテ中古都府ノ曾テ保育セル特立權ハ全ク泯盡シテ遺ス所ナク府民ノ一タヒ民權ヲ有シ幸福ヲ享ケタル舊墟ニ於テ更ニ專制王治ノ施設ヲ見タリ(此王治ハ千八百年代ニ至リテ滅亡セリ)

葡萄牙國會ノ起原ヲ尋ヌルニ初メ「アルホンゾー」第一世其ノ國ヲ平ケテ王位ニ登リ後羅馬法王ノ認可ヲ受クルニ及ヒ始メテ「ラメコオ」地名ニ於テ國會ヲ設ケ「エルツビシヨーフ」及ヒ「ビシヨーフ」並ニ僧官貴族並ニ國內都府ノ代議士ヲ召集シテ新建王國ノ憲法ヲ制定セシム是ニ於テ國王ハ親シク國會ニ問フニ其ノ王位ニ立ツヲ願フヤ否ヤヲ以テス議員皆異辭ナシ乃チ劍ヲ拔キ衆ニ告ケテ曰ク朕此ノ劍ヲ以テ卿等ヲ救ヒ卿等ノ敵ヲ討平セリ卿等モ亦朕ヲ以テ卿等ノ國王盟主トナシ朕ヲシテ此ノ位ニ即カシム敢ヘテ望ム法律ヲ議定シ以テ國家ノ泰安ヲ謀ラント衆皆唯々ス王乃チ命シテ直ニ諸「ビシヨーフ」貴族及ヒ都府代議士ヲ召シテ之ヲ

議セシメ議員等曰ハク先ツ王家世々登祚ノ原憲ヲ定メント遂ニ逐次ニ憲法ヲ制定セリ是ヲ葡萄牙國會ノ創始トス爾來數百年間相尋テ自由ノ憲法ヲ保有セシカ後國王ノ兵權財力増進スルニ隨ヒ其ノ政漸ク壓制ニ趣キ王位ノ「プランガンツア」家ニ遷ルニ及ヒテ憲法ノ體裁モ亦大ニ革變シ僧侶貴族平民ノ三族ハ國王暴政ヲ行ヘハ則チ其ノ令ニ服從スルヲ要セスシテ更ニ國王ヲ選ミ并セテ王位繼承ノ制ヲ定ムルノ權ヲ有スルニ至レリ然レトモ第十八世紀ニ及ヒテハ他ノ歐洲諸國ト同シク等族政治ノ制漸ク衰滅シタリ而シテ千六百四十三年ノ比ニ在リテハ三族委員(エンター、ドス、トレス、エスタダドス)ト稱スル者ヲ置キ政府ハ各族ノ衆議士ヲ集メスシテ該委員ト國務ヲ議スルヲ喜ヒシカ故ニ第十七世紀ノ下半ニハ各族會議ヲ開キ之ヲ招集スルコト甚タ稀ニ降テ第十八世紀ニ及ヒテハ全ク之ヲ招集セス而シテ第十九世紀ニ至リ諸般ノ改良ヲ經テ再ヒ會議ヲ建設セリ

(第二) 歐洲中央ノ地方ニ在テモ亦猶ホ英國ノ如ク第十三世紀ノ間ニ於テ始メテ都府代議士ヲ招會セリ古史ノ記スル所ヲ以テスレハ是レヨリ先キ諾耳曼王維廉ノ將ニ兵ヲ發シテ英國ヲ零セントスルニ當リ侯伯及ヒ都府ノ紳士諾曼大都府ノ紳士ヲ集メテ國會ヲ開キ法令ヲ議定セシコトアリ然レトモ是レ實ニ後世史家ノ憶説ニ出ツルヤ疑ナシ但古來ノ口碑ニ據ルニ當時ノ國會ハ獨リ貴族ニ止マリシカ如シ

第十三世紀以前ニ於テハ都府ノ人士ハ當時「オムスタン」(衆庶)ト稱セル村邑ノ賤民ト雜糅シテ相區別セス或ハ之ヲ區別スルモノアルモ其ノ都府ノ領主又ハ宰官毎ニ之カ總代トナリ人民自會議ニ與カテサルコト他ノ侯伯所領ニ異ナラス

然レトモ佛國ニ於テハ千二百二十七年同四十年同四十五年並ニ同五十六年以來國王特ニ大都府ノ人士ヲ招キ國家ノ要務ヲ議セシメタリ是レ蓋シ國王ノ都府人士ヲ延攬シテ以テ自援ケント欲スルニ出テシナリ後佛王「非力」(世目シテ美君ト曰フ)當時ノ法王「ボニファーチウス」第八世ト相爭フニ方リ國人ノ已ニ與シテ之ニ戮力センコトヲ欲シ千三百二年ニ於テ始メテ僧侶貴族平民ノ三族ヲ招キテ國會ヲ起シ降テ路易第十世ノ世(千八百十四年ヨリ同十六年ニ至ル)ニ及ヒ更ニ制規ヲ定メ三族ノ認可ヲ經サレハ一モ租稅ヲ課收スル能ハストセリ第十四世紀ノ中間ニ及ヒテハ三族ノ權力甚タ強大ニシテ政府ヲ凌壓シ而シテ三族中平民最モ權勢ヲ逞クセシカ後民政黨ノ起ルニ至リ其ノ勢甚タ過劇ナルヨリ政權遂ニ賤民社會ノ手ニ落チ而シテ民政黨モ亦其ノ過劇ノ熱ニ自斃レタリ然シテ此ノ反動ニ因リテ國王ノ權威再ヒ回復シ一時ハ(千三百八十二年ヨリ千四百十二年ニ至ル)國會ヲ開カサリシモ千四百十三年ノ改革ヲ經テ復屢議員ヲ招會シ第十六世紀ニ至リテ常ニ相斷エス且路易第十一世以來ハ佛國漸ク專制政治ニ傾キタリト雖猶ホ千五百六十年同七十六年同八十八年同九十二年

ニ於テ相繼テ三族會議(エター、ゼ子ロー)ヲ行ヘリ然ルニ路易第十四世以後ハ(千六百四十三年ヨリ千七百十五年ニ至ル)絶エテ會議ヲ開クコトナク全ク之ヲ廢セシカ第十八世紀ノ末期大變革ノ起ルニ會シテ再ヒ之ヲ興スニ至レリ

蓋シ是ノ三族ハ專ラ各自社會ノ利害得失ヲ謀リ其ノ議事ハ每族各可否ヲ決シ加之都府ノ代議士ハ其ノ委任者ヨリ囑命ヲ受ケタリ要スルニ議院ノ體裁タル全民同治ノ主旨ニ稱ハス且永遠保持ノ方ヲ失ヒ秩然理治ノ法ヲ缺ケリ

(第三) 第十三世紀第十四世紀ノ間獨逸地方ニ於テモ亦畧ホ佛國ニ同シキ勢形ヲ成シ地方等族憲法ヲ設立シタリ是ヨリ先キ獨逸ノ都府ハ其ノ國會ニ代議委員ヲ出シ「ルードルフ、ボンハーブスブルク」王(千二百七十二年ヨリ千二百九十一年ニ至ル)以還之ヲ以テ恒例トナセリ元來此ノ國會ハ諸侯伯ト都府ノ人民ト相別レテ議事ヲ行ヘリト雖未タ上下兩院ノ區別ヲ設クルニ及ハス且會議ノ主旨タル侯伯又ハ諸令長等ヲシテ其ノ侯國及ヒ共和都府ノ代議者ヲシムルニ在リテ人民各社會ノ代議者ヲシムルニ在ラス而シテ侯伯及ヒ令長モ亦專ラ國王ニ抗シテ特立シ地方管領ノ政權ヲ維持スルヲ務メタルカ故ニ大ニ議院ノ進歩ヲ妨ケ全民共議ノ體裁ニ達スルヲ得サラシメタリ

昔時等族ノ會議ハ獨リ國會ノミニ止マリシカ第十三世紀第十四世紀ヨリ以來ハ各部ノ地方

ニ於テ到ル處皆地方等族憲法ヲ設立シ亦國會ノ如ク三箇ノ等族ヲ以テ地方等族ヲ組成シ其ノ初メハ各等各別ニ會議セシモ後合シテ一トナリ竟ニ全然共同ノ地方會議ヲ創造セリ而シテ其ノ等族ノ狀況ハ次ニ舉クルカ如シ

(甲)「ビシヨーフ」及ヒ「アプト」等地方在住ノ僧官ハ常ニ其ノ地侯伯ノ朝會ニ加ハルヲ嫌ヒ古來ヨリ享受セル無稅權ヲ擴張シテ特裁專制ノ君長タランコトヲ欲スル久シカリシカ第十四世紀ノ中間ヨリ以來ハ第一等族トシテ地方會族ニ與ルノ例規トナレリ

(乙) 埃國「ビューメン」公領撤遜等ノ如キ諸ノ大侯國ニ於テハ貴族中公侯伯ノ上等貴族ト下等貴族ニ屬スル武士トヲ區別シ特ニ撤遜ノ如キハ英國ノ體裁ニ同シク帝國直隸ノ諸侯伯ハ概子上等ノ僧官ト合併シ武士ハ都府ノ代議士ト合併シテ會議セシメタリ然レトモ此ノ他ノ侯國ニ在リテハ此等ノ上等貴族ハ率子甚タ寡數ナリシヲ以テ武士ノ侯國內ニ邑土ヲ有スル者ト諸陪臣(位階卑下ナル僕從ト雖邑地ヲ有スル者ハ皆此ノ中ニ入ル)トヲ合ンテ一ノ等族ヲ編成セシモノ少カラスバイエルン「シュレージエン」プロテスタンツル「グヲウンシュワイヒ」勃蘭甸堡「チューリンゲン」及ヒ「ボンメルン」等ノ如キ是ナリ而シテ此ノ武士族ニハ通常武士ノ總代人ノミナラス凡ソ武士領地ヲ所有スル地方ノ諸陪臣並ニ官吏ヲ合併セシカ故ニ其ノ人員最モ夥多ナリシナリ但「チロール」ノ如キハ貴族ノ家族ハ其ノ孰レタルヲ問ハス縦ヒ寸土ヲ有セサル者ト

雖皆等族會議ニ蒞ムコトヲ得セシメタリ

(丙)都府ノ等族會議ニ加入スルハ大約ソ第十四世紀ノ事ニシテ第十三世紀ニ在リテ都府ノ此ノ權ヲ得タルモノハ獨逸中ニ於テ甚タ稀ナリトス而シテ其ノ先ツ此ヲ得タル者ハ「ビューメン」ヲ以テ嚆矢トス該國ハ他ノ獨逸諸國ニ先チテ開明ニ進ミ千二百八十一年ニ於テ「巴都府」ノ會議ニ蒞ムコトヲ許セリ(但爾後貴族ト會議列席ノ權利ヲ爭論セシコトアリ)

又巴華厘國ハ千三百七年ニ於テ僧官武士ノ輩都府ノ代議士ト共ニ集會シ當時通貨ノ漸ク濫惡ニシテ價位ノ不當ナルヲ匡濟シ且政府會計ノ不足ヲ補ハンコトヲ議セシコトアリ其ノ後千三百十五年路易王ノ世ニ及ヒテ都府並ニ驛邑ヲ以テ貴族武士ノ會議ニ加入セシメタリ後來此等ノ都府代議士ハ常ニ王黨トナリテ貴族ニ抗衡セリ

勃蘭甸堡ハ千三百八年以來各都府相合シテ國政ニ參與シ屢國王ト頡頏セリ
侯領「リニー子ブルグ」ハ千三百五十六年ニ方リ僧官武士都府人ヲ集メテ議員トシ全國等族會議ノ體裁ヲ編設セリ

獨逸諸國ハ此ノ如ク都府代議士ヲ其ノ議院ニ出スヲ以テ漸ク恆例トナスニ至リシカ當時ノ代議士ハ獨リ人民中ニ就キテ之ヲ選舉スルノミナラス又都府ノ官吏中ヨリ其ノ人ヲ指名シテ之ヲ認可スルヲ常法トシ或ハ時アリテ都府ノ長官ヲシテ直ニ代議士ヲ兼子シメタルコト

アリ

獨逸ニ於テモ亦他ノ歐洲諸國ニ於ケルカ如ク都府ハ國家ノ爲メニ至要ノ部分トナリ國家合一ノ揆及ヒ人民教育ノ道モ皆都府ニ由リテ興起シ而シテ其ノ合一ト教育トニ因リテ君主ノ政權ト人民ノ自由トヲ伸張スルヲ得タリ彼ノ彼蘭ノ都府ニ與フルニ國會代議ノ權ヲ以テセサルト匈牙利ノ大ニ都府ヲ賤シントハ遂ニ兩國ヲシテ内訌止マス人文開明ノ進歩ヲ遲緩ナラシメタル主因トナレリ

(丁)當時獨逸諸國ニ在リテハ農民ヲシテ其ノ地方會議ニ代議人ヲ出サシムルコト甚タ少ク僧官及ヒ武士族ニ於テ其ノ所領農民ノ爲ニ議決セル事ハ國君直隸ノ民即チ公領貫屬ノ民モ亦之ニ服從セサル可カラサルノ制トセリ但此ノ例外ニ出テシモノハ「フリース」地名ノ會議ニ於テ其ノ地ノ豪族貴族ノ農民ヨリ選任シタル裁判官吏及ヒ邑長ト相會シテ地方一般ノ安寧ヲ計議シ又「エルツビシヨーフ」領「ブレイメン」府沿河村落ニ住スル特立農民ハ地方會議ノ權利ヲ有シ瓦爾丁堡ニ於テハ都府ト村邑トヲ合併シ「チロール」ニ於テハ千四百十八年以後武士及ヒ都府ノ外村邑及ヒ裁判區ヨリ代議人ヲ出サシメ以テ農民ノ利害得失ヲ議セシメタル等是ナリ

獨逸ノ等族會議ハ第十五世紀ニ至リテ其ノ隆盛ヲ極メシカ此ノ時ヨリシテ漸ク其ノ方向ヲ

變シ國家ノ公益ニ反シ政權ノ合一ヲ妨ケシカ故ニ其ノ弊ヤ第十八世紀ノ專制主義起ルニ及ヒテ遂ニ君主ヲシテ藉テ以テ會議ヲ廢滅スルノ口實トナサシムルニ至レリ且當時君主ノ顧問トシテ頗ル勢力アル羅馬派法律家ノ論說ト常ニ君主ノ特權ニ屬スル常備兵ノ新制トハ大ニ會議ノ勢權ヲ殺キ其ノ亡滅ヲ促シ之ニ加フルニ帝國中央政府ノ法律ニ於テ各等族ノ新ニ同盟結合シ並ニ兵力ヲ以テ政府ニ抗抵スルコトヲ禁シ納稅拒否ノ權ヲ削リ以テ政府ノ主權ヲ強クシ遂ニ三十年戰ニ至リテ全ク亡滅ニ歸セリ是ヲ以テ獨逸諸國中殊ニ佛王路易第十六世ノ專制政治ニ模倣セル君主ハ復タ會議ヲ開クモノナク其ノ偶古制ヲ存スルノ國アルモ唯形式ニ止リテ曾テ權力ヲ有セシメス獨リ瓦爾丁堡會議ノ如キ尙ホ僅ニ其ノ勢力ヲ有スルモノアリシト雖後チ獨逸帝國ノ亡滅スルニ及ヒテ概子之ト共ニ廢絶シ近世ニ至リ再興シテ現時ノ民選議院ヲ創立シタルナリ但第十八世紀ノ間ニ等族會議ノ有名無實ナリシハ「カー、ホンモーゼル」ノ遺書ニ痛論セル所ヲ以テ其ノ狀況ヲ想見ス可シ

第五款 等族憲法ト代議憲法ノ區別

ワキルテハベルグ、
フアツス、
ソグ、
デル、ウンテル、レブ、デル、レブレ、セン、ダチ、ウエン、フエル

中古ノ等族憲法ハ第十六世紀ノ中間以來即チ中古專制政治ノ末時ニ至リ他ノ諸般ノ古制ト共ニ漸次ニ熄滅シテ終ニ烏有ニ歸スルニ及ヒ適近世人文ノ煥發スルニ會シ民選主義之ニ代リテ興レリ而シテ等族主義ト代議主義トハ元ト並ニ君主ノ專橫ニ抗抵シテ人民ノ政權ヲ保護スルニ在ルヲ以テ其ノ性質甚タ相類似シ且ツ等族主義ハ代議主義ニ進ムノ階梯ニシテ其ノ相關連スルコト猶ホ中古ノ政論ヨリ近世政治ノ輿論ニ馴致シタルカ如シ然レトモ此ノ兩主義ノ甚タ相類似スルカ爲ニ學者或ハ之ヲ混淆シテ彼此ヲ錯認スルノ患ナシトセス故ニ兩者ノ相反スル所ヲ擧ケテ以テ先其ノ患ヲ除クヲ必要トス
今茲ニ兩主義ノ相反スル所ヲ對舉スレハ左ノ如シ

等族主義

(第一) 等族主義ハ人民各族ノ分離ニ原ク(故ニ中古ノ世ハ唯ニ勢威強大ノ等族ヲ招會スルニ止リ且ツ其ノ始メハ僅ニ一二ノ等族ヲ會シ他ハ放棄シテ顧ミサリシナリ)
(第二) 權勢アル門閥ノ戶主又ハ高貴ノ位階ヲ有スル者(侯伯貴士)ハ衆人ノ會同セル

代議主義

(第一) 代議主義ハ全民ノ合一ニ原ク(近世ハ專ラ單一ノ總會議ヲ以テ國內ノ全社會ヲ統括センコトヲ務ム)
(第二) 戶主又ハ位階ヲ有スル者ニシテ選舉ニ中リ代議士トナルトキハ其ノ權利ハ唯

諸團結若クハ盟社(ウニウエルジターテス)ノ如ク一箇固有ノ等族タリシナリ

(第三) 都府及ヒ町村ノ總代人ハ其ノ選舉人ヨリ囑狀ヲ受ケ議院ニ於テ可否ヲ決スルニ方リ必ス其ノ囑托スル所ノ方向ニ依ラサルヲ得ス(佛國國會總代カ其ノ囑狀(カイエー)ノ已ノ意ニ合セサルヲ以テ之ヲ受理セサルニ至リテ等族會議ノ主義ハ全ク地ニ墜チタリトス)

(第四) 各等族皆各自ニ可否ヲ決スルノ權ヲ有シ若シ自議院ニ出席セサレハ他人ヲシテ代理セシムルヲ得タリ(彼ノ第十七世紀ニ於テ波蘭國會ノ各代議士ニ付與セ^{ワールムウエー}ル隨意禁止權ノ如キハ此類ノ最モ甚シキモノトス)

(第五) 等族會ノ總代ハ其ノ授任者(選舉人)ニ對シテ責任ヲ帶ヒ日當金モ亦其ノ授任ヨリ之ヲ受ク

(第六) 等族會議ハ各等自己ノ利益ヲ謀ルヲ第一目的トシ全國一般ノ幸福ヲ謀ルハ之ヲ次ニス

(第七) 政府ヨリ新ニ一稅ヲ課セント欲スルニ方リ等族會議ハ其ノ必用ノ國費タルヲ認ムレハ之ヲ許諾スト雖其ノ許否ハ全ク各等隨意ノ意見ニ任セ而シテ國家ノ歲入ヲ議スルモ出納ノ全局ニ就キテ之ヲ計ラス唯ニ各種課稅ノ可否ヲ議スルニ止リ加之課稅ノ許諾ニ代ヘテ豫メ政府ヲシテ施

議員ノ一人タルカ爲ニ之ヲ有スルモノニシテ其ノ自己一身ノ爲ニ有スルニ非ス

(第三) 議院ニ於テ政務ヲ評議可否スルニ選舉人ヨリ豫メ囑狀等ヲ交付シテ代議士ノ意見ヲ制限スルヲ許サス凡ソ議院ハ全民ノ輿論ヲ自由ニ表示スルモノナルカ故ニ事理ヲ討論定スルニ緊要ナル發論ノ自由及ヒ權利義務ヲ議員ニ付與セシムルニ非サレハ未タ眞確正當ノ決議ヲ得ル能ハサルナリ

(第四) 議事ハ必ス全院可否ノ多數ニ因リテ之ヲ決ス而シテ議員代理ノ如キハ唯全院ヲ代理スル際ニ於テ特ニ之ヲ許スノミ

(第五) 民選議院ノ代議士ハ唯政府ニ對シテ責任ヲ帶ヒ而シテ其ノ日當金モ亦政府ヨリ之ヲ受ク

(第六) 民選會議ハ人民及ヒ政府ノ安寧ヲ謀ルヲ第一トシ縱ヒ時トシテ各箇社會ノ利益ヲ謀ルコトアリト雖豫メ一般ノ幸福ニ注意シテ之ヲ害セサルヲ以テ義務トス

(第七) 當今ノ議院ハ政府歲出入ノ全局ニ注意シテ合同一揆ノ會計ヲ定ム而シテ會計豫算ト租稅賦課法トハ議院之ヲ助成シ且ツ議定スト雖復タ其ノ許諾ニ代ヘテ政府ヲ施政上ノ制限ヲ約束セシメ又ハ自租稅ヲ收メ及ヒ之カ出納ヲ司ルカ如キ事アラ

政上ノ制限ヲ約束セシメタルコト屢之アリ例セハ政府ヲシテ其ノ國土ヲ典賣シ若クハ分割セザランコトヲ約シ又ハ宣戰媾和ノ際必ス等族ノ協議ヲ要スルコトヲ約セシムル等ノ如シ此ノ他等族中間其ノ同族ニ課税シ別ニ出納局ヲ設ケテ自之ヲ管理スル者アルニ至レリ

(第八) 等族ト其ノ國君トノ關係ハ全ク誓約ヲ以テ之ヲ定ム故ニ各等族ノ國君ニ對スル義務又ハ權利自由モ亦誓約ニ由リテ制定シ且保續セリ

(第九) 等族ハ其ノ國君ニ對シテ特立不羈ノ地位ヲ有シ互ニ締盟シ又ハ抗論シ時トシテハ兵刃ヲ以テ相爭フニ至ルコト猶ホ對峙ノ各國ニ於ケルカ如シ故ニ彼此並ニ軍兵ヲ募集シ且ツ之ヲ提率セリ

(第十) 中古ノ等族ハ專ラ立法ノ事務ニ任ゼス却テ行政ニ於テ其ノ權ヲ逞クセンコトヲ務メタリ故ニ等族ヨリ豫メ參議員ヲ國君ノ左右ニ置キ每事必ス之ニ諮詢セシメ且ツ緊要ノ事ハ之カ決可ヲ得ルニ非サレハ行フ能ハサラシム

(第十一) 等族會議ハ屢其ノ議員中ヨリ常置委員ヲ設ケシコトアリ此委員ハ初メハ唯ニ政府ヲ監督セシムルカ爲ナリシカ後世ニ至リテハ政府執政ノ官吏漸ク其ノ事ヲ口實トシテ復タ己レニ不利ナル等族ヲ

(第八) 當今ノ國家ハ全國一揆ノ成法ヲ以テ經營シ而シテ議院ハ與リテ此ノ成法ヲ制定ス故ニ人民一般ノ自由モ各社會ノ權利モ唯國家ノ成法ニ由リテ之ヲ定ムルモノトス

(第九) 方今ノ國家ハ上ノ如キ國體ノ分裂ヲ許サス始終國家ノ合一ヲ保護シ且ツ惟一ノ元帥ト惟一ノ國兵トアルノミ

(第十) 方今ノ國家ハ行政立法ノ兩權ヲ判別シ議院ハ特ニ意見ヲ陳述シテ政務ヲ監督スルニ止リ敢ヘテ親シク政令ヲ執ラズ是ヲ以テ議院ハ立法ヲ以テ主要ノ任務トス夫ノ英國議院カ行政ニ於テ大ニ權勢ヲ有ズルニ至レルハ輓近ノ事ナリト雖此ノ點ヨリ觀察スレハ猶ホ中古ノ體裁ヲ存スルモノト謂ハサルヲ得ス

(第十一) 方今ノ國家ハ常ニ唯民選總議員ヲ招會スルノミ且ツ時トシテ委員ヲ設ケルコトアルモ議院ニ在リテハ之ヲ以テ政府ノ政令ヲ妨碍スルナク政府ニ在リテハ亦之ヲ以テ自己ノ利用ニ供スルコトナシ

招集セサランコトヲ欲シ因テ漸次ニ會議
ヲ廢センコトヲ圖リタリ

(第十二) 中古等族ノ權利義務ハ半ハ私權ニ
屬シ半ハ公權ニ屬セリ

(第十二) 方今ノ議院及議員ノ權利義務ハ全
ク公權ニ屬セリ

且夫公法上ノ民選代議ハ民法上ノ代理トハ全ク其ノ性質ヲ殊ニスルカ故ニ代理ニ就キテ定
ムル所ノ規則ハ之ヲ代議ニ用フル能ハス
民法上ノ代理授任者自事ヲ處スルノ能力ヲ有セサルカ(幼年若クハ瘋癲人)或ハ能力ヲ有ス
ルモ已ムヲ得サル事故アリテ自事ヲ處スル能ハサルカ爲ニ(旅行シテ偶家ニ在ラス若ク
ハ商業ノ事故等)他ノ能力アル者ヲシテ代リテ事務ヲ整理セシムル時ニ止ル蓋シ授任者ハ
例セハ父祖ヲシテ其ノ子孫ノ管保タラシメ又ハ成法ノ規定ニ因リテ政府ヨリ管保ヲ命スル
如ク豫メ法律ヲ以テ之ヲ定メ或ハ特ニ授任者ノ依託ヲ受クルニ起因スルカ爲ニ常ニ授任者
ヲ以テ主トシ己ハ則チ之ニ代リテ其ノ事務ヲ司管スルノミ是ノ故ニ授任者ノ義務タル常ニ
授任者ヨリ付與セル權限及ヒ囑狀ニ從ハサル可ラス又授任者ノ義務ハ其ノ付與セル權限内
ニ就キテ受任者ノ處置ニ從ハサル可カラサルナリ
公法上民選代議ノ性質ハ則チ全ク之ト殊ナリ其ノ代議スル所以ハ選舉人カ事ヲ處スルノ能

カナキノ故ニ非ス又已ムヲ得サル事故並ニ隨意ノ委託ニ因ルニ非ス特ニ國家ノ憲法ニ出ツ
ルノミ故ニ選舉人ハ其ノ主ニ非ス而シテ被選舉人モ亦其ノ受任者ニ非ス唯公務ヲ施行シ國
民タルノ義務ヲ盡スニ在ルノミ故ニ其ノ代理ハ國土及ヒ國民ノ代理ニシテ一箇私人ノ代理
ニ非ス選舉人ト被選人トハ其ノ相信用スルニ出テ、授任者ト受任者ノ如ク法律ニ由リテ相
結合スルモノニ非ス畢竟選舉ハ此ニ由リテ適當ノ代議ヲ得ント欲スル方法ニシテ被選人ニ
權限ヲ付與シ又ハ之ニ委囑スルカ爲ニ非ス被選人モ亦選舉人ノ囑狀ニ拘束セラレ、ノ義務
アル無ク選舉人ハ亦恣ニ被選舉人ヲ召還シ及ヒ廢黜スル能ハス被選人ノ議院ニ於テ決スル
所ハ己唯ニ其責任ヲ負ハサルノミナラス選舉人モ亦之ヲ負フコトナシ但タ議院ノ決議ニ由
リテ法律トナルニ及ヒ始メテ之ニ服從スヘキ義務ヲ生スルノミ凡ソ其ノ一タヒ法律トナル
ニ至リテハ前ニ之ヲ可トシ之ヲ否トシタルヲ論セス又其ノ選舉人ト被選人トヲ別タス苟モ
國民タル者ハ皆同一ニ之ヲ遵奉セサル可ラサルモノナリ

第六款

立法官ノ組織

近世立國ノ主義ニ依レバ曰ク立法官ハ國民全社會ヲ代表スルモノニシテ即チ全國民ノ各部ヨリ一定ノ平均數ニ據リテ撰拔シタルモノナリ而シテ次ノ諸項ニ掲グル立法官ニ關スル緊要ノ問題ハ此ノ原則ニ依リテ容易ニ之ヲ解釋スルヲ得ヘシ

(甲) 國君ノ立法權ヲ有スルト否サルトハ近世ノ一問題ニシテ實際上大ニ世人ノ喧論スル所タリ其ノ事タル上古及ヒ中世ノ專制政治ニ在テハ國君獨リ立法權ヲ有セシテ以テ固ヨリ議論ヲ要セス且ツ近世立國ノ主義ヨリシテ之ヲ觀ルニ復タ一モ疑惑ヲ生スヘキモノナシ蓋シ其ノ疑義ノ由テ來ル所ヲ原マルニ國ノ機關タル内相連合密接シテ互ニ離ルヘカラサル關係アルノ理ヲ覺ラス立法權ト行政權トハ二個平等ノ別體ニシテ相對立スルモノト爲シ而シテ立法體ノ原素ヲ獨リ民ニ歸シ行政權ノ源淵ヲ專ラ君主ニ歸シタルニ出ツルモノナリ夫レ既ニ立法體ヲ以テ國民全社會ヲ代表スルモノトセハ則チ國ノ統領タル君主ハ猶ホ頭首ノ肢體ニ於ルカ如ク其ノ民ニ君臨シテ立法ノ上權ヲ占メ之カ制裁ヲ爲サルヘカラス夫ノ英國ノ國法ハ夙ニ此ノ理ニ原キテ組織シ且ツ既ニ國會規言モーツ、ス、テネン、ヂ、ニ於テ國王ハ頭首ナリ國會ノ主長上官ナリ云々ノ言アリ又近世組織セル立憲王治國ノ憲法ニ於テモ亦概チ立法權ヲ以テ國王ト國會トニ屬セシメタリ但タ晚近ノ組織ニ係ル共和政治國ニ在テハ常ニ立法權ヲ以テ專ラ其ノ民撰議院ニ歸シ憲

法上曾テ之ヲ政府ニ屬セシメス是レ蓋シ前ニ言ヘル國權區分ノ妄見ニ坐セルノミナラス共和國民ノ心タル常ニ民撰議院ヲ偏重スルノ勢况アルト且ツ若シ政府ヲシテ立法權ニ參與セシムルトキハ其ノ勢力ノ大ニ過キンコトヲ恐ル、ノ致ス所ナリ然レトモ此レ等ノ國ニ於テ政府ノ立法權ニ參セサルハ是レ唯タ虛文ノ法ニ過キスシテ其ノ實際ニ至テハ大ニ之ニ與カレリトス瑞西ニ於テ法案下附ノ權ヲ有シ米國ニ於テ不認可ノ權ヲ有スルカ如キ即チ其ノ證ナリ

(乙) 國會ハ國民ノ代理ナルヲ以テ完全ニシテ遺漏アル可ラス宜シク人民ノ各部ヲ舉リ卑下ノ賤民ニ至ルマテ盡ク之ヲ網羅スヘシ是レ卑下ノ賤民ト雖亦同シク國民タルノ權ヲ有スレハナリ此ノ主義タル近來專ラ世上ニ囂々タル一般選舉權ノ論據ナリ抑、一般選舉權ナルモノハ僅ニ能ク算數上ノ完全ヲ得ヘキモ決シテ組織上ノ完全ヲ得ヘカラス况ヤ算數上ノ完全モ猶ホ或ハ之ヲ得ル能ハス其ノ弊ヤ少數ノ民ハ曾テ選舉權ノ之ニ及ハサルコトアリ或ハ之アルモ亦其ノ平均ヲ得ル能ハス夫レ反對ノ兩黨相爭フニ方リ選舉人ノ投票ヲ爲スニ復タ自己ノ利害ヲ審ニシテ之ヲ撰定スルニ暇アラス其ノ氣勢ニ乘シ自黨ノ勝ヲ制センコトヲ務ムルヲ以テ其ノ極敗ヲ取リタル弱黨ハ或ハ全國民中三分ノ一ノ數ヲ占ムルトモ議院ニ向テ(其ノ議員ハ皆悉ク十分ノ多數ヲ以テ撰舉セラレタルニ拘ハラズ)全ク一人ノ代議士ヲ出ス

能ハス若クハ之ヲ出スモ僅ニ全員十分ノ一ニ過キサルナリ
 此ノ撰擧法ハ右ノ弊害アルノ外又社會ノ組織ニ於テ曾テ注意スル所ナシ蓋シ國民中其ノ
 等級營業等ニ隨テ各其ノ關スル所ノ利害ヲ異ニスルヲ以テ其ノ代議士ヲ撰擧スルモ亦各
 其ノ分ニ應スルノ人ヲ撰ムヘシ然ルニ此ノ法ノ如キハ曾テ此ニ顧慮スル所ナシ若シ此ノ
 法ノ如ク單ニ民ノ口數ニ隨テ平等ニ撰擧人ノ數ヲ定ムルトキハ如何シテ能ク各社會ノ利害
 ヲ代議セシムルヲ得ンヤ之ヲ要スルニ此ノ撰擧法ハ政治上ノ意見ヲ具シ且ツ事務ニ練達セ
 ル代議士ヲ得ルニ適當セサルノミナラス若シ單一ニ各民平等ノ權トシテ曾テ制限スル所
 ナケレハ其ノ弊タル遂ニ賤陋無識ノ庶民ヲシテ上流ノ社會ヲ制セシメ多數ノ無智ニ因テ
 寡數ノ有智ヲ壓セシムルニ至ルヘシ蓋シ特ニ多數ヲ以テ其ノ秩序ヲ定ムルトキハ子其ノ
 父ヲ制シ弟子其ノ師ニ先ンシ臣其ノ主ヲ御シ幼ハ長ヲ凌キ貧ハ富ヲ侮リ無識ハ有識ノ
 上ニ位スヘシ且ツ元來此ノ法タル多數ノ庶民ヲシテ權利平等ノ惠ニ賴ラシメント欲スルニ
 出ツト雖其ノ實ハ却テ不平均ノ結果ヲ得ルヲ免レス是ノ故ニ庶民共和政治ノ主義ハ正當ナ
 ル全國民ノ代議士ヲ取ラスシテ却テ不正當ナル多數黨ノ代議士ヲ取ルモノナリト謂ハサ
 ルヘカラス然レトモ一般撰擧權ハ前ノ如キ弊害アルニ拘ラス近世ニ於テ盛ニ增長シ佛
 國、瑞西、伊太利、及北獨聯邦等ノ諸國ニ行レハ米國モ亦漸ク之ヲ採用シタリ夫ノ英國ノ撰

擧法ノ如キモ近來益々此ノ性質ニ移ラントセリ蓋シ一般撰擧法ハ時運ノ漸ク庶民政治ニ向
 ハントスル氣勢ニ投合シタルモノニシテ權利平等ノ主義及ヒ務メテ諸人ヲシテ政治ニ參
 與セシメントスル主義ニ適合スルヤ復タ疑ヲ容レス且ツ此ノ法ハ著シク國民各社會ノ人心
 ヲ振起セシメ政治思想ヲ涵養シ以テ國家ニ親近ナラシムル利アリ而シテ亦一般ノ教育及ヒ
 兵役義務ト併行シテ相悖ラサルナリ

(丙) 代議士ハ國民各社會中ヨリ平等ノ算數ヲ定メ之ヲ撰擧セサルヘカラス千七百八十九年
 佛國革命ノ時ニ當リ其ノ設立セル議院ハ專ラ單純ノ多數撰擧ニ依リ曾テ平均ヲ得サリシヲ
 以テ其ノ議員ミラボーハ大ニ其ノ非ヲ論シ一月三十日ノ國會議場ニ於テ抗議シテ曰ク國會
 ノ國民ニ於ケルヤ猶ホ國土ノ外面ヲ地圖ニ畫キタルカ如シ地圖ノ各部及ヒ其ノ全部ハ常ニ
 必ス國土ノ眞形ト其ノ比率ヲ同一ニセサル可カラスト苟モ此ノ言ノ如クナラハ則チ地圖ニ
 山岳谿谷河海森林都邑ヲ示スカ如ク立法官モ亦國民中各種ノ社會ヲ網羅シ平均ニ其ノ萃ヲ
 援キタル小國民體ヲ成サシメサル可ラス其ノ上流社會ハ庶民ノ檢制ヲ受ケス庶民モ亦上流
 社會ノ爲メニ隔絶セラレサルヘシ而シテ此ノ社會ノ國ニ對スル勢力ニ於テ大小輕重ノ異ナ
 ルアルモノハ是レ則チ國體民俗ノ相異ナルアルニ由テナリ

(丁) 前項ノ主義ニ據テ立法議院ヲ制シ論スレハ則チ又一議院ヲ設クルト兩議院ヲ設クルノ

得失ヲ講究セサル可ラス其ノ三四個ノ議院ヲ同時ニ設立セシハ昔日佛國及ヒ獨逸帝國會議ニ於テ已ニ其ノ例アリ又瑞典ニ在テハ最近ニ至ルマテ其ノ制ヲ存シタリ然レトモ數議院ヲ置クノ制ハ代議士ヲ合一セシムル能ハス隨テ其ノ舉措ヲ困難ナラシム故ニ近世ハ復タ數院ヲ設クルノ論ナシ

凡ソ方今立憲政體ヲ以テ其ノ國ヲ成スモノハ其ノ羅馬種族ト日耳曼種族ノ國タルヲ論セス概シテ兩議院ノ制ヲ取レリ但シ革命等ノ時ニ當リテヤ其ノ黨己レノ勢力ヲ中央ニ集合シテ以テ其ノ暴威ヲ逞クセント欲シ兩議院ヲ合シテ一トナセシコトアリ即チ英國ハ千六百四十九年國王カール第一世ヲ弑殺セル後ニ於テシ佛國ハ千七百八十九年ヨリ千七百九十五年マテ及ヒ千八百四十八年ノ革命ニ於テシ西班牙ハ千八百十年ニ於テシ獨逸ハ千八百四十八年ノ際ニ於テセリ又一議院ノ制ハ瑞西ノ各邦及ヒ獨逸ノ數小侯國ニ於テ之レヲ行ヘリ是レ其ノ人民寡少ニシテ上下ノ間自ラ隔異セサルカ爲メニ復タ別ニ議院ヲ設クルヲ要セサルナリ

一議院ノ制タル寔ニ單純ニシテ且ツ國民ノ統一スル所タルニ適當スルモノ、如シ然レトモ國民全體ニハ必ス其ノ頭首タル君主ナル可ラス故ニ議院ハ特ニ社會全體ヲ代表スルモノニアラス即チ頭首外ノ體軀ニ等シキ國民ヲ代表スルモノニシテ之ヲ唯タ國民ナル體軀ノ統一ナル所ト謂フヘキノミ

人若シ古來ノ史蹟ニ徵シテ稽察スレハ則チ一議院ノ制タル未タ輕易ニ之ヲ可トスヘカサラルヲ知ル可シ往古日耳曼種族ノ邦國ハ其ノ草昧ナル時世ニ於テ既ニ已ニ社會ヲ分ツテ公侯ト庶民ノ二等トセリ故ニ兩議院ノ制ハ之ヲ創ムルコト已ニ久シク後世政治ノ原理ヲ確知シタル時代ニ於テ始メテ英人ノ首唱スル所トナリ尋テ米國人ニ傳流シタルニ非ルナリ今兩議院制ノ得便ヲ舉グレハ左ノ如シ

(第一) 夫レ雙眼ノ見ル所ハ四眼ヲ以テ之ヲ見ルノ周到ニシテ誤認ナキニ如カサルヤ明ケシ況ンヤ同一ノ物體ヲ視察スルニ其ノ一方ヨリスルハ各方ヨリ視ルノ精キニ如カス故ニ兩議院互ニ其ノ地位ヲ異ニシテ以テ其ノ法案ヲ反覆審議スルハ亦國家ノ長策ナリトス

(第二) 凡ソ立法官ハ國民永久ノ利害ヲ料理スルモノニシテ一時偶發ノ需要ヲ斡旋スルモノニアラス(偶發ノ需要ヲ辨スルハ行政ノ職務トス)故ヲ以テ迅速ニ議決スルハ立法ニ於テ須要トスル所ニアラス又敢テ之ヲ希望スル所ニアラス而シテ二議院ノ制タル或ハ一ノ議院ニ於テ輕躁事ヲ誤ルモノアルモ能ク之ヲ防止スルニ足リ或ハ情勢ニ隨ヒ動モスレハ一時議院滿場ヲ壓シテ其ノ威ヲ逞クセントスルモ能ク之ヲ救護スルニ足リ且民撰議院ニ於テ濫ニ其ノ權力ヲ皇張シ遂ニ政綱ヲ紊サントスルカ如キモ能ク其ノ危殆ノ傾勢ヲ回復阻遏スルヲ得

第三 純然タル民撰議院ノ外ニ上院若クハ貴族院ノ設アルハ民撰議院ニ於ケル民權主義ニ對シ實ニ緊要ノ制限ニシテ能ク其ノ權力ノ濫用ト弊害トヲ防止シ且ツ寡數人民ノ自由權利ヲ保護シテ多數ノ爲ニ壓制ヲ受ケサラシム

第四 此ノ他又立憲君主國ニ在テハ殊ニ大ニ注意スヘキモノアリ即チ一民撰議院ナレハ其ノ君主動モスレハ政黨鬭爭ニ與カリ議院ト相軋轢シ遂ニ鐵槌トナリテ之ヲ擊タサレハ鐵砧トナリテ之ニ打タル、ヲ免カレス兩議院ノ制ハ則チ之ニ異ナリ君主ハ政黨外ニ立テ其ノ鬭爭ニ關涉セス權衡ノ指針ノ如ク兩間節制ノ器トナリテ之ヲ停調スルモノタリ夫レ此ノ如クナルカ故ニ國家ハ其ノ統一スル所ヲ得君主ハ晏然トシテ其ノ尊位ヲ失ハス立法官ハ確然トシテ其ノ規律ヲ愆ラス皆均シク中庸ヲ得ヘキナリ

兩議院ノ制ハ實際ノ施政上ニ於テ便利ナルヤ論ヲ俟タスト雖又論理ニ於テ議院ノ兩派ナラサルヘカラサルモノアリ今夫レ何レノ民ヲ論セス苟モ社會ノ制度稍觀ル可キノ國ニ在テハ其ノ庶民ト貴族トニ差別アルコト猶ホ物ニ量積ト性質アルカ如シ而シテ中古ノ時代ニ在テハ貴族院專ラ權勢ヲ有セリト雖近世ニ至テハ議院ノ權勢全ク下院ニ移レリ抑下院ハ直ニ衆庶會同スルニアラス其ノ中ヨリ撰拔セラレテ之ニ代議スルモノトス若シ特ニ庶民ヲ以

テ議院ヲ組織セントセハ固ヨリ其ノ完全ヲ得ル能ハス何トナレハ則チ名ハ全國民ノ代議タリト雖其實ハ唯ニ庶民ノ性格ヲ帶シ其利害ヲ代議スルニ止マレリ且ツ夫レ貴賈ナルモノハ常ニ一小部分ナリト雖國家ノ安寧幸福モ關係スル至テ大ナリ且ツ庶民ノ足ヲサル所ヲ補ヒ其ノ過キタル所ヲ抑フル等最モ國家ニ効用アリ此ノ貴族ニシテ其ノ議ニ與カルヲ得サレハ是レ所謂全國民ヲ代理スル主義ニ背ケリトス故ニ此ノ貴族ヲ以テ別ニ一個ノ議院ヲ組織スルハ理ノ當ニ然ルヘキ所ニシテ且ツ甚タ緊要ナルモノナリ今夫レ國民ノ第二流ヨリ撰拔スル俊秀ノ貴族ト第三第四流ヨリ撰舉セル庶民ノ代議士ト俱ニ國王ヲ左右シ相翼賛スルトキハ是レ始メテ代議ノ制法ニ適シ政治ノ目的ニ稱ヘリト謂フヘキナリ

戊 歐洲大陸ニ於ケル各國ノ憲法ヲ見ルニ概ネ英國ノ憲法ニ倣ヒ上下兩議院ノ議スル所ハ各一院ノ議事ニ止ラスシテ他院ノ議事ニ及ホシ且ツ反對ノ議決ヲ以テ他院ノ議決ヲ破毀セシム蓋シ議事ヲ一院ノ中ニ限局セサルハ其ノ議權ヲ廣クシ且ツ之ヲ自由ニスルヲ以テ可ナリトスト雖其ノ一院ノ議決ヲ以テ他院ノ議決ヲ破ルニ至テハ首トシテ議院ノ權力ヲ牽制シ且ツ國家ノ合一ヲ沮碍スルモノタリ何トナレハ則チ一部ノ抗力ニ因テ施政ノ運歩ヲ妨ケシムルカ如キハ決シテ國ヲ爲ルノ道ニアラサルナリ

英國ノ法憲タル其ノ組織ヨリ之ヲ論スレハ缺漏ナキニアラスト雖賴ヒニ議員カ政治ヲ謀ル

ノ熱心ニ依テ其ノ缺漏ヲ補フヲ得タリ抑、英國ノ憲法ニ據レハ或ハ兩議院ノ相協和セスシテ一旦弊政アルモ永ク之ヲ矯正スル能ハサルノ恐アルヘキカ如シト雖其ノ實際ニ在テハ未ダ嘗テ其事アルヲ聞カス上院ハ時トシテ下院ニ對シ其ノ議ヲ停止シ又ハ之ヲ改正セント欲シテ相争フコトアリト雖下院ヨリ其ノ協議ヲ請求スレハ則チ復タ其ノ民心ニ逆ハンコトヲ恐レ敢テ之ヲ拒絕セス然ルニ大陸諸國ニ於テハ兩議院ノ反抗スル殊ニ甚ク曾テ相協和スルヲ得ス若シ憲法ニ於テ豫メ國家ノ組織ニ必要ナル合一ノ道ヲ謀ルモノナカリセハ兩議院ノ軋轢ヨリシテ遂ニ國ノ危難ヲ招クコトナキヲ保スル能ハス蓋シ一院ハ前ニ進マント欲シ而シテ一院ハ後ニ退カント欲シ相抗争セハ譬ヘハ猶ホ車ノ前後ニ馬ヲ駕スルカ如シ豈能ク機關ヲ運動スルヲ得ンヤ

當今國家ノ制タル其ノ主要トスル所專ハラ其ノ政チ一ニシ其ノ議ヲ同クシ一國ヲ舉ケテ相團結セシムルニ在リ是ノ故ニ兩議院ノ隔離スル此ノ如キモノハ最モ其ノ主義ニ悖レリトス

然リ而シテ歐洲各國ノ憲法中豫メ能ク此ノ弊ヲ防テ兩院ノ協同ヲ謀ルモノハ寔ニ寥寥タリ

第七款

民選議院ノ組織

民選議院ハ國民一般ヨリ組織シ其ノ意見及ヒ利益ヲ代議スルモノナリ而シテ該議院ハ代議制度ノ主義ニ原キ其ノ議員ノ才能學識等ニ從テ選擇セル國民ノ雋尤ニシテ且ツ庶民全體ヲ代表スルモノナリ即チ人民ノ衆夥中ヨリ摘採シタル政治上眞粹ノ少數ナリトス故ニ常ニ國民一般ヨリ選舉シテ議院ヲ組成スル所以ノモノハ固ヨリ自然ノ理ニシテ是レ幾分カ代議庶民政治ノ政理ヲ事實ニ施シタルモノナリ而シテ當時諸國ノ政體ハ相率キテ其ノ風ヲ成セリ

(第一)代議士選舉ノ方法ハ通常其ノ選舉權ヲ有スル國民ヲ若干ノ選舉區ニ分割シ每區住民ノ口數ニ隨テ各若干ノ代議士ヲ分選セシムルモノトス而シテ此ノ選舉區タル其ノ住民ノ職業等級等固有ノ差別アルニ關セス之ヲ分割シタルカ故ニ畢竟多數者獨リ其ノ選舉ニ與リテ少數者曾テ之ニ與ラサルノ實況アリ

多數選舉ノ制度ハ上ニ述ヘタルカ如ク多クハ世人ノ理解シ易キ算數上單簡ノ比率ト諸人平等ヲ主トスル民權說トニ由テ之ヲ創設セルモノニシテ方今國家ノ主義ニ對比スレハ寔ニ賤陋ノ法タルヲ免レス其ノ間偶、事跡ノ觀ルヘキアルモ未ダ以テ民選代議制度ノ完全ヲ致シ

其ノ眞理ヲ究メタリトスルヲ得ス若シ其ノ商法、製造、職業及農事等ノ利益ヨリ其ノ他教育、學術ノ利益若クハ權利ヲ認定シテ或ハ能ク代議ノ任ヲ盡クスコトアルモ是レ唯タ偶然ニ出ルモノニシテ毫モ選舉法ノ關スル所ニアラサルナリ況ヤ此ノ法タル果シテ眞ニ有徳達識ノ代議士ヲ選舉スルヲ得ルヲ保スル能ハス之ヲ古今ノ事實ニ徵スルニ往々黨派ヲ分子其ノ情勢ヲ弄シ唯タ民利民益ヲ代議セサルノミナラス徒ニ政黨ノ情勢思想ヲ代表スルノ集會タルモノアリ然リ而シテ其ノ永遠ノ民利民益ヲ舍テ朝夕ニ變換スル黨派ノ氣勢ニ委スルハ概シテ免レサル所タリ

英國ノ學者トーマス、ハール氏其ノ選舉法改正ノ方案ヲ起シテ曰ク國民一般ヲ合シテ一選舉區トナシ若干ノ被選票數以上ヲ得タルモノヲ當選者ト定ムヘシト此ノ方案タル尤モ注察スヘキモノニシテ蓋シ現行選舉法ノ弊害ヲ除去シ少數者及ヒ其ノ他ノ者ヲシテ其ノ利害ヲ代議スルヲ得セシムルノ好機ヲ與フルナルヘシト雖諸國未タ其ノ方ヲ實行スルモノアラズ現今唯ターノ政論タルニ止マリ未タ之ヲ國法ニ屬セサルナリ

國民中概子其ノ思想及利益ヲ同クスル等級ニ從ヒ定ムル所ノ代議制度ハ再三其ノ實施ヲ試ミタル所ニシテ夫ノ衆庶混同ノ選舉ニ比スレハ各般ノ優所アリ論者或ハ斯ノ如キ等級代議ノ法ヲ以テ中世ノ等族制度ニ類シ近世ノ代議制度ニ適セスト言フモノアレトモ是レ亦認見

タルヲ免レス何トナレハ即チ此ノ代議法ハ全ク國民ノ眞形タル民選代議制度ノ原理ニ適合スルモノニシテ此ニ依テ始メテ其ノ原理ヲ事實ニ施スコトヲ得ヘシ今夫レ一個ノ全體ヲ歷示セント欲セハ其ノ各支部ヲ離シテ獨立ノ小全體トナス可ラス必スヤ全體中ノ各部トシテ之ヲ具存セシメサル可カラス又地圖ヲ精良ニ製セント欲セハ唯ニ數ヲ記シ線ヲ畫スルノミナラス更ニ國土ノ山岳谿谷河海都市及村邑等ヲ表示セサルヘカラス國民モ亦然リ已ニ等族及ヒ等級ヨリ成ルヲ以テ其ノ眞形モ亦此レ等ノ部分ヲ表示セサルヘカラス然レトモ斯ノ如キ制度ハ現今尙ホ未タ世ニ信用セラレス蓋シ其信用セラレサル所以ノモノニ因アリ一ハ則チ此ノ制度ニ於テ未タ其ノ等級區分ノ方法ヲ審ニセス且ツ新ニ等級ノ名ヲ下スヲ以テ或ハ中世ノ等族ヲ再興スルナラント思想シ一ハ則チ國民ノ心ヲ統一スル能ハサルト眞ノ權利平等ヲ傷害センヲ恐ル、ニ由テナリ

選舉區ハ單ニ民ノ口數ニ由テ之ヲ定ムルヨリモ地方ノ區畫就中町村ニ原キテ之ヲ定ムルヲ宜シトス蓋シ一町村内ノ民ハ其ノ生計及利害モ自ラ相等シケレハナリ然レトモ其ノ版圖廣大ノ國ニ於テ專ラ各町村ノ區域ニ原キテ代議制度ヲ設ケントセハ其ノ議員ノ志見ノ甚タ狹隘ニ過クル憂アルヘシ

(第二) 此ノ他又原選舉人ニ於テ選舉スル直接選舉法ト選舉委員ニ於テ選舉スル間接選舉法

トハ尤モ其ノ優劣スル所ニ注意セサル可ラス今直接選舉法ノ優所ヲ舉グレハ左ノ如シ

(甲) 選舉人ト被選人ト互ニ直接ノ信用ヲ有シ曾テ隔離ノ患ナシ然ルニ間接選舉法ハ動モスレハ其ノ選舉人特ニ被選人ヲ信用スルモ原選舉人未タ之ヲ信用セサル等ノ弊アリ

(乙) 直接選舉法ハ選舉ヲ行フニ當リ選舉人ヲシテ善ク注意セシメ且ツ其ノ利益ヲシテ廓大ナラシム夫ノ間接選舉法ノ選舉委員ノ其ノ間ニ介在シテ選舉スルハ或ハ其ノ注意ヲ疎ニシ且ツ其ノ利益ヲ薄カラシムルニ優ル

然レトモ又他ノ一方ヨリ之ヲ觀レハ時トシテ間接選舉法ヲ便トスルモノアリ其ノ理由ハ左ノ如シ

(甲) 選舉區甚タ廓大ナルトキハ原選舉人ヲシテ一所ニ會同セシムルコト容易ナラス然レトモ又公衆ヲ分割散布スルトキハ選舉ノ成績ヲ見ルコト能ハス是ノ時ニ於テ選舉委員ニ由テ選舉法ヲ執行セハ復タ其ノ缺點ヲ補フニ足ルヘシ

(乙) 大ニ選舉權ヲ低下シテ過多ノ衆庶ヲ攬收スルトキハ選舉人ヲ選定シテ始メテ衆庶ヲ綜束シ以テ適良ノ選舉法ヲ爲スヲ得ヘシ若シ此ノ如キ組織方ヲ以テ之ヲ檢制セサレハ則チ動モスレハ選舉團社ノ首領等ハ公衆ヲ教唆シ誘説シテ己レ欲スル所ノ人ヲ選マメシ徒濫ノ方法ヲ以テ選舉人ノ任務ニ膺ルカ如キ弊害ヲ生スルニ至ルヘシ

此ノ他多數ノ選舉人ヲ設クル法即チ十名ノ原選舉人毎ニ一名ノ選舉人ヲ選ムカ如キハ亦間接選舉法ナリト雖其ノ實ハ零直接選舉法ニ異ナラス

英國、米國ヲ首トシテ現今佛國、北獨聯邦、白耳義及瑞西諸州等ノ國ニ於テハ直接選舉法ノ制ヲ取リ、西班牙、字漏生、巴華厘及獨逸各國ニ於テハ間接選舉法ノ制ニ據レリ

(第三) 選舉人ニ關スル特定ノ資格

夫レ下院ハ衆庶ノ代理者ヲ集議セシムル所タリ是ノ故ニ選舉權ヲシテ普ク國民全體ニ及ボサシムレヲ以テ現今政治ノ原則ト爲サ、ル可ラス(上ノ第二編第二十二款ヲ參照スヘシ)然レトモ此ノ原則タル亦代議院組織ノ定則ニ關シ頗ル影響スル所アルカ爲ニ多少ノ力制限ヲ爲スヲ要ス

(甲) 古昔羅馬ノ會議法ニ於ケルヤ長老ノ選舉人ニハ少壯者ニ比スレハ殊ニ大ナル選舉權ヲ有セシメ是ニ由テ議員中常ニ長老ノ人其ノ多數ヲ占メ其ノ熟練ト經驗トヲ以テ國家ノ福利ヲ保タンコトヲ謀リ而シテ他ノ少壯者モ亦共ニ國事ニ與カルコトヲ得セシメタリ然リ而シテ方今ノ憲法ハ曾テ此レニ注意セス復タ長幼ノ序ヲ問ハサルヲ以テ往々輕躁恣進ノ少年ヲシテ貴重ノ政柄ヲ秉持セシムルコトアリ

(乙) 選舉人ノ資格ヲ定ムルニ其ノ財産ノ多寡ニ據ルモノ亦多シ而シテ財産ノ多寡ハ唯ニ

國民獨立ノ度ヲ定ムルノ具トナスニ適スルノミナラス元來政府ノ職分ニ在テ其ノ民ノ財產ヲ保護シ以テ一國ノ富殖ヲ謀ルハ實ニ緊要トスル所ナルヲ以テ特ニ之ニ標準ヲ取ルハ亦極メテ當然ノ事ナリトス是ノ故ニ選舉ニ際シ財產ニ由テ其ノ權ノ有無ヲ分ツハ大ニ其ノ理アリト雖又偏ニ之ヲ固守スルコト莫カルヘシ夫ノ衆庶ノ勞力ノ若キハ亦是レ國ノ元氣ヲ強大ナラシムルノ一原素ナリ

英國ノ碩儒ブールケ氏此ノ理ニ原キテ立論スル所アリ曰ク議院ノ適當ナランヲ欲セハ其ノ國民ノ才能ト財產ト相並テ代議スルヲ要ス然レトモ才能ナル者ハ活潑敢爲ノ性ヲ有シ財產ナルモノハ怠緩懦弱ノ弊ヲ來スカ故ニ若シ議院ニ於テ財產ノ勢力其ノ大部ヲ占ムルニ非ラサルヨリハ常ニ才能ノ攻撃ニ克フル能ハスシテ忽チ其ノ權衡ヲ失ヒ偏重ノ患アルヘシ

羅馬人ハ其ノ議員選舉法ニ於テ大ニ此ニ注意シ資產ニ富メル民ハ貧窮ノ賤民ニ比スレハ殊ニ其ノ選舉權ヲ大ナラシメタリ而シテ千八百五十年英國ニ於テ制定セル憲法ハ亦タ此ノ意ヲ祖述シ乃チ原選舉人ヲ其ノ納ムル稅額ノ多寡ニ從ヒ三級ニ區別セリ但シ每級ノ人口ハ固ヨリ其ノ大小ヲ同クセス其ノ町村又ハ選舉區ニ於テ租稅全額ノ三分ノ一ヲ納ムルニ當ル上級ノ富民ハ原選舉人ノ三分ノ一ヲ選舉シ他ノ三分ノ一ヲ納ムルニ當ル中等ノ民ハ同シク原

選舉人ノ三分ノ一ヲ他ノ三分ノ一ヲ納ムルニ當ル多數ノ貧民ハ亦原選舉人ノ三分ノ一ヲ選舉スルモノトス

此ノ方法タル未タ完全ナラスシテ改良ヲ要スルモノアリト雖彼ノ單一ナル二級選舉法ニ於ケルカ如キ一部ノ民ハ全ク選舉權ヲ有セス而シテ他ノ一部ヲシテ偏ニ選舉權ヲ有セシムルモノニ比スレハ其ノ優レル所亦巨多ナリトス

英國ニ在テハ千八百三十二年ノ選舉法改正ニ因リ各民選舉ノ資格ヲ制限スルコト左ノ如シ

(甲) 侯領地ニ於テハ即チ昔時ノ佃作地(完全ナル所有地ニ非ラス)ニシテ一歲間少クモ十磅ノ純收入アル土地ヲ有スル者

(乙) 都市及選舉區ニ在テハ即チ一歲間十磅ノ賃價ヲ有スル家屋、工作場又ハ肆店ヲ所有シ若クハ之ヲ借有スルモノ

此ノ改正ニ依リ英本島ニ於テハ大凡千四百萬ノ人口中八十萬人ニ幾キ選舉人ヲ得而シテ其ノ大半(無慮四十五萬人餘)ハ侯領ニ得ルノ比率ナリ愛蘭島ニ於テハ之ニ反シ八百萬人ノ人口中大凡十五萬人ノ選舉人ヲ出シ選舉人ノ數本島ニ比シテ其ノ比率甚タ少シ又全英國ヲ以テ之ヲ算スレハ二千六百萬ノ人口中大凡百萬人以上ノ選舉人ヲ得ルナリ現今議員ニ於

テ再ヒ改正法ノ制定ヲ謀ルヲ以テ其ノ法成ルノ日ハ大ニ選舉人ノ範圍ヲ廣グスルニ至ルヘシ

佛國ニ於テハ千八百十四年ノ憲法ニ從ヒ選舉人ノ資格ヲ定ムルニ特ニ富裕ノ民ニ限リ三百法ノ直稅ヲ納ムル者ニアラサレハ選舉人タルヲ得サラシム後千八百三十一年ニ至リ此ノ稅額ヲ減シテ二百法トナシタルヲ以テ其ノ選舉人ノ數ハ曩ニ三千餘萬人ノ人口中僅ニ八萬人ニ過キサリシモ増加シテ十七萬四千人ニ及ヒタリ蓋シ富民代議制度ノ性質ハ此レカ爲ニ稍減殺セルカ如シト雖尙ホ未タ之ヲ廢スルニ至ラサリシモ尋テ千八百四十八年ノ憲法ヲ定ムルニ至リ危激ノ變革ヲ行ヒ其ノ富民代議制度ヲ廢シテ俄ニ庶民代議制度ト爲シ而シテ復タ選舉ノ資格ニ制限ヲ設ケス夫ノ拿破翁第三世ノ帝國政治ハ則チ此ノ基礎ニ因テ之ヲ建造セ

リ
 國ニ於テハ千八百四十九年ノ憲法ヲ以テ選舉人ノ資格ヲ定メ村邑及小都市ハ少クモ五「グールデン」大都市ハ十「グールデン」ヨリ二十「グールデン」ニ至ル直稅ヲ納ムルモノニ限レリ
 其ノ後千八百六十一年二月二十六日ノ憲法ニ於テ國會議員ヲ直隸諸州ノ地方會ヨリ選舉セシムルコト、ナセリ而シテ地方會ノ代議士ハ概ネ左ノ等級ニ從テ選舉セシム

(甲) 高等ノ僧官(ビシヨーフ)

(乙) 大地主

(丙) 都市、製造所多キ驛邑、商法及工業會議所

(丁) 村邑

而シテ大地主及ヒ都市ハ直接選舉ノ法ニ依リ村邑ハ間接選舉ノ法ニ據ラシム但シ僅少ノ地租ヲ納メ若クハ更ニ納稅セサル貧民ハ選舉權ヲ有セシメス

北獨逸聯邦ノ憲法ハ千八百六十七年ノ制定ニ係リ全ク財産ノ制限法ヲ用セス普通選舉法ヲ採用セリ

(第四) 選舉ニ密選顯選ノ二法アリ又票書、口述或ハ揚手ヲ以テスルモノアリ其ノ是非得失ヲ論スル者古ヨリ甚タ多シ羅馬有名ノ政治家チチエロモ亦其ノ著書デ、レギアス第三編第十五款ヨリ第十七款ニ至リ之ヲ論セリ而シテ其ノ論義今ニ至テ仍ホ世人ノ稱揚スル所トナレリ

選舉法ヲ行フニ往々又密選ニ票書ヲ混用シ又ハ顯選ニ口述或ハ揚手ヲ混用スルモノアリ而シテ顯選及口述ノ選舉法ハ活潑ニシテ私ナク密選票書ノ選舉法ハ周密ニシテ漏泄ノ患ナシ又顯選及口述ノ法ハ其ノ地ノ名望家ヲ擧グルニ宜シキモ亦黨派ノ首領ニ權柄ヲ握ラシムル

ノ恐レアリ密選及票書ノ法ハ小民ヲシテ各自ノ意見ニ依リ選舉セシムルニ利アレトモ亦時トシテ小民ヲシテ其ノ黨派ヨリ示授セル意見ニ附從セシムルノ患アリ之ヲ要スルニ其ノ政治ノ公然タル制式ニ依テ施行シ曾テ隱蔽スル所ナキ國ニ在テハ密選々舉法ヲ適用スヘカラス

英國及ヒ米國ニ於テハ顯選及ヒ口述ノ法ヲ用ヒ佛國ニ於テハ千八百四十八年ノ憲法ニ於テハスヲ(憲法第二十六條)猶ホ且ツ依然トシテ舊ニ仍リ密選法ヲ繼用セリ又獨逸各國ニ於テハ票書ヲ以テ選舉シ其ノ選舉票ハ直ニ選舉場ニ於テ開封スト雖之ヲ公衆ニ示スコトナシ是レ顯選法ト密選法トヲ兼用スルモノニシテ巴華厘ノ如キ即チ此ノ法ナリ北獨聯邦ニ於テハ密選票書法ヲ用ヒ瑞西ニ於テハ顯選密選互ニ相用フ而シテ其ノ顯選法ハ專ラ一時ノ選任ニ施シ密選法ハ切要ニシテ且ツ永任スヘキ職務ニ施ス

(第五)被選舉權ノ資格ハ昔時ノ憲法ニ於テ概テ選舉權ニ比スレハ較之ヲ嚴ニセリ千八百五十八年マテハ英國ニ於テ下院ノ議員タルヘキ者ハ千八百三十七年ノ條約ニ依リ侯領ニ在テハ六百磅ノ純歲入アル財產ヲ要シ都市及撰舉區ニ在テハ三百磅ノ純歲入アル財產ヲ要セシモ千八百五十八年ノ條例ヲ定ムルニ及ヒ總テ財產ノ制限ヲ解キタリ又千八百十四年ノ佛國憲法ニ於テハ(憲法第二十八條)其ノ議員タルヲ得ル者ハ四十歲以上ノ年齒ニシテ且ツ千

法以上ノ直稅ヲ納ムル財產家タルヘキ制限ヲ設ケタリシモ拿破翁三世ノ帝國政府ニ至リテ全ク此ノ制限ヲ廢セリ又千八百三十一年ノ白耳義ノ憲法ハ(憲法第四十七條)其ノ議員ノ資格ヲ二十五歲以上ニシテ且ツ少クモ二十「グールドン」ヨリ百「グールドン」ニ至ル租稅ヲ納ムル者ニ限レリ

是ノ故ニ各國ノ憲法ハ輒近率子皆被選舉權ノ資格ヲ寬ニシ選舉權ト之ヲ齊クシ或ハ却テ之ヨリ輕減セントスルノ形勢アリ其ノ說タル蓋シ選舉ハ既ニ被選舉者ヲ以テ充分ノ資格アリトシテ之ヲ認定シタルモノナルカ故ニ復タ之カ資格ヲ制限スルヲ要セストナスニアリ即チ巴華厘(千八百四十八年六月四日ノ條例)及ヒ李國ノ如キハ唯タ三十歲以上ノ年齢ヲ要スルノミニシテ曾テ租稅上ノ制限ヲ設ケス之ヲ選舉權ニ比スレハ殊ニ輕寬ナリ(憲法第七十四條)但タ英國及ヒ北獨聯邦ニ於テハ議員ニ報酬金ヲ受クルコトヲ許サ、ルカ故ニ其ノ實際ニ在テハ較、嚴ナル財產制限法ヲ行ヘルト同様ノ結果ヲ生ス

(第六)千七百八十六年佛國國會ニ於テ議員補缺委員ヲ選舉スルノ制ヲ始メシヨリ以來方今仍ホ或ハ此ノ制ニ倣フノ國アリ然レトモ此ノ法タル宜シク適用セサルヲ可トス何トナレハ議院ニ於テ補缺委員ヲ徵集スルハ實際殆ント之ナキカ故ニ選舉人モ亦常ニ之ヲ選ムニ精密ナラス多クハ速ニ選舉ヲ結了センコトヲ欲シ其ノ心ニ於テ第二流トナス所ノ人ヲ以テ姑ク

之ニ充テ且ツ候補者アルカ爲ニ被選者ヲシテ隨意ニ其ノ職任ヲ辭セシメ加之ナラス新ニ衆民信用ノ歸スル所ノ人ヲ選舉スルノ道ヲ失ハシムルノ弊アリ

(第七)英國ニ於テ行ハル、選舉ノ慣例ハ其ノ宜シキヲ得タルモノニシテ歐洲大陸諸國ニ於テ之ニ模倣スルモノ多シ即チ希臘ノ憲法第六十四條ニ於ケル巴華厘ノ千八百四十八年六月四日ノ條例第二十九條ニ於ケル字漏生ノ憲法第七十八條并ニ又北獨聯邦憲法第二十一條ニ於ケルカ如キ皆是ナリ其ノ制タル曾テ議員タリシ者官吏ニ登庸セラレタル後ト雖再ヒ議員ニ選舉スルヲ得セシメ選舉人ヲシテ其ノ前ニ信任セル所ノ人ヲ再選シ又新タニ信任スル所ノ者ヲ舉クルモ都テ其ノ隨意ニ任セシムルナリ

然リ而シテ千八百四十八年ノ佛國憲法ハ此ノ意ニ反シ凡ソ俸給ヲ受クル官吏ハ之ヲ議員ニ選ムコトヲ得ザラシメ(憲法第二十八條)又千八百五十二年拿破崙第三世ノ制定セル憲法ニ於テハ稍、此ノ範圍ヲ縮小シ唯々執政大臣ヲ選舉區域ヨリ除キタリ又米國ノ憲法(第一編第二章第二條)及瑞西聯合憲法(第六十六條)ハ中央政府ノ官吏ヲ除キ各州政府ノ官吏ハ之ヲ加ヘ北獨聯邦憲法ハ唯々聯邦委員ノミヲ除キタリ(第九條)

夫レ官吏ヲ議員ニ選舉スルコトヲ許サ、ルトキハ議院ニ事務練達ノ議士ヲ缺キ隨テ自ラ議場ノ見識ヲ與クシ其ノ勢力ヲ薄弱ナラシム然レトモ之ニ反シテ專ラ官吏ヲ以テ議場ヲ占メシムルトキハ議院カ政府ニ對シテ行フ所ノ制限權ハ徒ニ虛器トナリ且ツ議院ハ之カ爲ニ輿論ノ信用ヲ失フニ至ルヘシ是ノ故ニ議院ヲシテ偏重偏輕ノ患ナカラシムルハ是レ選舉人ノ責務ニシテ宜ク豫メ注意スヘキ所ナリ

且ツ官吏ノ議員トナルニ關シテ其ノ職ノ何タルヲ問ハス同一ニ論スヘカラサルモノアリ其ノ特ニ保育ヲ職トスル醫官教官ノ如キハ實ハ一私人ニ異ナラス又裁判官ノ如キハ獨立ノ地位ヲ有スルヲ以テ他ノ牽制ヲ受クルノ患ナシ獨リ純然タル行政官吏ニ至リテハ深ク注意セサルヘカラス若シ行政官吏ニシテ議員中ノ多數ヲ占メ而シテ其ノ論專ラ政府ヲ攻撃スルニ在ルトキハ是レニ由テ政府ノ主權ヲ損シ諸機關ノ統一ヲ失フヘシ若シ或ハ政府此ノ輩ト相密着シ其ノ勢力ヲ藉ルトキハ亦議院ノ獨立ヲ維持スル能ハス是ノ故ニ政府ト議院トノ間ニ於テ其ノ議相合ハス各、其ノ權ヲ爭フニ方リテハ選舉人タル者宜ク純然タル行政官吏ヲ選舉スルコトヲ爲サス唯ニ其ノ公務上充分ノ責任アル大臣ノミヲ選ムニ止ムヘシ

(第八)議員ヲ選舉スルニ一定ノ任期ヲ定メ其ノ期過クレハ更ニ選舉ヲ行フハ各國下院ノ制度ニ於テ其ノ例最モ多シ但シ改撰ハ全部ニ之ヲ行フアリ又ハ一部ニ之ヲ行フアリ英國ノ下院ハ憲爾日第一世ノ後ハ七年ヲ以テ任期トシ其ノ以前ハ三年ヲ以テ任期トセリ又米國ノ下

院ハ二年ヲ以テ任期トシ其ノ各州政府ハ概子一年ヲ用ユ字國(憲法第七十三條)及ヒ北獨聯邦(憲法第二十四條)ノ下院ハ各三年白耳義(憲法第五十一條)ノ下院ハ四年巴華厘ノ下院及佛國議院(憲法第三十八條及ヒ第十三條)ハ六年ヲ以テ任期トス

各國ノ例ニ據レハ全議員ヲ改選スルヲ通例トス然レトモ唯タ一議院ヲ設クルノ國ニ在テ議員全部ヲ改選スルトキハ之カ爲メ遽カニ政治ノ慣行ヲ改メ此ノ極端ヨリ更ニ彼ノ極端ニ轉スルコト實際ニ於テ其例尠カラス頗ル危険ナリトス

(第九) 立憲君主政ノ國ニ於テ議院ヲ解散シ新ニ議員ヲ召集スルハ國王ノ最モ緊要ナル權利ニ屬ス蓋シ此ノ憲ハ以テ民意ノ向背ヲトシ議院諸黨派ノ權勢ヲ平均シ議院ト政府トノ軋轢ヲ防止スルニ尤モ欠ク可ラサル方法ナリトス

(註) 議院解散ノ權ハ英國ニ在テハブラックストーンノ法律釋義第一條第二條第七條ニ白耳義ニ在テハ憲法第七十一條ニ巴華厘ニ於テハ憲法第二十三條ニ字國ニ於テハ憲法第五十一條ニ佛國ニ於テハ千八百五十二年ノ憲法第四十六條ニ北獨聯邦ハ憲法第二十六條ニ載セタリ

然レトモ立憲共和制度ノ國ニ於テハ(米國及ヒ瑞西)斯ノ如キ權ヲ政府ニ有セシムルヲ許サス是レ議院解散權ヲ政府ニ與ルトキハ人民ノ權力ヲ減縮スルヲ恐ル、カ爲メ非ラス何トナ

レハ人民ノ權力ハ反テ其ノ區域ヲ擴張シ曾テ縮少スル所ヲ見サレハナリ然リ而シテ民ノ此ノ權ヲ政府ニ與フルヲ好マサル所以ノモノ一ハ之カ爲メ政府ノ權勢ヲ増サンコトヲ恐レ一ハ代議士ノ位望ヲ高クシ民間ノ地位ニ不平均ヲ生センコトヲ憂フルニ出テシモノナリ

(第十) 議員ハ選舉人ニ由テ選舉セラルト雖固ヨリ其ノ言論ノ自由ヲ有セリ故ニ或ハ其ノ信用ヲ失フコトアルモ選舉人ヨリ其ノ議員タル資格ヲ剝奪スルハ甚タ議院組織ノ原理ニ悖レルノミナラス大ニ議員ノ地位ヲ危クスルモノトス元來議員タルモノハ議場ニ在テ臨機ニ已レノ心ニ於テ至理トシ至當トスル所ヲ以テ言論シ曾テ他ノ羈束ヲ受ケサルモノタリ且ツ全國民ノ代議士タルモ一個選舉人ノ代理人タル者ニアラサルナリ

第八款

元老院又ハ上院ノ組織

元老院又ハ上院ハ其ノ組織タル下院ト全ク主義ヲ異ニセサル可ラス蓋シ國ノ機關中同一ノ職務ヲ司ル所ノ機關ヲシテ兩個相並立セシムルハ其ノ組織ニ於テ固ヨリ許サ、ル所ナリ故

ニ上院ニシテ能ク其ノ原則ニ合ヒ其ノ職務ニ適センヲ欲セハ政治上固有ノ主義ヲ有シ固有ノ職掌ヲ有スル組織ナラシメサル可ラス

抑上院ナルモノハ其ノ務タル國家ニ於ケル門閥ノ原素ヲ代表スルニ在ルコト猶ホ彼ノ下院ノ庶民ヲ代表スルカ如シ即チ君主ト人民トノ間ニ介立シテ敢テ君主ニ依ラス又人民ニ黨セス自個固有ノ門地位望ニ賴テ自ラ其ノ勢ヲ維持スヘキモノトス故ニ其ノ勢力ハ全ク性質ニ在テ多寡ニ在ラス其ノ固有スル政治上ノ勢力ハ即チ其ノ位置ニ在リ是ノ故ニ上院議員タルヲ得ヘキ者ハ其ノ國內ニ於テ眞ニ貴族タルニ堪フヘキ者ニ限り徒ニ虛位ヲ擁シ虛名ヲ有スル者ノ如キハ是レ實ニ貴族タルニ負ケルモノナリ

(第一) 諸威國上院ノ制ハ「グロース、ヂング」ト名クル人民總代者ノ中ヨリ其ノ四分ノ一ヲ撰ミ之ヲ上院議員トナシ其ノ餘四分ノ三ヲ以テ下院ニ充ツ(憲法第七十四條以下)此ノ制ヤ甚タ上院ノ性質ニ背クト雖亦以テ兩議院制度ノ國ニ必要ナルノ實ヲ見ルニ足レリ但タ此ノ如キ上院ノ制ハ之ヲ設クルノ用ヲ見ル能ハス夫レ其ノ性質ヲ同クセル議會ノ四分ノ一ヲ以テ他ノ四分ノ三ニ對シ以テ上院ノ權ヲ維持シ緊要ノ時機ニ臨ンテハ此ニ抗衡セント欲スルモ豈得可ケンヤ故ニ該國ニ於テモ亦豫メ此ニ省視シ若シ兩院ノ議相協ハサルトキハ相合同シテ之ヲ議シ三分ノ二ノ多數ヲ以テ之ヲ決スルノ法ヲ設ケタリ

又白耳義上院ノ議員ハ下院ノ代議士ヲ選舉スル同一ノ選舉人ヨリ選舉スル者ニシテ其ノ資格ハ率子異ナル所ナシ唯タ上院議員ハ四十歳以上ノ年齢ニシテ千「グールデン」以上ノ租稅ヲ納ムル者トシ又選舉任期ハ下院ヲ四年トスルニ反シ八年トナス等ノ別アリ(憲法第五十五條及第五十六條)其ノ他米國各州ノ兩院ノ如キハ其ノ間ニ區別ヲ設ケサルヤ更ニ之ニ過キタリ

以上諸國上院ノ如キハ概シテ皆款首ニ掲グル所ノ原則ニ悖リ其ノ精神タル庶民政治ノ主義ニ在テ唯タ漠然其ノ形ヲ模セント欲スルニ過キサルナリ

(第二) 米國ノ元老院并ニ千八百四十八年制定ノ瑞西聯邦憲法ヲ以テ組織セル聯邦議院ハ一種特有ノ上院ニシテ此ノ如キ組織ハ獨リ能ク衆國ヲ聯合シテ成立セル國ニ行フヲ得ヘキノミ此等ノ上院ハ敢テ其ノ國ノ顯貴タル寡數ノ種族ヲ代議セシムルニアラスシテ全ク政治上獨立ノ權ヲ有スル各小國ヲ代議セシムルモノナリ元來上院ナルモノハ貴族ノ代議ニ賴テ以テ下院ナル庶民ノ代議ヲ補完シテ控制スルニ在リト雖此ノ組織ハ各自同盟國ノ代議ニ賴テ共同人民ノ代議ヲ補完控制スルモノナリ米國并ニ瑞西トモ其ノ各聯邦ヲシテ等シク兩名ノ代議士ヲ派遣セシムルノ制トス又北獨聯邦ノ聯邦議院ハ稍聯邦各國ノ集合議院ト看做スヘキ所アリト雖其ノ實ハ却テ聯邦行政府ノ體裁ヲ成セリ

(第三) 上院ノ組織ニ於テ其ノ議員ニ要スル緊要ノ性質及資格ハ其ノ民俗ト其ノ時世トニ從テ相同シカラス然リ而シテ何レノ國何レノ世ヲ論セス議員ノ性質ニ於テ必ス缺ク可ラサルモノハ能ク政理ニ練達シ政府及人民ニ忠愛ナルニ在リトス而シテ其ノ最モ緊要ナル諸項ヲ細記スレハ左ノ如シ

(甲) 英國ノ如ク勢力アリテ且ツ鞏固ナル世襲貴族アル國ニ於テハ宜シク先ツ之ヲ用フヘシ英國ノ上院ハ此レ等ノ貴族ヲ中堅トシテ以テ組織セリ之レ等ノ貴族ハ大ニ歷史上ノ位望ヲ有シ社會ノ轉變ヲ防クニ堅確ナル屏扞タリ

貴族ハ財産ヲ有セサル可ラス又他ノ衆民ト常ニ連絡スルコト猶ホ山岳ノ郊野ニ於ルカ如ク時ニ其ノ雋ヲ拔キテ已レノ族中ニ加ヘ新元素ヲ吸入シテ以テ腐敗ヤサラシメントトテ要ス若シ然ラスシテ全ク衆庶ト相隔絶スルカ如キ狀況アルトキハ現今ノ如キ國家ニ於テ亦以テ存立スル能ハサルナリ獨逸ノ貴族タル未タ必スシモ英國ノ貴族ニ於ケルカ如キ政治ニ適當ナル原素アキニアラス蓋シ獨逸ノ貴族ヲシテ其ノ貴族タル眞性ト實檢トヲ保有セシメ且ツ政府ニ忠誠ナラシメント欲セハ宜ク一大改革ヲ施行セサル可ラス而シテ竟ニ之ヲ實行スルニ及ハスシテ今日ニ至レルハ豈惜ム可キノ至リナラスヤ

(乙) 世襲貴族ハ亦常ニ廣大ノ土地ヲ有スルヲ以テ土地貴族ノ性質ヲ併有セリ而シテ近古政治ノ風潮ニ於ケル世襲貴族ヨリ寧ロ土地貴族ヲ貴重シ且ツ或ハ貴族ノ區域ヲ擴メテ財産貴族ニ及ホス國アルニ至レリ。然レトモ此等ノ得失ハ其ノ國ノ情況ト其ノ民ノ風俗慣習等ニ從テ定ムヘキモノニシテ其ノ商ヲ以テ本ト爲ス國ニ在テハ動産ト雖亦土地ニ下ラサル効力ヲ有スヘク又農ヲ以テ本ト爲ス國ニ在テハ專ラ不動産ヲ貴重セサル可ラサルカ如ク固ヨリ之ヲ一定スヘカヲサルナリ但シ大土地ノ世襲ニ屬スルモノハ上院貴族ヲシテ保守主義ヲ取ラシムル爲ニハ最モ堅確ノ基礎タリ夫ノ英國ノ嫡長相續權ノ如キ獨逸ノ世傳財産ノ如キ一家ノ財産ヲ保全シ一人ノ手裏ニ集合セシムル相續法ハ以テ能ク世襲貴族ヲ創立維持シ且ツ其ノ權勢ヲ強大ニシ其ノ地位ヲ堅確ナラシムルニ足レリトス

(註) ① 白耳義憲法ノ草案ニ據レハ上院貴族タルヘキ者ハ千「フロリン」ノ地稅又ハ之ト同額ノ財産稅ヲ納ムル者ニ限リ(憲法第五十六條)又葡萄牙(千八百三十八年ノ憲法)ニ於テハ二千六百「ミレ」ノ土地收益アル者又ハ四千「ミレ」ノ營業收益アル者ヲ以テ上院貴族ト爲スヲ制トス

抑、大土地ノ所有ハ現今ノ經濟法ニ適當セサル世襲相續ノ拘束法ヲ用ヒス全ク尋常ノ自由財産ト爲スモ決シテ其ノ政治ニ必要ナル効力ヲ異ニセス故ニ最近ノ憲法ニ於テ上院代

議ノ資格ヲ一般ニ大土地ノ所有權ニ屬シタルモノ多シ貴族ノ土地ト市民ノ土地ト其ノ所有權ニ於テハ今日ニ在テ固ヨリ差違アルコトナシ故ニ墺國ニ於テ夫ノ千八百六十一年ノ憲法ヲ以テ此ノ所有權ノ差違ヲ廢シタルハ寔ニ至當ト謂フヘキナリ

其ノ上院議員タルヘキ性質ニ於テ疑義アルモノヲ舉ケレハ左ノ種類ノ如シ

(丙) 財產家即チ動產所有者ニシテ唯其ノ富裕ナルニ止リ別ニ國事ニ功勞アル等ノ爲ニ門地ヲ有セサル者ハ貴族ノ性質ヲ有セス是レ財產ノ數量ニ因テ顯ハル、者ニシテ財產ノ性質ニ由テ貴キニ非ラス此レ等ノ財產ハ奇利ヲ貪リ國民ノ貨財ヲ吸收シタル結果ナルモ亦未タ知ル可ラス適以テ鄙ムヘキ貪汚ノ風ヲ長セシムルニ足ラントス

然レトモウエネージヒ又ハ獨逸ノ商業都府ハンブルヒ、ブレーメン、フランクフルト、ノ史蹟如キ都府ヲ名ケテ商業都府ト云フニ據テ之ヲ徵スルニ豪商大賈ノ貴族トナリタル例ナキニアラス且ツ今世ト雖往々富豪ノ商賈、製造家、銀行等ノ如キ其ノ財產ニ富メルノミナラス亦政治ノ思想ヲ具ヘ國家ニ忠愛ナルカ爲メ大ニ位望ヲ有スルモノアリ故ニ土地所有者ノ外ニ亦此レ等ノ素封家ヲ加ヘ以テ上院議員ヲ組織スルハ此ヲ時世ニ適セル改良ト謂フ可シ

(丁) 昔時羅馬共和政治ノ元老院ハ其ノ性質畧今日ノ上院ニ同シ而シテ此ノ元老院ニハ必ス其ノ政府ノ官吏ヲシテ代議セシメタリ又英國ニ於テ其ノ初メハ苟モ貴族タル者ハ大抵必ス官吏ナリシヲ以テ多ク官吏ヲシテ上院議員ヲシメ且ツ此ノ他又十二人ノ高等法官ヲ舉ケテ議事ニ與カラシムルヲ例トセリ蓋シ高等法官ハ法律ニ明達ニシテ且ツ法律ヲ保護スルヲ以テ其ノ職ト爲スカ故ニ上院議員ニ加フルハ大ニ其ノ理アルモノトス西班牙ニ於テハ千八百四十五年ノ憲法ヲ以テ裁判所長及ヒ裁判官ニシテ財產上獨立ノ地位ヲ有スル者、并ニ大臣、參議官、公使、高等裁判所長官及ヒ評定官ノ如キ高等ノ官吏ハ侯伯及ヒ富豪ト共ニ元老院議員ニ撰舉スルヲ得ヘキモノトシ千八百五十二年佛國拿破翁ノ憲法ニ於テ陸海軍ノ將官ハ高等ノ僧官等ト共ニ元老院議員ニ撰ムコトヲ得セシメタリ

(戊) 高位ノ僧侶就中僧正等ニ上院議員ノ資格ヲ與フルハ往々其ノ例アリ抑、僧侶ノ高位ニ在ル者ハ國家ニ於テ精神上ノ大權ヲ司リ人民ニ對シテ頗ル勢力ヲ有スルカ故ニ之ニ上院議員タルノ權ヲ與フルハ蓋シ其ノ理ナキニ非ス英國ノ上院ニ於テハ其ノ僧正ニ議席ヲ與フルモ特ニ英國教會ノ宗派ノミニ限り「加督力」宗派ニハ之ヲ許サス又千八百六十一年ノ墺國憲法ニ於テハ大僧正及ヒ僧正ノ公爵ヲ有スルモノニ上院ノ議席ヲ與ヘ其ノ他獨逸諸國ニ於テモ亦「加督力」宗僧正ノ外「彼羅的斯坦」宗ノ代議士ニ上院ノ席ヲ與ヘタルモノ甚タ多シ

(己) 學術ハ高尚ナル精神上ノ勢力ヲ有シ大學校及ヒ其ノ他ノ專門學校ノ如キハ大ニ政治

上ニ効用アリ故ニ又貴族ト俱ニ上院ニ於テ議席ヲ有スルヲ至當ナリトス

(庚) 政府又ハ國民ニ功勞アル人ヲ擧ケテ上院議員ト爲スハ是レ最モ獎勵ノ良法タリ其法タル精神上及ヒ道德上ニ於テ功勞アル者又ハ其勢力能ク人民ノ輿論ヲ制スルニ足ルヘキ者ヲ擧テ貴族ト爲スニ在ルナリ

(第四) 上院議員ヲ任命スルノ方法ハ上ニ述ヘタル議員ノ性質ヲ定ムルニ比スレハ容易ナリトス

(甲) 上院ノ價直ハ其ノ員數ノ多キニアラスシテ其ノ貴族タルノ性質ニ於テ既ニ自ラ議員ノ地位ヲ具フルニアルヲ以テ彼ノ下院擧ノ主義ニ依ル能ハス白耳義及ヒ葡萄牙ノ憲法(千八百三十八年)ノ其ノ上院議員ヲ定ムルニ特ニ擧法ヲ以テスルカ如キハ此ノ主義ニ合ハサルナリ

但シ廣大ナル土地所有者製造者及ヒ大學ノ博士等ハ其ノ自個ノ性質ニ於テ既ニ貴族タルヲ以テ擧法ニ據テ其ノ同社中ヨリ議員ヲ撰定スルモ固ヨリ妨ケナキナリ

(乙) 世襲議員ハ世襲貴族アル國ニ於テノミ之ヲ設クルヲ得ヘシ即チ英國ノ老德獨國ノ皇族及高等貴族ノ如シ

(丙) 國王ノ特撰ヲ以テ世襲議員ノ不足ヲ補フハ英國ニ於テ行フ所ナリ且ツ千八百三十

一年及ヒ五十二年ノ佛國憲法ニ於テ一代議員ヲ組織スルノ定法トナセリ又學國ニ於テ千八百五十四年十月十二日ノ達ヲ以テ一代議員ハ貴族會及ヒ大都府ニ於テ之ヲ推薦シ其ノ員中ヨリ國王之ヲ撰定スルモノト爲シ以テ其ノ權ヲ制限セリ又澳國ニ於テハ千八百六十年ノ憲法ヲ以テ國家、教會、學術、技藝等ニ功勞アル者ハ國帝之ヲ上院議員ニ撰任スルノ定規ヲ立テタリ抑、國王ハ其ノ國秀拔ノ人ヲ擧ケテ之ヲ尊重セサル可ラス故ニ功勞アル人ヲ世襲又ハ一代ノ貴族トシテ登用スルハ最モ君主ノ任務ニ適ス然リト雖上院ハ國王ト人民トノ中間ニ在テ相互ノ利益ヲ謀ルモノナレハ悉ク國王ノ撰舉スル議員ヲ以テ之ニ充テ其ノ威福ヲ專ニセシムヘカラス

(丁) 上院議員自ラ其ノ社中ヨリ議員ヲ互撰スルノ法ハ中古獨國ノ直隸都府ニ於テ其ノ上院議員ヲ撰ムニ當リ屢、之ヲ施行シ且ツ千七百九十九年及ヒ千八百二年ノ拿破翁制定ノ憲法ニ於テモ亦之ヲ採用シタリ

(戊) 一定ノ官職ヲ有スル者ハ又直チニ上院議員タル法アリ古羅馬ノ上院ハ專ラ此ノ法ニ基ケリ又學國ニ於テ四員ノ高等官ヲ以テ上院議員ヲ兼テシムルノ制アリ

以上掲グル所ノ數種ノ方法ハ共ニ之ヲ連用スルヲ以テ最モ上院ノ體裁ニ適スルモノトス

(第五) 上院議員ノ職タル任期若シ甚タ短キトキハ以テ其ノ目的ヲ達スル能ハス
米國ノ各地方政府又ハ白耳義國ノ制度ノ如ク單一ナル撰擧ニ依リテ其ノ上院議員ヲ定ムル
國ト雖其任期ハ下院ノ議員ヨリ一倍又ハ三倍ヲ長クセリ即チ米國ノ地方政府ハ二年乃至三
年トシ白耳義國ハ八年トス

若シ上院組織ノ主義ヲ確守シテ之ヲ論スルトキハ議員ノ任期ハ其ノ特別ノ地位ヲ有スル間
之ヲ繼續セシメテ可ナリ故ニ其ノ一世ノ間之ヲ繼續セシムルヲ定規トシ議員中往々中途ニ
シテ其ノ特別ノ地位ヲ失フ者ナキ能ハサレハ古羅馬人ノ監査官ヲ置テ其ノ弊ヲ防キシカ如
クスルヲ以テ最モ便宜ナリトス即チ時ニ上院議員ノ姓名牒ヲ改正シ以テ尸位ノ徒ナカラシ
ムハシ是レ其ノ制度ノ廢壞ヲ防キ併セテ下院トノ權衡ヲ保持スル良法ナリ

第九款

(甲) 立法官全體ノ職權

立法官ナルモノハ其ノ全國民ノ頭首及ヒ肢體ヲ縮小シ以テ之ヲ代表セルモノナリ是ノ故
ニ其ノ權力ハ完全無缺ニシテ且ツ公同ノ性質ヲ有ス然レトモ無限又ハ擅恣ノ權ヲ有セス
アソルト
デスボーレン

ブラックストン氏英國ノ嘗テ英國ノ制度ヲ論スルニ議院權力ノ無限(ナムニポテンズ)ナル
コトヲ説ケリ而シテ近世ノ學者モ亦往々此ノ説ヲ是トシ政府ニ於テ無限ノ權力ヲ有スルハ
政治上缺ク可ラサルモノナレハ之ヲ特ニ君主一人ニ委子ンヨリハ寧ロ立法官全體ニ附與ス
ルノ危害少キニ如カサルコトヲ論セリ

然レトモ今世ノ國家ハ復タ無限ノ權力ヲ有セス蓋シ今世ノ國家ハ中古ノ如ク神權ニ基カス
單一ノ人權ニ據テ立テリ人生ハ其ノ相互ノ關係ニ於テ復タ無限ノ權ヲ有スルヲ得ス夫ノ英
國ノ議院ハ政治上ノ最上權ヲ有スルモノナリ而シテ其ノ人民ニ對スル自然ノ關係ニ於ケル
又他ノ諸國權及ヒ政治上ノ諸規程トノ關係ニ於ケル其ノ院務ヲ行ヒ議事ヲ決スル憲法上ノ
制式ニ於ケル許多ノ德義上及ヒ法律上ノ制限ニ因テ其ノ行爲ヲ抑制セラレサルモノナシ然
リ而シテ此ノ如キ制式上ノ制限ヲ議院ニ加ルハ各國ニ於テ概子行フ所ナリト雖其ノ立法上
ノ職權ニ至リテハ完全無缺ナランコトヲ要ス抑國ノ諸官中立法官ノ上ニ立ツモノナク又
能ク之ト比肩スルモノナシ立法權ハ國權中ノ最上權ニシテ他ノ官廳及ヒ人民ハ其ノ命ヲ違
奉シ敢テ違反スヘカラサル國法上ノ義務アルモノナリ然レトモ若シ議院ハ其ノ人民ニ對ス
ル責任ヲ蔑如シ其ノ權ヲ濫用シテ以テ正具ノ權利ヲ害スルカ如キアラハ其ノ極竟ニ公衆ノ
抵忤ヲ致シ其ノ全權ヲ舉テ烏有ト爲スニ至ルヘシ設令ハ今英國ニ於テ其ノ上下兩院ヲ併セ

テ全ク迷妄ノ裡ニ陥リ其ノ憲法ヲ廢止シ一切ノ立法權ヲ舉テ特ニ之ヲ暴虐ノ君主ニ付セン
トセハ其ノ國民ハ當ニ之ヲ奈何セントスルヤ苟モ英國ノ民ニシテ其ノ節義ヲ存シ志氣ヲ失
ハサラシメハ決シテ此ノ如キ痴法ヲ默認セサルヘキナリ

今次ニ立法官ノ職務中其ノ要重ナル項目ヲ列舉セン

(第一) 恒久ノ典則ヲ確立シ憲法ヲ創定シ補訂シ改更シ制度ヲ創造シ廢止スル等はナリ之ヲ
約言スレハ國ノ制典ヲ定ムルニ在ルナリ

立法官ヲシテ此レ等ノ職權ヲ主持セシムルハ方今諸國ノ憲法ニ於テ概テ是認スル所ナリ但
シ米國ニ於テハ其ノ憲法ヲ追加シ改更スルニ當リ單ニ之ヲ其ノ議院ニ委子ス特ニ憲法委
員ヲ撰定シテ之ト共ニ議定セシムルヲ例トス又瑞西ノ各地方政府ニ在テハ其ノ憲法ノ改
更ヲ爲スニ當リ之ヲ立法權ヲ主持スル議院ニ委ネスシテ更ニ之カ爲ニ撰定スル所ノ委員
ニ特任スルヲ成規トス夫レ憲法ヲ追加改更スルハ立法官ノ最モ重要ナル職務ニ屬スルヲ
以テ周密ニ注意シ嚴正ノ條規ヲ設クルハ誠ニ宜ナリト雖既ニ立法ノ常司アルノ外ニ又別
ニ議員ヲ設クルハ其ノ體裁ヲ得サルノミナラス并セテ國ノ制度ヲ紛雜ナラシムルノ恐レ
アリ

(第二) 立法官ハ上ニ掲ケタル種類ノ外亦總テ法律ヲ創設スルノ權ヲ有ス即チ公法及ヒ私法

ヲ并セテ皆之ヲ制定スルヲ得

故ニ制法ノ權ハ立法官特ニ之ヲ有シ他ノ官廳ハ之ヲ有セス但シ政府及ヒ行政廳ハ命令ヲ
ルドナンス、デクレエ)ヲ發スルノ權アリ而シテ法律ト命令トノ區別ハ其ノ主權ヲ有スル衙
門ノ相異ナルニ出ルモノニシテ法律ハ立法者ノ意志ヲ公言シ命令ハ行政者ノ意志ヲ公言ス
之ヲ要スルニ法律ハ都テ立法權ヲ主持スル者(國王及ヒ議院)ノ同意ヲ得テ始メテ成立シ命
令ハ政府又ハ他ノ衙門ノ主權者之ヲ發スルヲ得

立法ノ主權ハ之ヲ命令ノ主權ニ比スレハ其ノ力常ニ重シトス是レ法律ハ全國代表者ノ意思
ヲ表シ命令ハ主政ノ權ニ基クト雖唯タ一衙門ノ權内ヨリ發スルヲ以テナリ

此ノ兩種ノ性質ニ就テ之ヲ論スレハ互ニ相抵觸スルコトナシ其ノ關係ノ最モ切要ナルモノ
ハ常ニ法律ヲ以テシ命令ヲ以テセサルハ各國ノ憲法ニ於テ概テ例トスル所ナリ今左ニ法律
ト爲スヘキ種類ヲ舉ケンニ

(甲) 緊要ナル制度及ヒ憲法

(乙) 民法及ヒ訴訟法

(丙) 刑法及ヒ治罪法

(丁) 一般ノ稅法及ヒ豫算確定ニ關スル法

(戊) 徵兵令

此ノ他法律ヲ以テ定ムル所ノ關係ハ命令ニ於テ之ニ遵則セサル可ラス故ニ之カ爲ニ往々命令ノ範圍ヲ制限ス

法律ハ亦時トシテ命令ノ發布ヲ要スルコトアリ即チ一ハ其ノ法律ヲ實施スルカ爲メ(施行規則)一ハ法律ノ缺漏ヲ補充センカ爲ニシテ殊ニ時々變遷スル事項ニ於テ必要ナリトス此ノ他各種ノ政務上ニ於テ發布スル命令甚々多シ財政及ヒ警察ノ命令軍隊ノ諸令規等ノ如キ皆是ナリ但シ其ノ全國ニ關スル規則ハ專ラ法律ヲ以テ之ヲ定ム

法律ト密接ノ關係ヲ有スル一般ノ命令ハ憲法ニ於テ立法官ノ監査ヲ經シムルヲ常規トスルノ國尠カラス是レ亦大ニ其ノ理ナシトセス

抑此ノ兩種ノ區別ヲ定メタルハ實ニ近世ニ在リ而シテ目今各國ノ形勢ヲ觀ルニ專ラ法律ノ範圍ヲ擴メ命令ノ區域ヲ縮小セントスルノ傾アリ蓋シ行政權ノ專横ヲ豫防スルハ誠ニ良シト雖立法官ヲシテ行政ノ範圍ニ干涉セシメ以テ政府ノ政務ヲ牽制セシムルトキハ遂ニ公共ノ福利ヲ害スルニ至ルハシ故ニ豫メ能ク此ノ二者ノ關係ニ注意シ其ノ適宜ノ境限ヲ定メサル可ラス英國ノ立法官ハ細小ノ規則ニ至ルマテ之ニ干涉スルヲ以テ煩雜ノ弊アリ而シテ佛國ハ大體ニ關スル原則ニ限り法律ヲ以テ之ヲ定メ其ノ他ノ細則ハ盡ク之ヲ命令ニ委子

タリ

中古ノ初ニ在テハ舊來ノ慣例ト新法トヲ區別シ新法ハ必ス等族會議ノ協議ヲ要スルモノト爲セリ

(第三) 現今各國ニ於テ租稅徵收ノ事ハ特ニ立法官ノ議定ヲ經ルヲ法トナスモノ多シ又一定ノ目的ニ就テ其ノ徵收スヘキ歲入ヲ費用スルノ可否ヲ諮ヒ及ヒ公債募集又ハ其他ノ方法ニ依テ政府ノ信用ヲ利用スル爲ニ認可ヲ爲サシムル國アリ

立法官ノ職務中斯ノ如キ實際ニ緊要ナル事項ハ古羅馬ノ世ニ在テ未タ之ヲ知ラス此レ等ノ事務ハ都テ其ノ主宰官ト元老議官トニ委任セリ而シテ日耳曼諸國ノ民ハ夙ク既ニ議院ニ與フルニ此ノ權利ヲ以テスルノ緊要ナルコトヲ覺レリ其ノ始メハ新ニ租稅ヲ徵收シ賦役ヲ課スルニ方リテ特ニ等族會議ノ承認ヲ要スルノミナリシカ後該會議ハ漸ク其ノ權ヲ擴張シ財政一般ノ事ニ對シテ議權ヲ有スルニ至レリ

(第四) 外國ト條約ヲ締結スルノ權ハ近世諸國ノ憲法ニ於テ之ヲ立法官ノ職權ニ屬セシメス政府特有ノ權ニ屬スルヲ常トセリ蓋シ條約ハ全國ニ向テ永久ノ權利義務ヲ生スルヲ以テ其ノ性質タル立法官ノ職權ニ屬セシメテ可ナルカ如シ然レトモ條約ナルモノハ外國ニ對スル政畧ニ關スルヲ以テ其ノ中央ニ在リテ靜ニ得失ヲ計慮シ適宜ノ處置ヲ爲スヲ得ヘキ機關ニ

之ヲ委任スルニ如カサルナリ且ツ條約ハ若シ之ヲ立法官ノ公然タル會議ニ委ヌルトキハ或ハ外國トノ協議ヲ困難ニシ其ノ政ヲシテ妨碍ヲ受ケ危險ヲ踏ミ損害ヲ被ラシムルノ恐ナシトセス

但シ古代ニ於テ條約ハ國民ノ協議ヲ經ルニアラサレハ確定ノ効力ヲ有セサルモノトシ又中古ニ於テモ等族ノ參議又ハ同意ヲ得ルヲ以テ確定ノ要件トナセシモノ少カラス方今ノ定論ト全ク其ノ主義ヲ異ニセリ

然ルニ千八百四十八年佛國ノ憲法ハ獨リ之ニ反シ其ノ大統領ニ外國ト條約ヲ協議シ及ヒ之ヲ締結スルコトヲ委任セシモ其ノ前必ス國會ノ認可ヲ得ヘキモノトナシ若シ之ヲ得サレハ其ノ條約ハ曾テ効ナキモノトナセリ(憲法第五十二條)而シテ瑞西國ノ憲法モ亦其ノ條約ヲ爲スニハ必ス先ツ議院ノ認可ヲ受クヘキコトヲ要セリ(聯邦憲法第七十三條并ニ第七十五條)條約ハ固ヨリ議院ノ認可ヲ要セスト雖唯タ其ノ各人民ノ權利ニ關シ又ハ內國ノ法律ニ關係スル條約ハ宜ク立法官ノ協議ヲ經ヘキナリ

(註) ① 白耳義ノ憲法第六十八條ニ曰ク通商條約其ノ他政府又ハ白耳義人民ニ義務ヲ負帶セシムヘキ條約ハ豫メ議院ノ協議ヲ經タルモノニ限り効力ヲ有スルモノトス又希臘ノ憲法第二十五條ニ曰ク通商條約又ハ其ノ他法律ノ制裁ヲ要シ又ハ希臘人民ニ義務ヲ負帶セ

シムヘキ一切ノ條約ハ民撰議院并ニ上院ノ協議ヲ得タルモノニ限り施行スルヲ得ヘシ北獨聯邦憲法第十一條ニ曰ク外國トノ條約ハ第四條ニ從ヒ其ノ事項ノ聯邦法律ノ範圍内ニ屬スルモノニ限り聯邦委員局ノ協議ヲ經サレハ之ヲ締結スルヲ得ス且ツ國會ノ認可ヲ得サルトキハ其ノ効力ナキモノトス

第十款

(乙) 立法官各部ノ職權

(第一) 立法官ノ職權内ニ屬スル事項ニ就テ之ヲ發議スルノ權ハ立法官中何レノ部ヲ問ハス皆之ヲ有ス即チ獨國議院ノ千八百四十八年ニ至ル迄國君ニ對シテ其ノ權ヲ有シタルカ如ク一定ノ法案ヲ創制スルカ爲メニ請願(ペチチヨーン)ヲナシ又英國ニ於テ國王ヨリ兩議院ニ勅使ヲ派遣シ米國ニ於テ大統領ヨリ國會ニ使節ヲ遣リテ行フカ如キ勸告ヲ爲スヲ得又一定ノ事件ヲ議場ノ問題トシテ之ヲ議シ又米國議院ノ其ノ委員ニ對シ瑞西國會ノ地方政府ニ對シテ報告書ノ上呈ヲ求メ議案ノ提出ヲ要ムルカ爲メニ命令スル如キ皆此ノ例ナリ

(第二) 立法官ハ以上ノ諸權ト與ニ法案ヲ提出シ凡テ建議ヲ爲スヲ得ルノ權ヲ有ス

抑法案ヲ發シテ之ヲ議決ニ付スルハ其ノ性質ニ於テ之ヲ言フモ又現今實際行ハル、所ノ諸國ノ憲法ニ就テ之ヲ徵スルモ專ラ君長又ハ政府ノ職掌ニ屬スルヲ至當トス羅馬ニ在テハ始メハ其ノ統領官ニ於テ後ニハ國帝ニ於テ之ヲ行ヒ降テ中世ニ及テハ各國ノ王侯自ラ之ヲ行ヒ今世ニ於テモ法案ハ通常之ヲ政府ヨリ發スルヲ例規トセリ又瑞西共和國ニ於テモ(千八百三十年以後)其ノ國制ヲ改メ法案提出ノ權ヲ以テ立法官ノ職權ト視做サ、ルニ至レリ而シテ千八百五十二年拿破崙第三世ノ制定セル佛國憲法(第八條)モ亦特ニ法案提出ノ權ヲ國王ニ歸セリ

然リ而シテ此ノ原則タル獨リ英國ノ國法ニ在テ其ノ變制ヲ示シ英國王ハ其ノ議院^{ハルライメント}ノ三部中ノ一ニ居ルモ獨リ議案提出ノ權ニ與ラス是レ蓋シ國王ノ發議ノ議場ニ駁撃セラレンコトヲ嫌ヒ以テ其ノ尊威ヲ玷カサラシムルノ趣旨ニ出ルモノナリ然レトモ此レ唯ニ虛文ニ過キスシテ其ノ實際ニ於テハ各大臣ヨリ法案ヲ制定シテ提出スルヲ常トシ唯タ其ノ政府ノ贊成ヲ得ルノ必確ナル時ニ於テ特ニ議員ヨリ動議^{モーション}ノ方ニ依テ法案ヲ提出スルコトアルノ方今ノ立憲君王國ニ於テハ通常兩院共ニ法案ヲ提出スルノ權ヲ有ス蓋シ議院ハ其ノ全體ノ會議ニ由テ始メテ議決ヲナスヲ得ルカ故ニ其ノ法案提出ノ權ヲ施行スルニハ必ス先ツ一

ノ議員ヨリ發言セル動議(モーション)ニ依ラサル可ラス是ノ故ニ議院ニ於ケル議案提出ノ權ハ亦其ノ議員ノ動議權ヲ包含ス然レトモ此ノ動議權ヲシテ議院及ヒ國家ヲ危害スルカ如キ患ナカラシメンカ爲メ嚴ニ之ヲ制限スルヲ可トス且ツ法案提出ノ事タル固ヨリ一身上ノ權ニ非スシテ全ク公共ノ事務ニ屬シ一個人タル議員ニ屬セスシテ政治上ノ機關タル議院全體ニ屬スルヲ以テ其ノ制限ヲ受クルヤ固ヨリ當然ナリトス而シテ議院ノ此ノ目的ニ由リ制限ヲ行フ所ノ方法ハ即チ左ノ如シ

(甲) 動議ノ提出ヲ許可シ又ハ之ヲ拒止ス

若シ其ノ動議ニ由テ議場ノ紛議ヲ醸スカ如キ虞ナキトキハ之ヲ許可ス英國ニ於テ之ヲ第一讀會ト稱ス

(乙) 動議提出者ヨリ其ノ議ヲ陳述セル後其ノ事項ノ必要ナルコトヲ認定ス英國ニ於テ之ヲ第二讀會ノ可決ト稱ス

(丙) 之ヲ議題トシテ案定スルノ前委員ヲ組織シテ之ヲ整頓調査セシメ又ハ之ヲ政府ニ稟議ス

千八百五十二年ニ於テ拿破崙三世ノ制定セル佛國憲法ハ一種固有ノ定規ヲ設ケ立法官ハ唯タ政府ヨリ下附セル法案ヲ議決スルノミニ止マリ若シ其ノ修正ヲ要スルコトアレハ調